
子どもの「アニミズム・死の概念発達」と生活体験

～Death Education の方略を求めて～

課題番号 10672231

平成 10 年度 ～ 平成 12 年度

科学研究費補助金 [基盤研究(C)(2)] 研究成果報告書

平成 13 年3月

研究代表者 岡田 洋子

(旭川医科大学医学部教授)

【目 次】

はしがき	1
I. はじめに	3
II. 国内外の当該研究の位置づけ	3
III. 研究の目的・方法	5
IV. 結果	
1. 調査対象	7
2. 調査対象の生活に関する概要	7
3. 死の概念発達の構成要素	
1) 生物・無生物の識別	11
2) 死の不動性の理解	15
3) 死の不可逆性の理解	18
4) 死の不可避性・普遍性の理解	21
5) 時間の概念の発達	23
4. 死後の世界	
1) 死後の世界の有無	25
2) 神様の有無	26
5. 死に関する会話	
1) 家族との会話	26
2) 友達との会話	27
3) 死への関心	28
4) 死の話題の回避	28
6. 死後のイメージ	
1) 死後のイメージとして多かった項目	29
2) 死後のイメージとして少なかった項目	30

3) その他の項目	31
7. 死後の世界のイメージ	
1) 死後の世界のイメージとして多かった項目	32
2) 死後の世界のイメージとして少なかった項目	34
3) その他の項目	34
8. 死のイメージ	35
V. 考察	
1. 学童期にある小児のアニミズム	43
2. 年代的变化からみた小児の死の概念発達	45
3. 死に関する会話	48
4. 小児の死に関する認識	50
VI. Death-Educationのための指針と方略の提言	
1. Death-Educationを考える上で考慮すべき 子ども、及び環境の特徴	58
2. Death-Educationのための指針と方略の提言	59
VII. おわりに	62
VIII. 引用文献・参考文献	63
クロス表	65 ~ 129

はしがき

研究組織

研究代表者	:	岡田 洋子	(旭川医科大学医学部)
研究分担者	:	佐藤 雅子	(旭川医科大学医学部)
		松浦 和代	(旭川医科大学医学部)
		菅野予史季	(旭川医科大学医学部)
		三田村 保	(旭川医科大学医学部)
		荃津 智子	(天使大学看護栄養学部)
		井上ひとみ	(石川県立看護大学)

研究経費

平成10年度	3,432千円
平成11年度	818千円
平成12年度	750千円
計	5,000千円

研究発表

- (1)岡田洋子：子どもの死の概念、小児看護、第21巻11号、1445-1452、1998
- (2)及川郁子監修：予後不良な子どもの看護 3. 子どもの死に対する理解と反応、メジカルフレンド社、14-27、2000

研究発表(予定)

- (1)岡田洋子他：学童期にある小児のアニミズム－過去と現代の比較－、小児保健学会誌、2001.
- (2)岡田洋子他：学童期にある小児の死の概念－性別・地域差からみた－、小児保健学会誌、2001.
- (3)岡田洋子他：学童期にある小児の死の概念－小・中学生の年代的変化・特徴－、日本小児看護学会誌、2001.
- (4)岡田洋子他：学童期に小児が抱いている「死及び、死後の世界」に対するイメージ、日本小児看護学会誌、2001.
- (5)岡田洋子他：Death Educationの方略の開発－学童期の小児を対象にした－日本小児看護学会誌、2002.
- (6)岡田洋子：Death Educationの試みと評価、日本小児看護学会誌、2002.

I. はじめに

現代社会において、子どもが最初に出会う日常的な死は、多くがテレビ画面を通じた死であると言える。世界のある地域で起こっている戦争・暴動シーン、テレビやビデオ、マンガの中で展開される殺人シーンなどである。このような死との出会いは、慣れ親しんだ身近な人やかわいがっていたペットの死とは異なり、現実感に欠けるものである。さらにこのような死は、死んだはずの人物が別なテレビ番組あるいは他のチャンネルに出演しているなど、不可逆的な死ではなく、再び出会えるといった、死が可逆的であるかのような錯覚を子どもに与える危険をも含んでいる。

子どもを取り巻く現代社会は、このような現実でない死が氾濫し、死の実体験より先行して子ども達に押し寄せる環境となっている。一方、身近にいる大切な人やかわいがっていたペットとの死別といった現実の死を体験する機会が少ない社会となっているとの指摘がある。このような社会環境の中で、子どもはどのようにして死の不可逆性や普遍性を理解し、またどのような死の概念を形成しているのだろうか。

約 20 年前に著者が行った調査で、アニミズムがみやかに崩壊すると言われる小学校の中・高学年で、再びアニミズム傾向がみられた。波多野¹⁾は小学校低学年のアニミズムと小学校 6 年生頃から始まり中学校頃まで続くアニミズムとは質的に異なり、科学や芸術が開花した高次のアニミズムであると述べているが、その後高次のアニミズムに着目した研究は少ない。また、学童期の小児の死の概念発達は、ピアジェのいう認知的発達とさらに入院・死別体験といった社会体験の影響を受け発達することが確認された。

これらの先行研究を基盤に本研究は、死の概念発達や死生観の形成にかかわる要因及び高次のアニミズムの実態を検討し、Death Education の指針と具体的方略を開発する。死の概念発達の過程にある子どもは、生命の尊厳や健康な生死観を育てるために、小児期からの Death Education が求められていると考える。

II. 国内外の当該研究の位置づけ

小児の死の概念発達に関する研究には、アンナ・フロイトらの精神分析学者による研究と、ゲゼル発達心理学者による研究がある。キューブラ・ロス²⁾は、子どもは死について大人とは異なった観念をもっていると、その特徴を挙げている。国内では、山梨大学心理学研究会が子どものアニミズム的思考における、生命概念の発達を調査報告している。筆者は、これらの研究をベースに死の概念の発達的变化を明らかにするために、4 歳から 12 歳までの小児を対象に (総数 810 名)、札幌、関東、九州で調査を行った (1979 年)。その結果アニミズム的思考に関して、従来の説と差があり、4

～5歳から低率を示す傾向がみられた。一方、すみやかにアニミズムが崩壊と言われる小学校の中・高学年で、その傾向がみられた。さらに筆者は、学童期の小児の死の概念発達とその関連要因について検討し、認知的な発達段階、入院・死別体験などの社会体験の影響を受けることを確認した(1989年)。

これらの研究成果は、現実の死を体験する機会が少なく現実でない死が氾濫する現代社会において、子どもの死の概念発達や死生観の形成に関わる社会要因の検討、自殺問題や神戸でおきた児童殺傷事件とも関連する高次のアニミズムの実態調査、ひいては Death Education の具体的方略開発の必要性を示唆している。

Ⅲ. 研究の目的・方法

研究の目的は、以下の3課題である。

- 1) 子どもと死について語る。死について語る事がタブーとされてきた社会の中で、子どもが日常生活の中で見聞きしている「死」について語り合う。
- 2) 子どもの「死の概念発達とその関連要因」を明らかにする。子どもが日常生活の中で出会う「死」を通して「死」や「死後の世界」をどのように考えているか、その実態を把握する。
- 3) 子どもに死をどのように教えるか、Death Educationのための指針とシステムを開発する。

1. 調査対象

調査対象は、北海道、関東、九州に在住の小学校1年生から中学校3年生である。

2. 調査期間

調査期間は、平成12年2月から平成12年3月までの約2か月間である。

3. 調査方法

調査方法は、質問紙を用いたアンケート調査である。質問紙は、子どもの死に関する文献から、以下の調査項目で構成した。

- 1) 子どもの生活に関する概要（死別体験や葬式出席体験その他）に関する項目
- 2) 死の概念の構成要素である①生物・無生物の識別（子どものアニミズム的思考における生命概念を把握する）に関する項目
- 3) 生物・無生物の識別とともに死の概念の構成要素である②死の不動性の理解、③死の不可逆性の理解、④死の不可避性・普遍性の理解、⑤時間の概念（過去・現在・未来についての概念）の発達に関する項目
- 4) 死後の世界に関する項目
- 5) 死に対する会話に関する項目
- 7) 死後のイメージに関する項目
- 8) 死後の世界のイメージに関する項目
- 9) 死のイメージに関する項目

5. 分析方法

調査対象は、小学校1学年～3学年を「低学年」、小学校4学年～6学年を「高学年」、中学校1学年～3学年を「中学生」の3グループに分類した。分析は統計ソフト

ト SPSS を用い、以下の項目を行った。

- 1) 各項目に関する基本統計量
- 2) 死の概念について、学年別、地域別、性別別に一元配置分散分析
- 3) 子どもの生活、死後の世界・死に関する会話・死後のイメージ・死後の世界のイメージ・死のイメージについて、学年別、地域別、性別別にクロス集計

IV. 結 果

1. 調査対象 (表 1)

調査対象は、小学校 1 学年から中学校 3 学年の合計 2662 名である。学年別では、低学年が 846 名 (小学 1 学年 : 271 名、2 学年 : 292 名、3 学年 : 277 名)、高学年が 900 名 (4 学年 : 290 名、5 学年 : 287 名、6 学年 : 323 名)、中学生が 916 名 (1 学年 : 431 名、2 学年 : 326 名、3 学年 : 159 名) である。地域別では北海道が 981 名、関東が 924 名、九州が 757 名である。男女別にみると男子 1399 名、女子 1263 名、無記入 28 名である。

2. 調査対象の生活に関する概要

1) 兄弟姉妹 (表 2-1~3)

学年別に兄弟姉妹の有無をみると、兄弟姉妹が「いる」と答えた生徒は、低学年 757 名 (88.5%)、高学年 818 名 (90.9%)、中学生 857 名 (93.7%) で、回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、学年が高いほど兄弟姉妹が「いる」と答えた者が多かった。

地域別にみると兄弟姉妹が「いる」と答えた生徒は、低学年は北海道 280 名 (85.9%)、関東 333 名 (89.3%)、九州 144 名 (92.3%)、高学年は北海道 320 名 (89.9%)、関東 353 名 (90.7%)、九州 145 名 (93.5%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。中学生は北海道 282 名 (93.7%)、関東 142 名 (85.5%)、九州 433 名 (96.7%) であった。回答と地域間には 1% 水準で有意な関連があり、兄弟姉妹が「いる」と答えた生徒は九州、北海道、関東の順に多かった。

性別でみると兄弟姉妹が「いる」と答えた生徒は、低学年は男子が 384 名 (88.3%)、女子が 364 名 (89.0%) であり、高学年は男子が 444 名 (91.4%)、女子が 374 名 (90.3%)、中学生は男子が 444 名 (93.5%)、女子が 409 名 (93.8%) であった。いずれにも回答と性別間に有意な関連はなかった。

2) 話し合える友達 (表 3-1~3)

学年別にみると、話し合える友達が「たくさんいる」と答えた生徒は、低学年が 545 名 (64.5%)、高学年が 573 名 (64.2%)、中学生が 522 名 (58.3%) で回答と学年間に 5% 水準で有意な関連があり、低学年・高学年より中学生は「たくさんいる」と答えた生徒が少なかった。「少しいる」と答えた生徒は、低学年・高学年より中学生が 355 名 (39.7%) と多かった。

地域別にみると、話し合える友達が「たくさんいる」と答えたものが低学年は北海道が 205 名 (63.7%)、関東が 231 名 (62.6%)、九州が 109 名 (70.8%) であった。高学年は北海道が 206 名 (58.4%)、関東が 261 名 (67.4%)、九州が 106 名 (69.3%) で、

回答と地域間に5%水準で有意な関連があり、九州、関東、北海道の順に多かった。中学生は北海道が162名(56.1%)、関東が94名(58.4%)、九州が266名(59.8%)で回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると、話し合える友達が「たくさんいる」と答えた生徒は、低学年では男子が277名(65.0%)、女子が263名(64.1%)、高学年では男子が327名(67.7%)、女子が246名(60.0%)、中学生は男子が281名(60.4%)、女子が239名(56.1%)で、いずれも回答と性別間に有意な関連はなかった。

3) 入院体験(表4-1~3)

入院した経験を学年別でみると「はい」と答えた生徒は、低学年は251名(29.7%)、高学年は275名(30.7%)、中学生は304名(33.2%)で回答と学年間に有意な関連はなかった。

地域別では、入院した経験が「ある」と答えた生徒は、低学年は北海道が103名(32.1%)、関東が111名(30.1%)、九州が37名(23.9%)であった。高学年では北海道が129名(36.4%)、関東が97名(25.0%)、九州49名(32.0%)であった。中学生は、北海道が117名(38.6%)、関東が54名(32.5%)、九州133名(29.8%)で回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると入院した経験が「ある」と答えた生徒は、低学年では男子が140名(32.8%)、女子が106名(26.0%)、高学年は男子が156名(32.3%)、女子が119名(28.9%)、中学生は男子が189名(39.9%)、女子は115名(26.3%)で、いずれも回答と性別間に有意な関連はなかった。

4) ペットを飼った経験(表5-1~3)

ペットを飼った経験を学年別にみると、飼ったことが「ある」と答えた生徒は低学年が640名(75.7%)、高学年が758名(84.5%)、中学生が757名(82.8%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、飼ったことがある経験は高学年が最も多かった。

地域別では、飼ったことが「ある」と答えた生徒は、低学年は北海道が250名(77.9%)、関東が260名(70.1%)、九州が130名(85.0%)で、回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、九州、北海道、関東の順に多かった。高学年では北海道が294名(83.1%)、関東が326名(84.0%)、九州が138名(89.0%)で回答と学年間に有意な関連はなかった。中学生は北海道が220名(72.1%)、関東が142名(86.%)、九州が395名(89.0%)で、回答と地域間に1%水準で有意な関連があり、九州、関東、北海道の順に多かった。

性別でみると、飼ったことが「ある」と答えた生徒は、低学年は男子が312名(72.9%)、

女子が 321 名 (79.1%) で男女間に 5%水準で有意な関連があり、女子の方が飼ったことがある経験が多かった。高学年は男子が 411 名 (84.7%)、女子が 347 名 (84.2%) で回答と性別間に有意な関連はなかった。中学生は男子が 375 名 (79.3%)、女子が 381 名 (87.2%) で回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり女子の方が飼ったことがある経験が多かった。

5) ペットとの死別体験 (表 6-1~3)

ペットとの死別体験を学年別にみると、ペットの死別体験の「ある」と答えた生徒は、低学年が 494 名 (68.3%)、高学年が 640 名 (76.6%)、中学生が 611 名 (74.6%) で、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり高学年に死別体験が多かった。

地域別にみると死別体験が「ある」と答えている生徒は、低学年は北海道が 198 名 (71.2%)、関東が 205 名 (68.1%)、九州が 91 名 (63.2%) であった。高学年は北海道が 254 名 (77.9%)、関東が 283 名 (78.4%)、九州が 103 名 (69.6%) であった。中学生は北海道が 169 名 (68.4%)、関東が 123 名 (82.0%)、九州が 319 名 (75.6%) であった。中学生において、回答と地域間に 5%水準で有意な関連があり、関東、九州、北海道の順に死別体験があると答えた生徒が多かった。

性別でみると死別体験があると答えている生徒は、低学年は男子が 241 名 (67.1%)、女子が 250 名 (70.6%) であった。高学年は男子が 340 名 (75.6%) 女子が 300 名 (77.9%) であった。低学年・高学年では回答と性別間に有意な関連はなかった。中学生では男子が 284 名 (68.1%) 女子 326 名 (81.5%) で、回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり女子の方が死別体験があると答えた者が多かった。

6) 身近な人との死別体験 (表 7-1~3)

身近な人との死別体験を学年別にみると死別体験が「ある」と答えた生徒は、低学年で 447 名 (54.0%)、高学年で 594 名 (66.6%)、中学生が 623 名 (69.1%) で、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、低学年、高学年、中学生の順に死別を体験したものが多かった。

地域別にみると死別体験が「ある」と答えたものは、低学年では北海道が 196 名 (62.2%)、関東が 172 (47.5%)、九州が 79 名 (52.3%) であった。低学年に回答と地域間に 1%水準で有意な関連があり、身近な人との死別体験は北海道が最も多く、東京が最も少なかった。高学年では北海道が 243 名 (69.0%)、関東が 253 名 (65.5%)、九州が 98 名 (63.6%) であった。中学生では北海道が 199 名 (67.0%)、関東が 108 名 (67.5%)、九州が 316 名 (71.0%) であり高学年と中学生では回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると死別体験が「ある」答えた生徒は、低学年では男子が 207 名 (49.3%)、

女子が 236 名 (59.3%) であり、男女間に 1%水準で有意な関連があり、女子の方が死別体験があると答えたものが多かった。高学年は男子が 313 名 (65.1%)、女子が 281 名 (68.4%) であった。中学生では男子が 306 名 (65.6%)、女子が 316 名 (73.3%) であった。高学年、中学生では回答と性別間に有意な関連はなかった。

7) 死んだ人を見た経験 (表 8-1~3)

死んだ人を見た経験の有無を学年別にみると、見たことが「ある」と答えた生徒は、低学年で 317 名 (39.6%)、高学年で 473 名 (53.9%)、中学生が 538 名 (60.9%) であった。回答と学年間には 1%水準で有意な関連があり、中学生に体験しているものが多かった。

地域別にみると見たことが「ある」と答えた生徒は、低学年では北海道が 148 名 (48.5%)、関東が 117 (33.7%)、九州が 52 名 (35.1%) であった。回答と地域間に 1%水準で有意な関連があり、死んだ人を見た経験は北海道が最も多く、東京が最も少なかった。高学年では北海道が 211 名 (60.1%)、関東が 185 名 (48.9%)、九州が 77 名 (52.0%) であった。回答と地域間に 1%水準で有意な関連があり、北海道が最も多く、東京が最も少なかった。中学生では北海道が 177 名 (61.2%)、関東が 88 名 (56.8%)、九州が 273 名 (62.2%) であった。回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると死んだ人を見たことが「ある」と答えた生徒は、低学年では男子が 147 名 (36.8%)、女子が 168 名 (43.1%)、高学年では男子が 245 名 (52.6%)、女子が 228 名 (55.5%) 中学生では男子が 267 名 (58.0%)、女子が 268 名 (64.1%) であった。回答と性別間に有意な関連はなかった。

8) お葬式への出席体験 (表 9-1~3)

お葬式への出席の有無を学年別にみると、出席したことがあると答えた生徒は、低学年では 500 名 (61.4%)、高学年では 621 名 (69.9%)、中学生では 736 名 (81.9%) であった。回答と学年間には、1%水準で有意な関連があり、中学生の体験が最も多かった。

地域別にみると、出席したことがあると答えた生徒は、低学年では北海道が 235 名 (75.8%)、関東が 184 名 (51.5%)、九州が 81 名 (55.1%) であった。高学年では北海道が 276 名 (78.4%)、関東が 237 名 (61.6%)、九州が 108 名 (71.5%) であった。低学年・高学年に回答と地域間に各々 1%水準で有意な関連があり、お葬式への出席体験は北海道が多く、関東が少なかった。中学生では北海道が 242 名 (81.8%)、関東が 131 名 (82.9%)、九州が 363 名 (81.8%) であった。中学生では回答と地域間に 5%水準で有意な関連があった。

性別でみると出席したことがあると答えた生徒は、低学年では男子が 239 名 (57.7%)、

女子が 256 名 (65.6%) であった。高学年では男子が 312 名 (65.4%)、女子が 309 名 (75.2%) であった。中学生では男子が 381 名 (82.1%)、女子が 351 名 (81.6%) であった。高学年では回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり、女子の方がお葬式への出席体験が多かった。

9) お墓参りの経験 (表 10-1~3)

お墓参り経験の有無を学年別にみると、行ったことがあると答えた生徒は低学年で 621 名 (74.9%)、高学年で 771 名 (86.3%)、中学生が 782 名 (86.8%) であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり中学生の墓参体験が最も多かった。

地域別にみると行ったことがあると答えた生徒は、低学年では北海道が 251 名 (79.4%)、関東が 269 名 (74.1%)、九州が 101 名 (67.3%) であった。低学年に 5%水準で有意な関連があり、北海道に経験があると答えたものが多く、九州に少なかった。高学年では北海道が 324 名 (91.3%)、関東が 326 名 (84.9%)、九州が 121 名 (78.6%) であった。高学年で回答と地域間に 1%水準で有意な関連があり、墓参体験をしているものが北海道に多く、九州に少なかった。中学生では北海道が 266 名 (89.6%)、関東が 143 名 (88.8%)、九州が 373 名 (84.2%) であった。

性別でみると行ったことがあると答えた生徒が、低学年では男子が 303 名 (72.1%)、女子が 310 名 (77.9%) であった。高学年では男子が 404 名 (83.8%) 女子が 367 名 (89.3%)、中学生では、男子が 399 名 (85.6%)、女子が 379 名 (88.1%) であった。回答と性別間に有意な関連はなかった。

3. 死の概念発達の構成要素

広く研究されている死の概念発達の構成要素として、質問紙の中で用いた以下にあげた 5 要素が注目されている。

- 1) 生物・無生物の識別、
- 2) 死の不動性の理解、
- 3) 死の不可逆性の理解、
- 4) 死の不可避性・普遍性の理解、
- 5) 時間の概念の発達

1) 生物・無生物の識別

(1) お人形 (表 11-1-1~3)

「お人形は生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年では 239 名 (28.2%)、高学年では 174 名 (19.4%)、中学生が 190 名 (20.7%) であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、「生きています」と回答した生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 110 名 (34.0%)、関東が 85 名 (23.0%)、九州が 44 名 (28.4%) であった。高学年では北海道が 64 名

(18.1%)、関東が 82 名 (21.2%)、九州が 28 名 (18.2%) であった。中学生では北海道が 54 名 (17.9%)、関東が 36 名 (21.8%)、九州が 100 名 (22.3%) であった。低学年で回答と地域間に 5%水準で有意な関連があり、「お人形は生きている」との回答は北海道が最も多く、関東が最も少なかった。「わからない」の回答は九州が最も多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が 100 名 (23.1%)、高学年が 73 名 (15.1%)、中学生が 76 名 (16.0%) であった。女子では低学年が 134 名 (33.1%)、高学年が 101 名 (24.6%)、中学生が 113 名 (25.9%) であった。各学年で回答と回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり、各学年とも女子の方が男子より「生きている」と回答する生徒が多かった。

(2) 庭の木 (表 11-2-1~3)

「庭の木は生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年では 774 名 (91.0%)、高学年では 844 名 (94.1%)、中学生が 837 名 (91.3%) であった。回答と学年間に有意な関連はなかった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は低学年では北海道が 302 名 (92.9%)、関東が 334 名 (90.3%)、九州が 138 名 (88.5%) であった。高学年では北海道が 336 名 (94.4%)、関東が 369 名 (95.1%)、九州が 139 名 (90.8%) であった。中学生では北海道が 270 名 (89.1%)、関東が 156 名 (94.5%)、九州が 411 名 (91.5%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が 389 名 (89.6%)、高学年が 454 名 (93.8%)、中学生が 420 名 (88.2%) であった。女子では低学年が 375 名 (92.4%)、高学年が 390 名 (94.4%)、中学生が 412 名 (94.5%) であった。高学年で回答と性別間に 5%水準で有意な関連がみられ、女子は男子に比し「わからない」と答えた生徒が多かった。中学生において回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり、女子は男子に比し「生きている」と答えた生徒が多かった。

(3) 飛行機 (表 11-3-1~3)

「飛行機は生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年が 173 名 (20.4%)、高学年が 78 名 (8.7%)、中学生が 108 名 (11.8%)、であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、「生きている」と答えた生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 87 名 (26.9%)、関東が 60 名 (16.3%)、九州が 26 名 (16.7%) であった。高学年では北海道が 27 名 (7.6%)、関東が 37 名 (9.6%)、九州が 14 名 (9.1%) であった。中学生では北海道が 23 名 (7.6%)、関東が 21 名 (12.8%)、九州が 64 名 (14.3%) であった。低学年

において回答と地域間に1%水準で、高学年および中学生において回答と地域間に各々5%水準で有意な関連があった。低学年では「飛行機は生きている」と回答した生徒は北海道が最も多く、九州が最も少なかった。「わからない」は関東が最も多かった。高学年において「飛行機は生きている」と回答した生徒は関東が最も多く、北海道が最も少なかった。「わからない」は九州が最も多かった。中学生において「飛行機は生きている」と回答した生徒は九州が最も多く、北海道が最も少なかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が99名(22.9%)、高学年が43名(8.9%)、中学生が63名(13.3%)であった。女子では低学年が71名(17.5%)、高学年が35名(8.5%)、中学生が45名(10.3%)であった。低学年および中学生で回答と回答と性別間に各々5%水準で、高学年と回答と回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、低学年においては女子の方が男子より「生きている」あるいは「わからない」と回答した生徒が多かった。高学年においては男子の方が女子より「生きていない」と回答した生徒が多く、女子は男子より「わからない」と回答した生徒が多かった。中学生においては男子の方が女子より「生きていない」と回答した生徒が多く、女子は男子より「わからない」と回答した生徒が多かった。

(4) テレビ (表 11-4-1~3)

「テレビは生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年では201名(23.7%)、高学年では83名(9.3%)、中学生が116名(12.7%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「生きている」と回答した生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が85名(26.2%)、関東が78名(21.2%)、九州が38名(24.5%)であった。高学年では北海道が32名(9.0%)、関東が38名(9.8%)、九州が13名(8.4%)であった。中学生では北海道が26名(8.6%)、関東が24名(14.6%)、九州が66名(14.7%)であった。高学年で回答と地域間に1%水準で、中学生で回答と地域間に5%水準で有意な関連がみられ、高学年において「テレビは生きている」と回答した生徒は関東が最も多く、北海道が最も少なかった。わからないは九州が最も多かった。中学生においては九州が「わからない」と回答した生徒が多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が110名(25.5%)、高学年が42名(8.7%)、中学生が63名(13.3%)であった。女子では低学年が88名(21.8%)、高学年が41名(10.0%)、中学生が52名(11.9%)であった。各学年で回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、各学年とも男子の方が女子より「生きていない」と答えた生徒が多く、女子は男子より「わからない」と答えた生徒が多かった。

(5) かみなり (表 11-5-1~3)

「かみなりは生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年では363名(45.0%)、高学年では251名(28.5%)、中学生が229名(25.5%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「生きている」と答えた生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が136名(43.9%)、関東が144名(42.0%)、九州が83名(54.2%)であった。高学年では北海道が95名(27.5%)、関東が107名(28.0%)、九州が49名(32.0%)であった。中学生では北海道が40名(13.6%)、関東が46名(28.6%)、九州が143名(32.4%)であった。中学生で回答と地域間に1%水準で有意な関連があり、「かみなりは生きている」との答えは九州が最も多く、北海道が最も少なかった。「わからない」との答えは関東が最も多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が191名(46.0%)、高学年が124名(26.2%)、中学生が104名(22.5%)であった。女子では低学年が168名(44.1%)、高学年が127名(31.3%)、中学生が124名(28.7%)であった。各学年で回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、各学年とも男子の方が女子より「生きている」と回答する生徒が多く、女子は男子より「わからない」と回答する生徒が多かった。

(6) ポケモン (表 11-6-1~3)

「ポケモンは生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年では455名(54.1%)、高学年では216名(24.2%)、中学生が248名(27.2%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「生きている」と答えた生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が172名(53.9%)、関東が202名(54.9%)、九州が81名(52.6%)であった。高学年では北海道が81名(22.9%)、関東が103名(26.6%)、九州が32名(20.9%)であった。中学生では北海道が84名(27.6%)、関東が40名(24.5%)、九州が124名(27.8%)であった。各学年、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が266名(62.0%)、高学年が137名(28.4%)、中学生が148名(31.3%)であった。女子では低学年が182名(45.3%)、高学年が79名(19.2%)、中学生が100名(22.9%)であった。各学年において回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、各学年とも男子の方が女子より「生きている」と回答する生徒が多く、女子は男子より「わからない」と回答する生徒が多かった。

(7) 犬 (表 11-7-1~3)

「犬は生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年が 818 名 (96.5%)、高学年が 891 名 (99.1%)、中学生が 900 名 (97.9%) であった。回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、「生きている」と回答した生徒は高学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 312 名 (96.0%)、関東が 353 名 (96.4%)、九州が 153 名 (97.5%) であった。高学年では北海道が 355 名 (99.7%)、関東が 382 名 (98.5%)、九州が 154 名 (99.4%) であった。中学生では北海道が 295 名 (96.7%)、関東が 162 名 (97.6%)、九州が 443 名 (98.9%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が 416 名 (96.3%)、高学年が 482 名 (99.4%)、中学生が 463 名 (97.3%) であった。女子では低学年が 391 名 (96.5%)、高学年が 409 名 (98.8%)、中学生が 432 名 (98.6%) であった。各学年において回答と性別間に有意な関連はなかった。

(8) 人 (表 11-8-1~3)

「人は生きていますか」に「はい」と答えた生徒は、低学年では 830 名 (98.2%)、高学年では 893 名 (99.6%)、中学生が 890 名 (96.9%) であった。回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、「生きている」と答えた生徒は高学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 316 名 (97.8%)、関東が 362 名 (98.1%)、九州が 152 名 (99.3%) であった。高学年では北海道が 353 名 (99.2%)、関東が 386 名 (99.7%)、九州が 154 名 (100%) であった。中学生では北海道が 295 名 (96.7%)、関東が 162 名 (97.6%)、九州が 433 名 (96.9%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が 424 名 (98.4%)、高学年が 481 名 (99.6%)、中学生が 457 名 (96.0%) であった。女子では低学年が 396 名 (98.3%)、高学年が 412 名 (99.5%)、中学生が 428 名 (97.9%) であった。各学年において回答と性別間に有意な関連はなかった。

2) 死の不動性の理解

(1) 死んだ人は動くことができるか (表 12-1-1~3)

「死んだ人は動くことができますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 89 名 (10.6%)、高学年が 62 名 (6.9%)、中学生が 84 名 (9.2%) であった。回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、「動くことができる」と回答した生徒は低学年が最も多く、「わからない」の回答は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 36 名 (11.2%)、

関東が40名(10.9%)、九州が13名(8.5%)であった。高学年では北海道が30名(8.5%)、関東が25名(6.5%)、九州が7名(4.5%)であった。中学生では北海道が23名(7.6%)、関東が14名(8.5%)、九州が47名(10.5%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」の回答が男子では、低学年が47名(11.0%)、高学年が31名(6.4%)、中学生が46名(9.7%)であった。女子では低学年が38名(9.4%)、高学年が31名(7.5%)、中学生が38名(8.7%)であった。低学年で回答と性別間に5%水準、高学年で回答と性別間に1%水準で有意な関連があった。低学年では男子は「動くことができない」「動くことができる」とともに回答数が女子より多く、女子は男子に比し「わからない」の回答が多かった。高学年では、男子は「動くことができない」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「わからない」と回答した生徒が多かった。

(2) 死んだ人は手を切ると痛いか(表 12-2-1~3)

「死んだ人は手を切ると痛いですか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が116名(13.8%)、高学年が89名(9.9%)、中学生が98名(10.7%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「痛い」と答えた生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が42名(13.0%)、関東が46名(12.7%)、九州が28名(18.3%)であった。高学年では北海道が42名(11.8%)、関東が33名(8.5%)、九州が14名(9.1%)であった。中学生では北海道が36名(11.9%)、関東が16名(9.6%)、九州が46名(10.3%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は男子では低学年が72名(16.8%)、高学年が45名(9.3%)、中学生が52名(10.9%)であった。女子は低学年が39名(9.7%)、高学年が44名(10.7%)、中学生が46名(10.6%)であった。低学年において回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「痛い」「痛くない」両方とも回答が多かった。女子は男子に比して「わからない」と回答した生徒が多かった。

(3) 死んだ人はお腹がすくか(表 12-3-1~3)

「死んだ人はお腹がすきますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が142名(16.8%)、高学年が87名(9.7%)、中学生が115名(12.6%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「お腹がすく」と回答した生徒は低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が60名(18.6%)、関東が50名(13.7%)、九州が32名(20.6%)であった。高学年では北海道が45名(12.6%)、関東が27名(7.0%)、九州が15名(9.7%)であった。中学生では北海道が40名(13.2%)、関東が17名(10.2%)、九州が58名(13.1%)であった。低学年において回答と地域間に1%水準で有意な関連があった。「いいえ」と回答した生徒は関東が最も多く7割、次いで北海道が6割、九州は5割であった。九州では「わからない」と「はい」と回答した生徒が各々2割で他の地域より多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が85名(19.9%)、高学年が44名(9.1%)、中学生が61名(12.9%)であった。女子は低学年が55名(13.6%)、高学年が43名(10.4%)、中学生が54名(12.4%)であった。低学年において回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、男子は女子に比し「お腹がすく」の回答が多く、女子は男子に比し「わからない」の回答が多かった。

(4) 死んだ人はお坊さんのお経や神父様のお祈りが聞こえるか(表12-4-1~3)

「死んだ人はお坊さんのお経や神父様のお祈りを聞くことができますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が351名(41.4%)、高学年が316名(35.5%)、中学生が308名(33.8%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で225名(26.5%)、その後増加傾向を示すが、中学生では287名(31.5%)と減少傾向を示していた。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「聞くことができる」と回答した生徒は低学年が最も多く、「わからない」と答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が155名(48.0%)、関東が135名(36.6%)、九州が61名(39.1%)であった。高学年では北海道が145名(40.7%)、関東が127名(33.2%)、九州が44名(28.9%)であった。中学生では北海道が100名(33.2%)、関東が48名(29.1%)、九州が160名(36.0%)であった。低学年および高学年において、回答と地域間に各々5%水準で有意な関連があった。低学年においては、北海道で「はい」と答えた生徒が5割弱、九州が4割弱で、北海道が最も多かった。これに対し関東では「いいえ」と答えた生徒が4割弱で最も多かった。また九州は「わからない」と答えた生徒が3割弱で3地域中最も多かった。高学年では北海道が「はい」と回答した生徒が4割で最も多いのに対し、九州は「いいえ」と答えた生徒が4割以上で最も多かった。また関東は「わからない」と答えた生徒が35.3%で最も多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が178名(41.3%)、高学年が161名(33.4%)、中学生が139名(29.4%)であった。女子は低学年が169名(41.5%)、高学年が155名(38.0%)、中学生が167名(38.5%)であった。高学年において回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「聞く

ことができない」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「聞くことができる」あるいは「わからない」と回答した生徒が多かった。

(5) 死んだ人は目を開けていればいろいろなものを見ることができるか(表 12-5-1～3)

「死んだ人は目を開けていればいろいろなものを見ることができますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 115 名 (13.6%)、高学年が 62 名 (6.9%)、中学生が 92 名 (10.1%) であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年が 607 名 (71.6%)、高学年が 643 名 (79.1%)、中学生が 529 名 (57.9%) で、中学生が最も少なかった。中学生では「わからない」と答えた生徒が 293 名 (32.1%) であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、「見ることができる」と答えた生徒は小学校低学年が最も多く、「わからない」と答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 54 名 (16.6%)、関東が 42 名 (11.4%)、九州が 19 名 (12.3%) であった。高学年では北海道が 29 名 (8.1%)、関東が 28 名 (7.3%)、九州が 5 名 (3.2%) であった。中学生では北海道が 31 名 (10.3%)、関東が 10 名 (6.0%)、九州が 51 名 (11.4%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年は 59 名 (13.7%)、高学年は 27 名 (5.6%)、中学生が 42 名 (8.8%) であった。女子は低学年が 52 名 (12.8%)、高学年が 35 名 (8.5%)、中学生が 50 名 (11.5%) であった。各学年において回答と性別間に有意な関連はなかった。

3) 死の不可逆性の理解

(1) 死ぬことは眠ることと同じで、目が覚めればまた生き返るか (表 13-1-1～3)

「死ぬことは眠ることと同じで、目が覚めればまた生き返ることができますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 42 名 (5.0%)、高学年が 58 名 (6.5%)、中学生が 104 名 (11.4%) であった。「いいえ」と答えた生徒は、中学生が 603 名 (65.9%) と最も少なかったが、「わからない」と答えた生徒が 208 名 (22.7%) と最も高かった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、生き返ることができないと答えた生徒は高学年が最も多く、わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 16 名 (5.0%) 関東が 12 名 (3.3%)、九州が 14 名 (9.0%) であった。高学年では北海道が 22 名 (6.2%)、関東が 28 名 (7.3%)、九州が 8 名 (5.2%) であった。中学生では北海道が 36 名 (11.9%)、関東が 14 名 (8.5%)、九州が 54 名 (12.1%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が23名(5.4%)、高学年が33名(6.8%)、中学生が59名(12.4%)であった。女子では低学年が18名(4.4%)、高学年が25名(6.1%)、中学生が45名(10.4%)であった。低学年において回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「生き返らない」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「わからない」と回答した生徒が多かった。

(2) 死ぬことは一人ぼっちになってしまうことか(表13-2-1~3)

「死ぬことは一人ぼっちになってしまうことですか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が250名(30.0%)、高学年が163名(18.2%)、中学生が157名(17.2%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で399名(47.9%)で、その後増加傾向を示すが、中学生では480名(52.6%)と減少傾向を示し「わからない」と答えた生徒が276名(30.2%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、一人ぼっちになると答えた生徒は低学年が最も多く、わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると低学年では北海道が94名(29.5%)、関東が104名(28.8%)、九州が52名(34.0%)であった。高学年では北海道が60名(16.9%)、関東が72名(18.6%)、九州が31名(20.3%)であった。中学生では北海道が64名(21.2%)、関東が24名(14.5%)、九州が69名(15.5%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が148名(34.7%)、高学年は108名(22.4%)、中学生が89名(18.9%)であった。女子では低学年が95名(24.0%)、高学年が55名(13.3%)、中学生が68名(15.6%)であった。各学年において回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、各学年とも男子は女子に比して「一人ぼっちになってしまうこと」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して各学年とも「一人ぼっちになってしまうことではない」との回答が多かった。「わからない」と回答した生徒は低学年、高学年では女子が多く、中学生では男子が多かった。

(3) 死んだ人は、病院で医師に診て貰うと生き返ることができるか(表13-3-1~3)

「死んだ人は、病院で医師に診て貰うと生き返ることができますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が43名(5.1%)、高学年が28名(3.1%)、中学生が41名(4.5%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年が705名(83.7%)、高学年が751名(83.7%)、中学生が707名(77.4%)であった。「わからない」と答えた生徒は中学生が166名(18.2%)と最も多かった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「生き返ることができない」と答えた生徒は中学生が最も少なく、「わ

からない」と答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が18名(5.6%)、関東が17名(4.7%)、九州が8名(5.2%)であった。高学年では北海道が14名(3.9%)、関東が13名(3.4%)、九州が1名(0.6%)であった。中学生では北海道が15名(5.0%)、関東が1名(0.6%)、九州が25名(5.6%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が30名(7.0%)、高学年が17名(3.5%)、中学生が29名(6.1%)であった。女子では低学年が12名(3.0%)、高学年が11名(2.7%)、中学生が12名(2.7%)であった。低学年において回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「生き返る」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「生き返らない」との回答が多かった。

(4) 死んだ人を生き返らせることはできるか(表13-4-1~3)

「死んだ人を生き返らせることはできますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が47名(5.6%)、高学年が44名(4.9%)、中学生が117名(12.8%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で691名(81.9%)、高学年が698名(77.9%)、中学生が612名(67.0%)であった。「わからない」と答えた生徒は中学生が184名(20.2%)と最も多かった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、生き返ることができないと答えた生徒は中学生が最も少なく、わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が18名(5.6%)、関東が19名(5.1%)、九州が10名(6.6%)であった。高学年では北海道が21名(5.9%)、関東が14名(3.6%)、九州が9名(5.9%)であった。中学生では北海道が47名(15.6%)、関東が16名(9.8%)、九州が54名(12.1%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では小学校低学年は30名(7.1%)、高学年は31名(6.4%)、中学生が72名(15.2%)であった。女子は低学年が16名(3.9%)、高学年が13名(3.2%)、中学生が45名(10.3%)であった。低学年および高学年において回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、両学年とも男子は女子に比して「生き返らせることができる」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「わからない」と回答した生徒が男女とも2割ほどみられた。

(5) 死んだ人は決して生き返らないか(表13-5-1~3)

「死んだ人は決して生き返らないですか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が488名(58.2%)、高学年が468名(52.6%)、中学生が436名(48.0%)であっ

た。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で211名(25.2%)、高学年が163名(18.3%)、中学生が202名(22.2%)であった。「わからない」と答えた生徒は中学生が270名(29.7%)と最も多かった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、「生き返らない」と答えた生徒は中学生が最も少なく、「わからない」と答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が186名(57.8%)、関東が221名(60.5%)、九州が81名(53.6%)であった。高学年では北海道が182名(51.6%)、関東が208名(54.0%)、九州が78名(51.7%)であった。中学生では北海道が149名(49.5%)、関東が78名(48.1%)、九州が209名(47.0%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では小学校低学年は261名(61.7%)、高学年は277名(57.7%)、中学生が236名(50.3%)であった。女子は低学年が223名(55.2%)、高学年が191名(46.7%)、中学生が198名(45.5%)であった。高学年で回答と性別間に1%水準、低学年で回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、両学年とも男子は女子に比して「生き返らない」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「わからない」と回答した生徒が多かった。

4) 死の不可避性・普遍性の理解

(1) 人間には死ぬ人と死なない人がいますか(表14-1-1~3)

「人間には死ぬ人と死なない人がいますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が103名(12.2%)、高学年が43名(4.8%)、中学生が77名(8.5%)であった。

「いいえ」と答えた生徒は、低学年で599名(71.2%)、高学年が767名(85.9%)と増加傾向を示すが、中学生では721名(79.4%)と減少に転じている。「わからない」と答えた生徒は低学年が139名(16.5%)と最も多かった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、人間には死ぬ人と死なない人がいると答えた生徒は低学年が最も多く、「わからない」と答えた生徒も低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が48名(14.8%)、関東が37名(10.1%)、九州が18名(11.9%)であった。高学年では北海道が22名(6.2%)、関東が13名(3.4%)、九州が8名(5.2%)であった。中学生では北海道が25名(8.4%)、関東が9名(5.5%)、九州が43名(9.7%)であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が48名(11.2%)、高学年が27名(5.6%)、中学生が54名(11.5%)であった。女子は低学年が55名(13.7%)、高学年が16名(3.9%)、中学生が23名(5.3%)であった。中学生で回答と性別間に1%水準、高学年で回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、両学年とも男

子は女子に比して「いる」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「いない」と回答した生徒が多かった。高学年の女子は男子に比して「わからない」との回答も多かった。

(2) あなたの父母は、病気や事故に遭わなければずっと生きられるか (表 14-2-1～3)

「あなたのお父さん・お母さんは、病気や事故に遭わなければ、ずっと生きていられますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 200 名 (23.6%)、高学年が 104 名 (11.7%)、中学生が 104 名 (11.4%) であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で 398 名 (47.0%)、高学年が 609 名 (68.5%)、中学生が 677 名 (74.1%) であった。回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、「病気や事故に遭わなければずっと生きられる」と答えた生徒は低学年が最も多く、「生きられない」と答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 73 名 (22.7%)、関東が 91 名 (24.7%)、九州が 36 名 (23.1%) であった。高学年では北海道が 43 名 (12.1%)、関東が 45 名 (11.7%)、九州が 16 名 (10.6%) であった。中学生では北海道が 26 名 (8.6%)、関東が 12 名 (7.2%)、九州が 66 名 (14.8%) であった。中学生で回答と地域間に 5% 水準で有意な関連があった。北海道は「わからない」と答えた生徒が 2 割弱で他の地域より多く、関東は「いいえ」と答えた生徒が 8 割弱で他の地域より多かった。また九州は「はい」と答えた生徒が 14.8% で他の地域より多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が 106 名 (24.6%)、高学年が 59 名 (12.3%)、中学生が 63 名 (13.3%) であった。女子では低学年が 92 名 (22.8%)、高学年が 45 名 (11.0%)、中学生が 41 名 (9.4%) であった。低学年で回答と性別間に 5% 水準で有意な関連があり、男子は女子に比し「はい」「いいえ」の回答が多く、女子は男子に比し「わからない」の回答が多かった。

(3) あなたは病気や事故に遭わなければずっと生きられますか (表 14-3-1～3)

「あなたは病気や事故に遭わなければずっと生きられますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 101 名 (12.0%)、高学年が 57 名 (6.4%)、中学生が 63 名 (6.9%) であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年が 553 名 (65.7%)、高学年が 697 名 (77.8%)、中学生が 736 名 (80.4%) であった。回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、「病気や事故に遭わなければずっと生きられる」と答えた生徒は低学年が最も多く、「生きられない」と答えた生徒は中学生が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 40 名 (12.3%)、

関東が 43 名 (11.8%)、九州が 18 名 (11.8%) であった。高学年では北海道が 25 名 (7.0%)、関東が 24 名 (6.2%)、九州が 8 名 (5.2%) であった。中学生では北海道が 24 名 (7.9%)、関東が 6 名 (3.7%)、九州が 33 名 (7.4%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年は 52 名 (12.1%)、高学年は 30 名 (6.2%)、中学生が 50 名 (10.6%) であった。女子は低学年が 47 名 (11.7%)、高学年が 27 名 (6.6%)、中学生が 13 名 (3.3%) であった。高学年において回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「生きられない」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「わからない」と回答した生徒が多かった。中学生で回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「生きられる」と回答した生徒が多く、女子は男子に比して「生きられない」と回答した生徒が多かった。

5) 時間の概念の発達

(1) あなたの父母は、赤ちゃんだったことがあるか (表 15-1-1~3)

「あなたのお父さんお母さんは、赤ちゃんだったことがありますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 774 名 (93.1%)、高学年が 880 名 (98.0%)、中学生が 886 名 (96.9%) であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で 24 名 (2.9%)、高学年が 8 名 (0.9%)、中学生が 17 名 (1.9%) であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、「赤ちゃんだったことがある」と答えた生徒は高学年が最も多かった。「いいえ」「わからない」と答えた生徒は、低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 295 名 (93.7%)、関東が 344 名 (94.8%)、九州が 135 名 (88.2%) であった。高学年では北海道が 346 名 (97.5%)、関東が 383 名 (98.7%)、九州が 151 名 (97.4%) であった。中学生では北海道が 288 名 (95.0%)、関東が 164 名 (98.8%)、九州が 434 名 (97.5%) であった。各学年において回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は男子では小学校低学年は 386 名 (92.1%)、高学年は 471 名 (97.3%)、中学生が 449 名 (95.1%) であった。女子は低学年が 380 名 (94.8%)、高学年が 409 名 (98.8%)、中学生が 432 名 (98.9%) であった。中学生で回答と性別間に 1%水準で有意な関連があり、女子は男子に比して「はい」と回答した生徒が多かった。

(2) あなたの父母は、いつの日かおじいちゃんおばあちゃんになるか (表 15-2-1~3)

「あなたのお父さんお母さんは、いつの日かおじいちゃんおばあちゃんになります

か」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が720名(86.2%)、高学年が806名(90.0%)、中学生が809名(88.0%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、小学校低学年が21名(2.5%)、高学年が12名(1.3%)、中学生が26名(2.8%)であった。回答と学年間に有意な関連はなかった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が292名(90.1%)、関東が307名(85.5%)、九州が121名(79.6%)であった。高学年では北海道が324名(91.3%)、関東が346名(89.2%)、九州が136名(88.9%)であった。中学生では北海道が273名(89.5%)、関東が143名(86.7%)、九州が393名(87.5%)であった。低学年で回答と地域間に1%水準で有意な関連があった。「はい」と答えた生徒は北海道が9割と最も多く、次いで関東の85.5%、九州の8割弱であった。九州は「わからない」と答えた生徒が2割弱で他の地域より多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が358名(84.6%)、高学年が433名(89.5%)、中学生が398名(83.6%)であった。女子は低学年が354名(88.1%)、高学年が373名(90.5%)、中学生が406名(92.7%)であった。中学生で回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、女子は男子に比して「はい」と回答した生徒が多かった。男子は女子に比して「いいえ」あるいは「わからない」と回答した生徒が多かった。

(3) あなた自身は、いつの日かおじいちゃんおばあちゃんになるか(表15-3-1~3)

「あなた自身は、いつの日かおじいちゃんおばあちゃんになりますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が693名(82.6%)、高学年が784名(87.3%)、中学生が794名(86.5%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年で31名(3.7%)、高学年が12名(1.3%)、中学生が33名(3.6%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、おじいちゃんおばあちゃんになると答えた生徒は高学年が最も多かった。「いいえ」「わからない」と答えた生徒は、低学年が最も多かった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が283名(87.9%)、関東が300名(82.0%)、九州が110名(72.8%)であった。高学年では北海道が316名(88.8%)、関東が338名(87.1%)、九州が130名(84.4%)であった。中学生では北海道が265名(86.9%)、関東が142名(86.1%)、九州が387名(86.4%)であった。低学年で回答と地域間に1%水準で有意な関連があり、「はい」と答えた生徒は北海道が9割弱と最も多く、次いで関東の8割、九州の7割であった。九州は「わからない」と答えた生徒が2割で他の地域より多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年は345名(81.4%)、高学年は420名(86.6%)、中学生が393名(82.6%)であった。女子は低学年が342名(84.4%)、高学年が364名(88.1%)、中学生が396名(90.6%)であった。中学生

で回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、女子は男子に比して「はい」と回答した生徒が多かった。男子は女子に比して「いいえ」あるいは「わからない」と回答した生徒が多かった。

(4) あなたは、小学校に入学した日にもどることができるか (表 15-4-1~3)

「あなたは、小学校に入学した日にもどることができますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が38名(4.5%)、高学年が29名(3.2%)、中学生が54名(5.9%)であった。「いいえ」と答えた生徒は、低学年が717名(85.1%)、高学年が787名(87.6%)、中学生が784名(85.6%)であった。回答と学年間に有意な関連はなかった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が12名(3.7%)、関東が16名(4.3%)、九州が10名(6.6%)であった。高学年では北海道が13名(3.7%)、関東が13名(3.4%)、九州が3名(1.9%)であった。中学生では北海道が22名(7.2%)、関東が6名(3.6%)、九州が26名(5.8%)であった。低学年で回答と地域間に1%水準で有意な関連があった。「いいえ」と答えた生徒は北海道・関東とも9割弱であったが、九州は7割で「わからない」と答えた生徒が2割弱で他の地域より多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が22名(5.1%)、高学年は21名(4.3%)、中学生が42名(8.8%)であった。女子は低学年が15名(3.7%)、高学年が8名(1.9%)、中学生が12名(2.8%)であった。中学生で回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、男子は女子に比して「はい」と回答した生徒が多かった。女子は男子に比して「いいえ」と回答した生徒が多かった。

4. 死後の世界

1) 死後の世界の有無 (表 16-1~3)

学年別にみると、死後の世界はあるかの質問に「はい」と答えた生徒は、低学年507名(59.9%)、高学年535名(59.7%)、中学生508名(55.6%)であった。学年間には5%水準で有意な関連があり、中学生にはいと答えたものが低学年・高学年に比べ少なかった。

地域別にみると死後の世界はあるかの質問に「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が210名(65.0%)、関東が210名(56.6%)、九州が87名(57.2%)であった。高学年では北海道が213名(60.0%)、関東が244名(62.9%)、九州が78名(51.0%)であった。中学生では北海道が162名(53.5%)、関東が91名(55.5%)、九州が255名(57.0%)であった。いずれにも回答と地域間には有意な関連はなかった。

性別でみると死後の世界はあるかの質問に「はい」と答えた生徒は、低学年では男

子が266名(62.0%)、女子が234名(57.6%)であった。高学年では男子が282名(53.3%)、女子が253名(61.4%)であった。中学生では、男子が245名(51.7%)、女子が262名(60.2%)であった。中学生では回答と性別間に5%水準で有意な関連があった。女子が死後の世界はあると答えたものが多かった。

2) 神様の有無(表17-1~3)

学年別にみると、神様はいると思うかの質問に「はい」と答えた生徒は、低学年702名(83.5%)、高学年542名(60.6%)、中学生433名(47.2%)であった。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、学年が低いほど「はい」と答えているものが多かった。

地域別にみると神様はいると思うかの質問に「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が273名(84.8%)、関東が299名(81.3%)、九州が130名(86.1%)であった。高学年では北海道が216名(60.8%)、関東が243名(62.8%)、九州が83名(54.2%)であった。中学生では北海道が124名(40.9%)、関東が78名(47.3%)、九州が231名(51.4%)であった。中学生で回答と地域間に5%水準で有意な関連がみられ、神様がいると答えたものは、九州、関東、北海道の順に多かった。

性別でみると神様はいると思うかの質問に「はい」と答えた生徒は、低学年では男子が354名(82.3%)、女子が337名(84.3%)であった。高学年では男子が281名(57.9%)、女子が261名(63.7%)であった。高学年で、回答と性別間に1%水準で関連があった。中学生は、男子が217名(45.7%)、女子が216名(49.4%)であった。中学生では、回答と性別間に5%水準で関連があった。高学年・中学生いずれも女子に神様がいると答えたものが多かった。

5. 死に関する会話

1) 家族との会話(表18-1~3)

「死について家族と話をしたことがありますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が329名(39.8%)、高学年が356名(39.8%)、中学生が300名(32.8%)で、「話したことがある」と回答した生徒は中学生が最も少なかった。回答と学年間に1%水準で有意な関連がみられ、「いいえ」の回答をみると、低学年が303名(36.6%)、高学年が387名(43.3%)、中学生が458名(50.1%)と学年が上がるに従って「話したことがない」と答える生徒が多くなっていった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が148名(46.8%)、関東が126名(34.7%)、九州が55名(37.2%)であった。高学年では、北海道が151名(42.4%)、関東が136名(35.3%)、九州が69名(45.1%)であった。中学生では北海道が77名(25.4%)、関東が57名(34.5%)、九州が166名(37.2%)であった。低学年および中学生で回答と地域間に5%水準で有意な関連があった。低学年では「死に

ついて家族と話したことがある」のは北海道が最も多く、「話したことがない」は関東が最も多く、「わからない」は九州が最も多かった。中学生では「話したことがある」と答えた生徒は九州が最も多く、「話したことがない」および「わからない」の回答は北海道が最も多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子は低学年が164名(39.0%)、高学年が181名(37.5%)、中学生が129名(27.3%)であった。女子は、低学年が163名(41.2%)、高学年が175名(42.6%)、中学生が170名(38.9%)であった。低学年で回答と性別間に5%水準、中学生で回答と性別間に1%水準で有意な関連がみられ、両学年とも女子は男子に比し「話したことがある」や「わからない」の回答が多く、男子は女子に比し「話したことがない」と答えた生徒が多かった。

2) 友達との会話 (表 19-1~3)

「死について、今までに友達と話したことがありますか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が214名(25.7%)、高学年が255名(28.5%)、中学生が339名(37.2%)であり、学年が上がるに従い増加していた。回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、低学年・高学年は「話したことがある」と答えた生徒の割合が3割以下なのに比し、中学生は4割弱となっていた。この傾向は「いいえ」の回答においても共通する。すなわち「話したことがない」と答えた生徒は低学年が448名(53.8%)、高学年が479名(53.5%)、中学生400名(43.9%)で、低学年と高学年は「いいえ」の回答が5割を超え、それに比し中学生は4割台であった。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が98名(30.6%)、関東が81名(22.2%)、九州が35名(23.8%)であった。高学年では、北海道が110名(30.9%)、関東が100名(25.8%)、九州が45名(29.4%)であった。中学生では北海道が93名(31.1%)、関東が54名(32.7%)、九州が192名(42.9%)であった。中学生で回答と地域間に1%水準で有意な関連があり、中学生において「友達と死について話したことがある」と答えた生徒は九州が最も多く、「話したことがない」と答えた生徒は北海道が最も多く、「わからない」と答えた生徒は関東が最も多くなっていた。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が111名(26.3%)、高学年が132名(27.2%)、中学生が148名(31.4%)であった。女子では、低学年が101名(25.3%)、高学年が123名(29.9%)、中学生が191名(43.9%)であった。低学年および中学生で回答と性別間に1%水準で有意な関連があった。低学年では、女子は男子に比し「わからない」と答えた生徒が多かった。中学生では女子は男子に比し「友達と話したことがある」と答えた生徒が多く、男子は「話したことがない」と答えた生徒が女子より多かった。

3) 死への関心 (表 20-1~3)

「死について知りたいですか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 238 名 (28.4%)、高学年が 216 名 (24.2%)、中学生が 318 名 (34.9%) であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、「知りたい」と答えた生徒は、高学年で一旦やや減少するが中学生で再び多くなり、最も多かったのが中学生であった。これと逆に「知りたくない」と答えた生徒は高学年が最も高く、中学生が最も少なかった。「わからない」と答えた生徒は低学年が最も少なく、学年が上がるに従い多くなっていた。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 94 名 (29.3%)、関東が 99 名 (27.0%)、九州が 45 名 (29.8%) であった。高学年では、北海道が 95 名 (26.9%)、関東が 91 名 (23.6%)、九州が 30 名 (19.6%) であった。中学生では北海道が 81 名 (27.0%)、関東が 57 名 (34.5%)、九州が 180 名 (40.3%) であった。高学年および中学生で回答と地域間に各 1%水準で有意な関連があった。高学年では、九州が北海道や関東に比し「わからない」と答えた生徒が多かった。中学生は高学年と傾向が違い、「わからない」と答えた生徒は、関東が九州や北海道に比べ多くなっていた。「知りたい」と答えた生徒は、九州が関東や北海道より多く、「知りたくない」と答えた生徒は、北海道が関東、九州より多かった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が 136 名 (31.9%)、高学年が 133 名 (27.6%)、中学生が 179 名 (37.8%) であった。女子では、低学年が 98 名 (24.4%)、高学年が 83 名 (20.3%)、中学生が 139 名 (32.0%) であった。低学年および高学年で回答と性別間に 1%水準で、中学生で回答と性別間に 5%水準で有意な関連があった。各学年とも、男子は「知りたい」と「知りたくない」の両方とも女子より多かったが、「知りたい」の方が男女差は大きかった。女子の方は男子に比し「わからない」と答えた生徒が多かった。

4) 死の話題の回避 (表 21-1~3)

「死についてなるべく話したくないですか」の質問に「はい」と答えた生徒は、低学年が 546 名 (64.9%)、高学年が 599 名 (66.9%)、中学生が 454 名 (49.6%) であった。回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、「はい」すなわち「話したくない」と答えた生徒は、低学年から高学年までは増加の傾向があり、高学年で最も多くなり、中学生になると減少していた。「話したい」および「わからない」と答えた生徒は逆の傾向を示し、低学年から高学年でやや減少し、中学生で増加していた。

地域別にみると「はい」と答えた生徒は、低学年では北海道が 214 名 (66.5%)、関東が 239 名 (64.6%)、九州が 93 名 (62.4%) であった。高学年では、北海道が 233 名 (65.4%)、関東が 269 名 (69.7%)、九州が 97 名 (63.0%) であった。中学生では北海道が 151 名 (50.2%)、関東が 86 名 (51.8%)、九州が 217 名 (48.4%) であった。各学

年で回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別でみると「はい」と答えた生徒は、男子では低学年が277名(64.7%)、高学年が327名(67.4%)、中学生が245名(51.8%)であった。女子では、低学年が264名(65.5%)、高学年が272名(66.2%)、中学生が207名(47.4%)であった。低学年で回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、男子は「話したい」と答えた生徒が女子より多く、女子は男子に比し「わからない」と答えた生徒が多かった。

6. 死後のイメージ(重複回答)

1) 死後のイメージとして多かった項目(表22-1~3-1~3)

「死んだらどうなりますか」の質問に○をつけた生徒が比較的多かった項目は、「天使」「魂」「お骨」であった。

学年別にみると「天使」に○をつけた生徒は、低学年542名(66.7%)、高学年356名(40.9%)、中学生299名(35.1%)で回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、学年が上がるにつれ○をつける生徒は減少している。

地域別にみると、低学年は北海道212名(68.6%)、関東248名(68.7%)、九州82名(57.3%)で回答と地域間に5%水準で有意な関連があり、北海道・関東は九州より○をつけた生徒が多かった。高学年は北海道130名(37.1%)、関東160名(42.8%)、九州66名(45.2%)で、中学生は北海道95名(34.3%)、関東9名(33.8%)、九州155名(36.0%)で回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると「天使」に○をつけた生徒は、低学年は男子255名(61.4%)女子281名(72.4%)、高学年は男子155名(32.9%)女子201名(50.4%)で各学年とも回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、女子の方が男子より多かった。中学生は男子が136名(30.8%)女子が163名(40.1%)で、回答と性別間に5%水準で有意な関連がみられ、女子の方が男子より多かった。

「魂」に○をつけた生徒は、低学年499名(61.3%)、高学年649名(74.3%)、中学生567名(65.7%)で、回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、高学年が最も多く、次いで中学生、低学年が最も少なかった。

地域別にみると、低学年は北海道189名(60.4%)、関東215名(59.4%)、九州95名(68.3%)、高学年は北海道247名(70.4%)、関東294名(77.6%)、九州108名(75.5%)、中学生は北海道190名(67.6%)、関東97名(65.1%)、九州280名(64.7%)で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると「魂」に○をつけた生徒は、低学年は男子255名(61.0%)女子239名(61.9%)、高学年は男子351名(74.4%)女子98名(74.3%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。中学生は男子282名(63.2%)女子284名(68.9%)で男女間

に5%水準で有意な関連があり、女子の方が男子より多かった。

「お骨」に○をつけた生徒は、低学年 330 名 (41.0%)、高学年 652 名 (74.2%)、中学生 630 名 (72.1%) で、回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、低学年に比べ、高学年および中学生は、顕著に多かった。

地域別にみると、低学年は北海道 136 名 (44.2%)、関東 123 名 (34.5%)、九州 71 名 (51.1%)、高学年は北海道 268 名 (76.1%)、関東 274 名 (72.3%)、九州 110 名 (74.3%)、中学生は北海道 203 名 (71.7%)、関東 105 名 (69.1%)、九州 322 名 (73.3%) であり、低学年では1%水準、高学年では5%水準で、回答と地域間に有意な関連があった。

性別別にみると「お骨」に○をつけた男子は低学年 168 名 (40.9%)、高学年 336 名 (70.3%)、中学生 308 名 (69.2%) であった。女子は低学年 159 名 (41.5%)、高学年 316 名 (78.8%)、中学生 319 名 (75.2%) であった。回答と性別間に高学年では1%水準で、中学生では5%水準で有意な関連があり、女子の方が男子に比して○をつけた生徒が多かった。

2) 死後のイメージとして少なかった項目 (表 23-1~3-1~3)

死後のイメージとして○が非常に少なかった項目は、「怪獣」「お姫様」「ひとさらい」であった。

学年別にみると「怪獣」に○をつけた生徒は、低学年 26 名 (3.2%)、高学年 26 名 (3.0%)、中学生 48 名 (5.6%) で、5%水準で回答と学年間に有意な関連があり、低学年・高学年より中学生が多かった。

地域別にみると、低学年は北海道が 8 名 (2.6%)、関東 12 名 (3.3%)、九州 6 名 (4.1%)、高学年は北海道 14 名 (4.0%)、関東 9 名 (2.4%)、九州 3 名 (2.0%)、中学生は北海道 17 名 (6.1%)、関東 8 名 (5.6%)、九州 23 名 (5.3%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると「怪獣」に○をつけた生徒は、低学年は男子 21 名 (5.0%)、女子 5 名 (1.3%) で、回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、男子は女子より○をつけた生徒が多かった。高学年は男子 24 名 (5.1%)、女子 2 名 (0.2%)、中学生は男子 38 名 (8.7%)、女子 5 名 (1.3%) で、各々1%水準で回答と性別間に有意な関連があり、男子は女子より○つけた生徒が多かった

「お姫様」に○をつけた生徒は、低学年 58 名 (7.1%)、高学年 34 名 (3.9%)、中学生 56 名 (6.6%) と、怪獣と同様にどの学年もきわめて少なかったが、特に、高学年に少なく、1%水準で回答と学年間に有意な関連があった。

地域別にみると、低学年は北海道 19 名 (6.1%)、関東 32 名 (8.9%)、九州 7 名 (4.8%)、高学年は北海道 13 名 (3.7%)、関東 11 名 (2.9%)、九州 10 名 (6.8%)、中学生は北海

道 17 名 (6.2%)、関東 9 名 (6.3%)、九州 30 名 (6.9%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると「お姫様」に○をつけた生徒は男子では、低学年 24 名 (5.8%)、高学年 17 名 (3.6%)、中学生 37 名 (8.4%) であった。女子は低学年 34 名 (8.8%)、高学年 17 名 (4.3%)、中学生が 19 名 (4.8%) で、中学生の回答と性別間に 5%水準で有意な関連があった。

「ひとさらい」に○をつけた生徒は、低学年 31 名 (3.8%)、高学年 31 名 (3.6%)、中学生 57 名 (6.7%) で、どの学年もきわめて少なかったが、高学年がもっとも多く、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があった。

地域別でみると、低学年は北海道 6 名 (1.9%)、関東 20 名 (5.6%)、九州 5 名 (3.5%)、高学年は北海道 19 名 (5.4%)、関東 7 名 (1.9%)、九州 5 名 (3.4%)、中学生は北海道 19 名 (6.9%)、関東 12 名 (8.2%)、九州 26 名 (6.0%) で、低学年と高学年の回答と地域間に各々 5%水準で有意な関連があった。

性別別にみると「ひとさらい」に○をつけた生徒は男子では、低学年は 22 名 (5.3%)、高学年は 27 名 (5.7%)、中学生は 48 名 (10.9%) であった。女子は低学年が 9 名 (2.3%)、高学年が 4 名 (1.0%)、中学生が 9 名 (2.2%) であった。高学年および中学生の回答と性別間に各々 1%水準で有意な関連があり、男子の方が女子に比して○をつけた生徒が多かった。

3) その他の項目 (表 24-1~4-1~3)

「おばけ」に○をつけた生徒は、低学年 274 名 (34.2%)、高学年 315 名 (36.0%)、中学生 303 名 (35.4%) で、回答と学年間に有意な関連はなかった。

地域別にみると、低学年は北海道 120 名 (38.6%)、関東 110 名 (30.7%)、九州 48 名 (33.1%)、高学年は北海道 116 名 (33.0%)、関東 143 名 (37.8%)、九州 56 名 (38.6%)、中学生は北海道 106 名 (38.4%)、関東 52 名 (35.4%)、九州 145 名 (33.4%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると、「おばけ」に○をつけた生徒は、男子は低学年 148 名 (35.4%)、高学年 185 名 (39.2%)、中学生 158 名 (35.8%) であった。女子は低学年 129 名 (33.4%)、高学年 130 名 (32.3%)、中学生 145 名 (35.3%) で、回答と性別間に有意な関連はなかった。

「お星様」に○をつけた生徒は、低学年 344 名 (42.0%)、高学年 343 名 (39.3%)、中学生 272 名 (31.9%) で、回答と各学年間に 1%水準で有意な関連があり、低学年ほど○をつけた生徒が多かった。

地域別にみると、低学年は北海道 120 名 (38.6%)、関東 110 名 (30.7%)、九州 48 名 (33.1%) で、高学年は北海道 116 名 (33.0%)、関東 143 名 (37.8%)、九州 56 名 (38.6%)、

中学生では北海道 106 名 (38.4%)、関東 52 名 (35.4%)、九州 145 名 (33.4%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると、「お星様」に○をつけた生徒は男子では、低学年 153 名 (37.0%)、高学年 150 名 (31.8%)、中学生 107 名 (24.4%) であった。女子は低学年 188 名 (47.6%)、高学年 193 名 (48.1%)、中学生 165 名 (40.3%) であった。各学年とも回答と性別間に 1%水準で有意な関連がみられ、女子の方が男子より○をつけた生徒が多かった。

「がい骨」に○をつけた生徒は、低学年 319 名 (39.1%)、高学年 400 名 (45.8%)、中学生 387 名 (45.2%) で、回答と低学年と高学年および中学生の間に 1%水準で有意な関連があった。

地域別にみると、低学年は北海道 116 名 (36.8%)、関東 131 名 (36.5%)、九州 72 名 (50.7%)、高学年は北海道 170 名 (48.4%)、関東 165 名 (43.7%)、九州 65 名 (45.1%)、中学生は北海道 128 名 (45.7%)、関東 72 名 (49.7%)、九州 187 名 43.3%で、低学年の回答と地域間に 1%水準で有意な関連があり、九州に○をつけた生徒が多かった。

性別別にみると、「がい骨」に○をつけた生徒は、男子は低学年 183 名 (43.3%)、高学年 241 名 (51.1%)、中学生 206 名 (46.9%) であった。女子は低学年 130 名 (34.0%)、高学年 159 名 (39.7%)、中学生 178 名 (43.1%) であった。低学年は 5%水準で、高学年は 1%水準で回答と性別間に有意な関連があり、男子の方が女子より○をつけた生徒が多かった。

「空」に○をつけた生徒は、低学年 203 名 (25.0%)、高学年 245 名 (28.1%)、中学生 232 名 (27.2%) で回答と学年間による有意な関連はなかった。

地域別でみると、低学年は北海道 73 名 (23.9%)、関東 93 名 (25.8%)、九州 203 名 (25.0%)、高学年は北海道 83 名 (23.6%)、関東 108 名 (28.7%)、九州 54 名 (37.5%)、中学生は北海道 75 名 (27.2%)、関東 24 名 (16.6%) で、高学年および中学生に 1%水準で回答と地域間に有意な関連があった。

性別別にみると「空」に○をつけた生徒は男子では低学年 93 名 (22.6%)、高学年 111 名 (23.6%)、中学生 95 名 (21.7%) であった。女子は低学年 106 名 (27.3%)、高学年 134 名 (33.5%)、中学生 137 名 (33.4%) であった。高学年および中学生に 1%水準で回答と性別間に有意な関連があり、女子の方が男子に比してより○をつけた生徒が多かった。

7. 死後の世界のイメージ (重複回答)

1) 死後の世界のイメージとして多かった項目 (表 25-1~3-1~3)

「死んだ後どこへ行きますか」の質問に○をつけた生徒が比較的多かった項目は、「神様のそば」「天国」「お墓」であった。

学年別にみると「神様のそば」に○をつけた生徒は、低学年が486名(60.4%)、高学年が419名(48.8%)、中学生が299名(35.3%)で、回答と学年間に1%水準で有意な関連があり、低い学年ほど○をつけた生徒が多かった。

地域別にみると、低学年は北海道177名(57.1%)、関東227名(63.2%)、九州82名(60.7%)、高学年は北海道152名(43.4%)、関東196名(52.7%)、九州71名(49.7%)、中学生は北海道83名(30.9%)、関東50名(34.5%)、九州166名(38.4%)で、高学年に5%水準で回答と地域間に有意な関連があり、関東が最も多く、次いで九州、北海道が最も少なかった。

性別別にみると「神様のそば」に○をつけた生徒は、低学年は男子が235名(57.5%)、女子が245名(63.6%)で回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、女子の方が男子より○をつけた生徒が多かった。高学年は男子が203名(43.1%)、女子が216名(54.8%)、中学生は男子が129名(29.3%)、女子が170名(42.2%)で、各々1%水準で回答と性別間に有意な関連があり、女子の方が男子より○をつけた生徒が多かった。

「天国」に○をつけた生徒は、低学年は726名(87.5%)、高学年は646名(74.4%)、中学生は534名(61.9%)と○をつけた生徒が多く、1%水準で回答と学年間に有意な関連があり、学年が進むにつれ減少した。

地域別にみると、低学年は北海道276名(86.8%)、関東318名(87.6%)、九州132名(88.6%)、高学年は234名(66.9%)、関東304名(81.1%)、九州108名(75.5%)、中学生は北海道166名(59.9%)、関東85名(56.3%)で、高学年に1%水準で回答と地域間に有意な関連があった。

性別別にみると「天国」に○をつけた生徒は男子では低学年は363名(86.0%)、高学年は330名(70.5%)、中学生は257名(57.0%)であった。女子は低学年が355名(89.4%)、高学年が316名(79.0%)、中学生が277名(68.1%)であった。高学年および中学生に1%水準で回答と性別間に有意な関連があり、女子の方が男子に比して○をつけた生徒が多かった。

「お墓」に○をつけた生徒は、低学年597名(72.6%)、高学年681名(77.7%)、中学生641名(73.8%)で、低学年と高学年において回答と学年間に5%水準で有意な関連があった。

地域別にみると、低学年は北海道234名(74.3%)、関東250名(68.7%)、九州113名(79.0%)、高学年は北海道279名(79.3%)、関東287名(75.7%)、九州115名(78.8%)、中学生は北海道205名(74.5%)、関東287名(75.7%)、九州327名(74.5%)で、5%の水準で低学年は回答と地域間に有意な関連があった。

性別別にみると「お墓」に○をつけた生徒は、男子は低学年297名(70.7%)、高学年359名(75.6%)、中学生316名(70.5%)であった。女子は低学年289名(73.9%)、高学年322名(80.1%)、中学生321名(77.2%)で、中学生に5%水準で回答と性別

間に有意な関連があった。

2) 死後の世界のイメージとして少なかった項目 (表 26-1-1~3)

「死んだ後どこへ行きますか」の質問に○をつけた生徒が比較的少なかった項目は、「宇宙」であった。

学年別にみると「宇宙」に○をつけた生徒は、低学年 55 名 (6.8%)、高学年 68 名 (7.8%)、中学生 114 名 (13.5%) で、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、低・高学年より中学生が○をつけた生徒が多かった。

地域別にみると、低学年は北海道が 17 名 (5.5%)、関東 24 名 (6.7%)、九州 14 名 (9.6%)、高学年は北海道 28 名 (8.0%)、関東 27 名 (7.3%)、九州が 13 名 (8.9%)、中学生は北海道 36 名 (13.4%)、関東 20 名 (13.7%)、九州が 58 名 (13.5%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると「宇宙」に○をつけた生徒は、低学年は男子 28 名 (6.8%) 女子 26 名 (6.6%) で、回答と性別間に有意な関連はなかった。高学年は男子 44 名 (9.4%) 女子 24 名 (6.0%) で、回答と性別間に 5%水準で有意な関連があり、女子より男子の方が○をつけた生徒が多かった。中学生は男子 4 名 (14.7%)、女子 50 名 (12.4%) で、回答と性別間に有意な関連は見られなかった。

3) その他の項目 (表 27-1~2-1~3)

「地獄」に○をつけた生徒は、低学年 330 名 (40.8%)、高学年 229 名 (34.7%)、中学生 266 名 (31.6%) で、1%の水準で回答と各学年間に有意な関連があり、低学年が最も多かった。

地域別では、低学年は北海道 17 名 (5.5%)、関東 24 名 (6.7%)、九州 14 名 (9.6%)、高学年は北海道 28 名 (8.0%)、関東 27 名 (7.3%)、九州 13 名 (8.9%)、中学生は北海道 36 名 (13.4%)、関東 20 名 (13.7%)、58 名 (13.5%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると「地獄」に○をつけた生徒は男子では低学年 184 名 (45.2%)、高学年 177 名 (38.0%)、中学生 139 名 (31.8%) であった。女子は低学年 142 名 (36.4%)、高学年 122 名 (30.9%)、中学生 126 名 (31.5%) であった。低学年の回答と性別間に 5%水準で有意な関連があり、男子の方が女子に比して○をつけた生徒が多かった。

「お寺」に○をつけた生徒は、低学年 198 名 (24.7%)、高学年 309 名 (35.7%)、中学生 306 名 (36.3%) で、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があり、低学年より高学年および中学生の方が多く○を回答していた。

地域別にみると、低学年は北海道 80 名 (25.7%)、関東 72 名 (20.5%)、九州 46 名

(32.9%)、高学年は北海道 130 名 (37.1%)、関東 126 名 (33.9%)、九州 53 名 (36.8%)、中学生は北海道 99 名 (37.2%)、関東 50 名 (34.0%)、九州 157 名 (36.4%) で、低学年に 5% 水準で回答と地域間に有意な関連があった。

性別別にみると、「お寺」に○をつけた生徒は男子では低学年 109 名 (26.7%)、高学年 160 名 (34.1%)、中学生 157 名 (36.9%) であった。女子は低学年 85 名 (22.1%)、高学年 149 名 (37.5%)、中学生 148 名 (36.7%) であった。回答と性別間に有意な関連はなかった。

8. 死のイメージ

死についてどのように感じるかを SD 法（意味が正反対な形容詞で構成）を用いて質問した。その結果は以下の通りである。小学生が抱いている死イメージとして高かったものは「嫌だ」「さみしい」「悲しい」「こわい」などであった。

1) 美しい—みにくい (表 28-1-1~3)

学年別にみると、低学年は「醜い」と答えた生徒は 217 名 (29.6%)、「どちらでもない」462 名 (62.9%)、「美しい」55 名 (7.5%) であった。高学年は「醜い」231 名 (27.4%)、「どちらでもない」572 名 (67.9%)、「美しい」39 名 (4.6%) であった。中学生は「醜い」119 名 (13.7%)、「どちらでもない」462 名 (62.9%)、「美しい」55 名 (7.5%) であった。回答と学年間に 1% 水準で有意な関連があり、低い学年ほど「醜い」と答えた生徒が多く、中学生は低・高学年より「どちらでもない」と答えた生徒が多かった。

地域別にみると、低学年は北海道で「醜い」と答えた生徒 83 名 (29.1%)、「どちらでもない」187 名 (65.6%)、「美しい」15 名 (5.3%)、関東で「醜い」98 名 (30.4%)、「どちらでもない」197 名 (61.2%)、「美しい」27 名 (8.4%)、九州で「醜い」36 名 (28.3%)、「どちらでもない」78 名 (61.4%)、「美しい」13 名 (10.2%) であった。高学年は北海道で「醜い」101 名 (29.4%)、「どちらでもない」225 名 (65.4%)、「美しい」18 名 (5.2%)、関東が「醜い」93 名 (26.1%)、「どちらでもない」252 名 (70.6%)、「美しい」12 名 (3.4%)、九州で「醜い」37 名 (26.2%)、「どちらでもない」95 名 (67.4%)、「美しい」9 名 (6.4%) であった。地域別に有意な関連はなかった。中学生は北海道で「醜い」56 名 (19.6%)、「どちらでもない」209 名 (73.1%)、「美しい」21 名 (7.3%)、関東で「醜い」25 名 (16.3%)、「どちらでもない」119 名 (77.8%)、「美しい」9 名 (5.9%)、九州で「醜い」38 名 (8.9%)、「どちらでもない」356 名 (83.4%)、「美しい」33 名 (7.7%) で、回答と地域間に 1% 水準で有意な関連があり、「醜い」と答えた生徒が最も多かったのは北海道、次いで関東、九州が最も少なかった。「どちらでもない」と答えた生徒が最も多かったのは九州で、次いで関東、北海道が最も少なかった。

性別別にみると、低学年男子は「醜い」が 112 名 (30.1%)、「どちらでもない」234

名 (62.9%)、「美しい」26名 (7.0%)、女子は「醜い」102名 (28.8%)、「どちらでもない」224名 (63.3%)、「美しい」28名 (7.9%) で回答と性別間に有意な関連はなかった。高学年男子は「醜い」145名 (31.9%)、「どちらでもない」286名 (62.9%)、「美しい」24名 (5.3%)、女子は「醜い」86名 (22.2%)、「どちらでもない」86名 (73.9%)、「美しい」15名 (3.9%) で、回答と性別間に5%水準で有意な関連があり、男子の方が女子より「醜い」と答えた生徒が多く、反対に「どちらでもない」と答えた生徒は男子より女子の方が多かった。中学生男子は「醜い」80名 (17.8%)、「どちらでもない」334名 (74.4%)、「美しい」35名 (7.8%)、女子は「醜い」39名 (9.5%)、「どちらでもない」346名 (84.0%)、「美しい」27名 (6.6%) で、回答と性別間に1%水準で有意な関連があり、男子の方が女子より「醜い」と答えた生徒が多く、反対に「どちらでもない」と答えた生徒は男子より女子の方が多かった。

2) 嫌だー嫌でない (表 28-2-1~3)

学年別にみると低学年で「嫌でない」と答えた生徒は64名 (8.4%)、「どちらでもない」142名 (18.6%)、「嫌だ」558名 (73.0%)、高学年で「嫌でない」72名 (8.3%)、「どちらでもない」156名 (18.1%)、「嫌だ」636名 (73.6%)、中学生で「嫌でない」113名 (12.8%)、「どちらでもない」212名 (23.9%)、「嫌だ」561名 (63.3%) で、1%水準で回答と学年間に有意な関連があった。「嫌でない」という回答は中学生で最も多かった。

地域別にみると、低学年は北海道で「嫌でない」と答えた生徒16名 (5.4%)、「どちらでもない」60名 (20.3%)、「嫌だ」220名 (74.3%)、関東で「嫌でない」34名 (10.0%)、「どちらでもない」61名 (17.9%)、「嫌だ」245名 (72.1%)、九州で「嫌でない」14名 (10.9%)、「どちらでもない」21名 (16.4%)、「嫌だ」93名 (72.7%) であった。高学年は北海道で「嫌でない」29名 (8.3%)、「どちらでもない」66名 (19.0%)、「嫌だ」253名 (72.7%)、関東で「嫌でない」35名 (9.4%)、「どちらでもない」62名 (16.7%)、「嫌だ」274名 (73.9%)、九州で「嫌でない」8名 (5.5%)、「どちらでもない」28名 (19.3%)、「嫌だ」109名 (75.2%) であった。中学生は北海道で「嫌でない」30名 (10.4%)、「どちらでもない」70名 (24.2%)、「嫌だ」189名 (65.4%)、関東が「嫌でない」22名 (13.8%)、「どちらでもない」39名 (24.5%)、「嫌だ」98名 (61.6%)、九州が「嫌でない」61名 (13.9%)、「どちらでもない」103名 (23.5%)、「嫌だ」274名 (62.6%) で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別にみると、低学年男子は「嫌でない」と答えた生徒が35名 (8.9%)、「どちらでもない」80名 (20.4%)、「嫌だ」277名 (70.7%)、女子は「嫌でない」と答えた生徒が28名 (7.7%)、「どちらでもない」140名 (18.5%)、「嫌だ」552名 (73.1%)、高学年男子は、「嫌でない」と答えた生徒が41名 (8.7%)、「どちらでもない」85名

(18.1%)、「嫌だ」343名(73.1%)、女子は「嫌でない」31名(7.8%)、「どちらでもない」71名(18.0%)、「嫌だ」293名(74.2%)、中学生男子は「嫌でない」が62名(13.6%)、「どちらでもない」110名(24.1%)、「嫌だ」284名(62.3%)、女子は「嫌でない」51名(12.0%)、「どちらでもない」101名(23.8%)、「嫌だ」273名(64.2%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。

3) こわい—こわくない (表 28-3-1~3)

学年別にみると低学年で「こわくない」と答えた生徒は99名(12.8%)、「どちらでもない」176名(22.7%)、「こわい」499名(64.5%)、高学年で「こわくない」122名(14.2%)、「どちらでもない」173名(20.1%)、「こわい」566名(65.7%)、中学生で「こわくない」104名(11.8%)、「どちらでもない」240名(27.1%)、「こわい」540名(61.1%)で、5%水準で回答と学年間に有意な関連があった。

地域別にみると、低学年は北海道で「こわくない」と答えた生徒31名(10.4%)、「どちらでもない」73名(24.4%)、「こわい」195名(65.2%)、関東で「こわくない」44名(12.9%)、「どちらでもない」76名(22.4%)、「こわい」220名(64.7%)、九州で「こわくない」24名(17.8%)、「どちらでもない」27名(20.0%)、「こわい」84名(62.2%)であった。高学年は北海道で「こわくない」48名(13.9%)、「どちらでもない」75名(21.7%)、「こわい」223名(64.5%)、関東で「こわくない」56名(15.1%)、「どちらでもない」72名(19.4%)、「こわい」244名(65.6%)、九州で「こわくない」18名(12.6%)、「どちらでもない」26名(18.2%)、「こわい」99名(69.2%)で有意な関連はなかった。中学生は北海道で「こわくない」28名(9.8%)、「どちらでもない」90名(31.4%)、「こわい」169名(58.9%)、関東で「こわくない」21名(13.3%)、「どちらでもない」53名(33.5%)、「こわい」84名(53.2%)、九州で「こわくない」55名(12.5%)、「どちらでもない」97名(22.1%)、「こわい」287名(65.4%)で、5%水準で回答と地域間に有意な関連があった。

性別別にみると、低学年男子で「こわくない」と答えた生徒が60名(15.2%)、「どちらでもない」101名(25.5%)、「こわい」235名(59.3%)、女子は「こわくない」38名(10.3%)、「どちらでもない」74名(20.0%)、「こわい」258名(69.7%)で、1%水準で回答と性別間に有意な関連があった。高学年男子は「こわくない」71名(15.3%)、「どちらでもない」99名(21.4%)、「こわい」293名(63.3%)、女子は「こわくない」51名(12.8%)、「どちらでもない」74名(18.6%)、「こわい」273名(68.6%)、中学生男子は「こわくない」52名(11.3%)、「どちらでもない」135名(29.4%)、「こわい」272名(59.3%)、女子は「こわくない」52名(12.4%)、「どちらでもない」103名(24.5%)、「こわい」265名(63.1%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。

4) 痛いー痛くない (表 28-4-1~3)

学年別では、低学年で「痛くない」と答えた生徒は 158 名 (21.4%)、「どちらでもない」307 名 (41.5%)、「痛い」274 名 (37.1%)、高学年で「痛くない」185 名 (21.9%)、「どちらでもない」413 名 (48.9%)、「痛い」246 名 (29.1%)、中学生で「痛くない」132 名 (15.3%)、「どちらでもない」489 名 (56.8%)、「痛い」240 名 (27.9%) で、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があった。「痛い」という回答は低学年が最も多く、「どちらでもない」という回答は中学生が最も多かった。

地域別では、低学年は北海道で「痛くない」と答えた生徒は 48 名 (16.6%)、「どちらでもない」120 名 (41.5%)、「痛い」122 名 (42.1%)、関東で「痛くない」84 名 (25.8%)、「どちらでもない」136 名 (41.7%)、「痛い」106 名 (32.5%)、九州で「痛くない」26 名 (21.1%)、「どちらでもない」51 名 (41.5%)、「痛い」46 名 (37.4%) で、5%水準で回答と地域間に有意な関連があった。高学年は北海道で「痛くない」85 名 (24.8%)、「どちらでもない」157 名 (45.8%)、「痛い」101 名 (29.4%)、関東で「痛くない」72 名 (19.8%)、「どちらでもない」182 名 (50.1%)、「痛い」109 名 (30.0%)、九州で「痛くない」28 名 (20.3%)、「どちらでもない」74 名 (53.6%)、「痛い」36 名 (26.1%)、中学生は、北海道で「痛くない」36 名 (12.8%)、「どちらでもない」153 名 (54.4%)、「痛い」92 名 (32.7%)、関東で「痛くない」22 名 (14.3%)、「どちらでもない」96 名 (62.3%)、「痛い」36 名 (23.4%)、九州で「痛くない」と答えた生徒は 74 名 (17.4%)、「どちらでもない」240 名 (56.3%)、「痛い」112 名 (26.3%) で、有意な関連はなかった。

性別別でみると、低学年男子で「痛くない」と答えた生徒は 88 名 (23.5%)、「どちらでもない」146 名 (38.9%)、「痛い」141 名 (37.6%)、女子で「痛くない」と答えた生徒は 66 名 (18.6%)、「どちらでもない」157 名 (44.2%)、「痛い」132 名 (37.2%) 高学年男子は「痛くない」110 名 (23.8%)、「どちらでもない」209 名 (45.2%)、「痛い」143 名 (31.0%)、女子は「痛くない」75 名 (19.6%)、「どちらでもない」204 名 (53.4%)、「痛い」103 名 (27.0%)、中学生男子は「痛くない」73 名 (16.3%)、「どちらでもない」248 名 (55.4%)、「痛い」127 名 (28.3%)、女子は「痛くない」と 59 名 (14.5%)、「どちらでもない」238 名 (58.3%)、「痛い」111 名 (27.2%) で、回答と性別間に有意な関連はなかった。

5) さみしいーさみしくない (表 28-5-1~3)

学年別では、低学年で「さみしくない」と答えた生徒は 57 名 (7.3%)、「どちらでもない」125 名 (16.1%)、「さみしい」594 名 (76.5%)、高学年で「さみしくない」79 名 (9.1%)、「どちらでもない」162 名 (18.6%)、「さみしい」629 名 (72.3%)、中学生で「さみしくない」75 名 (8.5%)、「どちらでもない」259 名 (29.4%)、「さみしい」548 名 (62.1%) で、回答と学年間に 1%水準で有意な関連があった。「さみしい」と

いう回答は低学年が最も多く、「どちらでもない」という回答は中学生が最も多かった。

地域別では、低学年は北海道で「さみしくない」と答えた生徒は15名(5.0%)、「どちらでもない」55名(18.5%)、「さみしい」228名(76.5%)、関東で「さみしくない」30名(8.8%)、「どちらでもない」59名(17.3%)、「さみしい」253名(74.0%)、九州で「さみしくない」12名(8.8%)、「どちらでもない」11名(8.1%)、「さみしい」113名(83.1%)で、5%水準で回答と地域間に有意な関連があった。高学年は北海道で「さみしくない」32名(9.1%)、「どちらでもない」81名(23.1%)、「さみしい」237名(67.7%)、関東で「さみしくない」42名(11.2%)、「どちらでもない」56名(15.0%)、「さみしい」276名(73.8%)、九州で「さみしくない」5名(3.4%)、「どちらでもない」25名(17.1%)、「さみしい」116名(79.5%)で、1%水準で回答と地域間に有意な関連があった。中学生は、北海道で「さみしくない」25名(8.8%)、「どちらでもない」102名(35.8%)、「さみしい」158名(55.4%)、関東で「さみしくない」13名(8.2%)、「どちらでもない」48名(30.2%)、「さみしい」98名(61.6%)、九州で「さみしくない」37名(8.4%)、「どちらでもない」109名(24.9%)、「さみしい」292名(66.7%)で、5%水準で回答と地域間に有意な関連があった。

性別別でみると、低学年男子で「さみしくない」と答えた生徒は35名(8.9%)、「どちらでもない」72名(18.3%)、「さみしい」286名(72.8%)、女子は「さみしくない」22名(5.9%)、「どちらでもない」52名(13.9%)、「さみしい」299名(80.2%)高学年男子は「さみしくない」44名(9.4%)、「どちらでもない」92名(19.6%)、「さみしい」334名(71.1%)、女子は「さみしくない」35名(8.8%)、「どちらでもない」70名(17.5%)、「さみしい」295名(73.8%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。中学生男子は「さみしくない」40名(8.8%)、「どちらでもない」150名(33.0%)、「さみしい」264名(58.1%)、女子は「さみしくない」35名(8.3%)、「どちらでもない」107名(25.3%)、「さみしい」281名(66.4%)で、5%水準で回答と性別間に有意な関連があった。

6) 良い-悪い(表 28-6-1~3)

学年別では、低学年で「悪い」と答えた生徒は331名(44.3%)、「どちらでもない」333名(44.6%)、「良い」83名(11.1%)、高学年で「悪い」445名(52.4%)、「どちらでもない」357名(42.0%)、「良い」47名(5.5%)、中学生で「悪い」324名(37.7%)、「どちらでもない」484名(56.3%)、「良い」51名(5.9%)で、回答と学年間に1%水準で有意な関連があった。

地域別では、低学年は北海道で「悪い」と答えた生徒は120名(41.5%)、「どちらでもない」143名(49.5%)、「良い」26名(9.0%)、関東で「悪い」154名(46.7%)、「どちらでもない」136名(41.2%)、「良い」40名(12.1%)、九州で「悪い」57名(44.5%)、

「どちらでもない」54名(42.2%)、「良い」17名(13.3%)、高学年は北海道で「悪い」186名(53.6%)、「どちらでもない」143名(41.2%)、「良い」18名(5.2%)、関東で「悪い」196名(54.4%)、「どちらでもない」147名(40.8%)、「良い」17名(4.7%)、九州で「悪い」63名(44.4%)、「どちらでもない」67名(47.2%)、「良い」12名(8.5%)、中学生は、北海道で「悪い」107名(38.4%)、「どちらでもない」157名(56.3%)、「良い」15名(5.4%)、関東で「悪い」50名(32.5%)、「どちらでもない」94名(61.0%)、「良い」10名(6.5%)、九州で「悪い」167名(39.2%)、「どちらでもない」233名(54.7%)、「良い」26名(6.1%)で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別でみると、低学年男子で「悪い」と答えた生徒は178名(47.0%)、「どちらでもない」156名(48.1%)、「良い」45名(11.9%)、女子は「悪い」150名(41.7%)、「どちらでもない」173名(48.1%)、「良い」37名(10.3%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。高学年男子は「悪い」256名(55.9%)、「どちらでもない」170名(37.1%)、「良い」32名(7.0%)、女子は「悪い」189名(48.3%)、「どちらでもない」187名(47.8%)、「良い」15名(3.8%)で、1%水準で回答と性別間に有意な関連があった。中学生男子は「悪い」175名(39.1%)、「どちらでもない」241名(53.9%)、「良い」31名(6.9%)、女子は「悪い」147名(36.1%)、「どちらでもない」241名(59.2%)、「良い」19名(4.7%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。

7) 悲しいー悲しくない(表28-7-1~3)

学年別では、低学年で「悲しくない」と答えた生徒は47名(6.0%)、「どちらでもない」100名(12.7%)、「悲しい」641名(81.3%)、高学年で「悲しくない」47名(5.4%)、「どちらでもない」110名(12.6%)、「悲しい」716名(82.0%)、中学生で「悲しくない」42名(4.7%)、「どちらでもない」192名(21.6%)、「悲しい」655名(73.7%)で、回答と学年間に1%水準で有意な関連があった。「悲しい」という回答は低学年が最も多く、「どちらでもない」という回答は中学生が最も多かった。

地域別では、低学年は北海道で「悲しくない」と答えた生徒は14名(4.6%)、「どちらでもない」34名(11.1%)、「悲しい」257名(84.3%)、関東で「悲しくない」25名(7.2%)、「どちらでもない」53名(15.3%)、「悲しい」268名(77.5%)、九州で「悲しくない」8名(5.8%)、「どちらでもない」13名(9.5%)、「悲しい」116名(84.7%)、高学年は北海道で「悲しくない」20名(5.7%)、「どちらでもない」55名(15.7%)、「悲しい」275名(78.6%)、関東で「悲しくない」20名(5.3%)、「どちらでもない」45名(12.0%)、「悲しい」309名(82.6%)、九州で「悲しくない」7名(4.7%)、「どちらでもない」10名(6.7%)、「悲しい」132名(88.6%)、中学生は、北海道で「悲しくない」16名(5.5%)、「どちらでもない」74名(25.6%)、「悲しい」199名(68.9%)、関東で「悲しくない」6名(3.8%)、「どちらでもない」39名(24.7%)、「悲しい」113名(71.5%)、

九州で「悲しくない」と答えた生徒は20名(4.5%)、「どちらでもない」79名(17.9%)、「悲しい」343名(77.6%)で、有意な関連はなかった。

性別別でみると、低学年男子で「悲しくない」と答えた生徒は30名(7.5%)、「どちらでもない」62名(15.6%)、「悲しい」306名(76.9%)、女子で「悲しくない」16名(4.2%)、「どちらでもない」37名(9.7%)、「悲しい」327名(86.1%)で、1%の水準で回答と性別間に有意な関連があった。高学年男子は「悲しくない」33名(7.0%)、「どちらでもない」63名(13.3%)、「悲しい」376名(79.7%)、女子は「悲しくない」14名(3.5%)、「どちらでもない」47名(11.7%)、「悲しい」340名(84.8%)で、5%の水準で回答と性別間に有意な関連があった。中学生男子は「悲しくない」25名(5.4%)、「どちらでもない」115名(25.0%)、「悲しい」320名(69.6%)、女子は「悲しくない」と17名(4.0%)、「どちらでもない」74名(17.5%)、「悲しい」653名(73.9%)で、1%の水準で回答と性別間に有意な関連があった。

8) 遠いー近い (表 28-8-1~3)

学年別にみると、低学年で「近い」と答えた生徒は88名(11.8%)、「どちらでもない」319名(42.9%)、「遠い」337名(45.3%)、高学年で「近い」88名(10.3%)、「どちらでもない」380名(44.5%)、「遠い」(45.1%)、中学生で「近い」293名(11.9%)、「どちらでもない」397名(45.8%)、「遠い」(40.6%)で、回答と学年間に有意な関連はなかった。

地域別では、低学年は北海道で、「近い」26名(9.0%)、「どちらでもない」121名(42.0%)、「遠い」141名(49.0%)、関東で「近い」42名(12.9%)、「どちらでもない」146名(44.8%)、「遠い」138名(42.3%)、九州で「近い」20名(15.4%)、「どちらでもない」52名(40.0%)、「遠い」58名(44.6%)。高学年は北海道で、「近い」42名(12.1%)、「どちらでもない」134名(38.7%)、「遠い」170名(49.1%)、関東で「近い」34名(9.2%)、「どちらでもない」177名(48.1%)、「遠い」157名(42.7%)、九州で「近い」12名(8.6%)、「どちらでもない」69名(49.6%)、「遠い」58名(41.7%)、中学生は北海道で、「近い」39名(13.8%)、「どちらでもない」131名(46.5%)、「遠い」112名(39.7%)、関東で「近い」16名(10.3%)、「どちらでもない」79名(51.0%)、「遠い」60名(38.7%)、九州で「近い」62名(14.5%)、「どちらでもない」187名(43.6%)、「遠い」180名(42.0%)で、回答と地域間に有意な関連はなかった。

性別別でみると、低学年男子は「近い」が46名(12.0%)、「どちらでもない」166名(43.5%)、「遠い」170名(44.5%)、女子は「近い」42名(11.9%)、「どちらでもない」149名(42.1%)、「遠い」163名(46.0%)、高学年男子は「近い」が54名(11.6%)、「どちらでもない」200名(43.1%)、「遠い」210名(45.3%)、女子は「近い」34名(8.7%)、「どちらでもない」180名(46.3%)、「遠い」175名(45.0%)、中学生男子は「近い」

が 65 名 (14.5%)、「どちらでもない」 210 名 (46.8%)、「遠い」 174 名 (38.8%)、女子は「近い」 52 名 (12.6%)、「どちらでもない」 184 名 (44.7%)、「遠い」 176 名 (42.7%)で、回答と性別間に有意な関連はなかった。

V. 考 察

1. 学童期にある小児のアニミズム

アニミズムは、子どもの因果的思考の中で最も多くみられるもので、あらゆるものが生命・意識・意図・感情を持っているという前提にたつて、物事を認識し説明する。最も原始的なアニミズムは、どんなものにも生命を認めてしまう思考の段階である。次の段階は、動くものだけが生きていると認識する段階である。最後は動植物だけが生きていると考える段階である。つまり生物・無生物の識別である。子どものアニミズム的思考は、生命概念の発達と密接に関連し合うものである。

静止している「人形」を生きていると答えた生徒は、低学年が約3割と最も多く、その後減少するが中学生で再び増加し、2割が生きていると答えている。地域別にみると低学年のみ地域差があり、北海道の3割以上が生きていると答え、他の地域より多い。性別でみると、各学年とも男子より女子の方が多く、中学生女子でも約3割が生きていると答えている。依田・藤原³⁾は、静止しているもの（人形）に対するアニミズムは、幼稚園では30%前後残るが、小学校に入るとその崩壊は速いと述べている（1956年）。著者が行った1回目の調査では、幼稚園ですでに低率であったが、速やかに崩壊するという小学校の高学年になって再び上昇する傾向がみられた（1979年）。2回目の調査では、小学生（6～10歳）の2割弱が生きていると答え、わからないと答えた生徒を入れると約4割に及んだ。しかし小学生（11・12歳）は1割前後であり、高学年になって再び上昇するといった傾向はみられなかった（1990年）。今回の調査では、小学校低学年で約3割が生きていると答え、わからないを入れると前回の調査結果と同様に4割に及ぶ。さらにこの傾向は高学年・中学生にも続き、中学生の女子で生きているが3割弱、わからないを入れると5割を超える。依田・藤原らが行った約50年前のアニミズム調査と比較すると、現代社会では中学生の中に、小学校に入ると速やかに崩壊するといわれた静止しているものに対するアニミズム的思考がみられている。

次に動く「飛行機」は、低学年の2割が生きていると答え、他の学年より多く、その後減少するが中学生で再び増加傾向がみられる。地域別にみると各学年とも地域差があり、低学年は北海道が他の地域より多く、約3割が生きていると答えている。高学年以降は、北海道・関東の8割以上の生徒が飛行機は生きていないと答え、九州はわからないと答えた生徒が他の地域より多い。性別でみると各学年とも男女差があり、女子が男子よりわからないと回答する生徒が多く約2割である。

「テレビ」は低学年の約2割が生きていると答え、他の学年より多い。その後減少するが飛行機と同様に中学生で再び増加傾向がみられる。地域別にみると高学年・中学生で地域差があり、生きていると答えた生徒が多いのは九州、次いで関東、最も少

ないのが北海道である。九州は、飛行機と同様に他の地域よりわからないと答える生徒が多い。性別でみると各学年とも男女差があり、男子が女子よりテレビは生きていないと回答する生徒が多く、女子は男子よりわからないと答える生徒が多い。

動く機械に対するアニミズムは、幼児では極めて強いが、年齢とともに速やかに崩壊すると述べられている（1956年）。著者が行った1回目の調査（1979年）では、幼稚園児は高率であったが、小学校になり崩壊がみられ低下を示した。しかし、特に関東地域の6学年女子の約4割が生きていますと答え、上昇がみられた。2回目の調査では、小学生（6～10歳）の3割が生きていますと答え、わからないと答えた生徒を入れると、約4割に及んでいる。動く機械に対するアニミズムは前述したように年齢とともに速やかに崩壊すると言われるが、小学生（11・12歳）でも3割弱にアニミズム的思考がみられていた。しかし高学年になって再び上昇するといった傾向はみられなかった（1990年）。今回の調査では、動く「飛行機」や「テレビ」を生きていますと答えた生徒が低学年で2割、その後減少するが中学生で再び増加する傾向がみられる。地域別でみると、低学年は北海道が他の地域より多く、約3割が生きていますと答えている。高学年から中学生にもこの傾向は続き、中学生でもわからないと答えた生徒を入れると約3割に及ぶ。依田・藤原らが行った約50年前のアニミズム調査と比較すると、現代社会では中学生の中に、年齢とともに速やかに崩壊すると言われる動く機械に対するアニミズム的思考がみられている。今回の調査では、人気キャラクターである「ポケモン」をとり上げてみた。その結果は、低学年では5割以上が生きていますと答え他の学年より多い。その後減少するが中学生で再び増加傾向を示し約3割が生きていますと答え、地域差はないが性別でみると男子が女子より生きていますと答えた生徒が多い。

50年前には、静止しているものに対するアニミズムも動く機械に対するアニミズムも、小学校に入ると速やかに崩壊するといわれた。その後の調査では、小学校高学年で再びアニミズム的思考の上昇が確認された。今回の調査では、中学生で再びアニミズム的思考がみられ、崩壊年齢幅が広がり示していた。このような現象には、子どもを取り巻く社会環境のどのような要因が影響しているのだろうか。

天象気象（かみなり）に対するアニミズムは、依田・藤原³⁾らによると、幼児では他のいずれのグループ事象より強く8割前後あり、しかも年齢が進んでもアニミズムは崩壊しにくく、小学校になって半減すると述べている。著者の1回目の調査（1979年）では、小学校に入り低下を示したが高学年で再び高い上昇傾向がみられた。2回目の調査（1989年）では、小学校低学年で5割が生きていますと答え、高学年でも約2割、わからないを入れると3割に及んでいる。今回の調査では、低学年は約5割が生きていますと答え他の学年より多い。かみなりに対するアニミズムは、幼児期は強く年齢が進んでも崩壊しにくいという50年前の調査結果と同様の結果を示した。中学生

は地域により異なり、生きているという回答は九州が最も多く、北海道が最も少ない。東京はわからないと答える生徒が最も多い。九州は、関東や北海道よりも天象気象として、かみなりを経験する機会が多い。このことが地域差の背景にあると考える。

生物に対するアニミズムは、依田・藤原³⁾らの調査では、幼稚園児でも生きていると正しく答え、小学生になるとほとんどの生徒が正しく答えると述べている。著者の1・2回目の調査でも、小学校1年生の8割～9割が「庭の木」を生きていると答え、今回の調査結果も低学年から9割以上が生きていると答え、同様の結果であった。地域差はない。動物である「犬」及び「人間」に対する今回の調査結果は、低学年から9割以上が生きていると答え、過去と同様であり、地域差・男女差ともにない。

以上、現代社会の学童期におけるアニミズム的思考の特徴は、気象天象や生物・動物に関しては、小学生になるとほとんどの生徒が正しく答え、過去の調査結果と同様であることが確認できた。しかし、すみやかに崩壊するといわれる静止するものや動く機械、さらに人気キャラクターにおいて、中学生でもアニミズム的思考がみられることが確認された。アニミズム的思考は、生命概念の発達と密接に関連するものである。つまり生物・無生物の識別、死の概念発達と密接に関連するものである。波多野⁴⁾は、小学校低学年のアニミズムと小学校高学年から始まり中学校頃まで続くアニミズムとは質的に異なり、科学や芸術が開花した高次のアニミズムであると述べている。人形・テレビ・ポケモンにみられるアニミズム的思考が、この高次のアニミズムに該当するものなのか、あるいは生活環境・体験の変化、偏り等から生じている現象なのか、さらに質的に検討を重ね、その本質を見極めていく必要がある。

2. 年代的变化からみた小児の死の概念発達

小児の死の概念発達には、生物・無生物の識別、死の不動性・死の不可逆性・死の普遍性の理解、時間の概念の発達等が関連すると言われる。ここでは、上記アニミズムで検討した生物・無生物の識別を除いた、1. 死の不動性の理解、2. 死の不可逆性の理解、3. 死の不可避性・普遍性の理解、4. 時間の概念の発達の調査結果から、小児の死の概念発達を検討していく。

1) 死の不動性の理解

①死んだ人は動くことができますか、②死んだ人は手を切ると痛いですかの質問にはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。③死んだ人はお腹がすきますかにはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。また地域別でも、低学年において、回答と地域間に有意な関連があり、いいえと答えた生徒は関東が最も多く7割、次いで北海道が6割、九州は5割であった。④死んだ人はお坊さんのお経や神父様のお祈りを聞くことができます

かにはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。⑤死んだ人は目を開けていればいろいろなものを見ることができますかにはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。

死の不動性に関する質問は、子どもが命や意識が死者にもあるという認識を持つことから、死が肉体的生命の停止であるという認識の変化を把握する目的で設けた。ナギー⁴⁾らは、「子どもは9歳以上になると、死が肉体的生命の停止であるという認識を持つようになる」と述べている。1回目の調査では、生きている人間と同様に「動く」「痛い」「お腹が空く」「聞く」といった活動が、死者にもあるとみる思考は、小学校1年生で2割以下であった。つまり、死者にも命や意識があるという認識から、死が肉体的生命の停止であるという認識への移行は、ナギーらの9歳より早い小学校1年生ころであった。2回目の調査では、質問②③は小学校低学年の2割がわからないと答え、さらに④の聴覚は低学年の約6割が聞こえると答え、死者に命や意識があるという認識を持つ生徒は、聴覚以外は1回目の調査と同様であった。今回の調査結果も、質問①②は小学校低学年の1割から2割が動ける・痛いと答え、さらに④の聴覚は4割の生徒が聞こえると答え、2回目の調査結果と同様であった。

2) 死の不可逆性の理解

①死ぬことは眠ることと同じで、目が覚めればまた生き返ることができますかの質問にはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。②死ぬことは一人ぼっちになってしまうことですかにはいと答えた生徒は、低学年が3割と最も多かった。回答と学年間に有意な関連があり低学年が最も多く、わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。③死んだ人は、病院で医師に診てもうと生き返ることができますかにはいと答えた生徒は中学生が最も少なく、回答と学年間に有意な関連があったが、わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。④死んだ人を生き返らせることはできますかにはいと答えた生徒は、低学年・高学年が1割弱、中学生が1割強であった。生き返らせることはできないと答えた生徒は中学生が最も少なく、回答と学年間に有意な関連があった。わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。各学年とも男子は女子に比して生き返らせることができると回答した生徒が多く、女子は男子に比してわからないと回答した生徒が多かった。⑤死んだ人は決して生き返らないですかにはいと答えた生徒は、低学年が約6割、高学年が5割、中学生が5割弱であった。わからないと答えた生徒は中学生が約3割で最も多かった。回答と学年間に有意な関連があり、「生き返らない」と答えた生徒は中学生が最も少ないが、わからないと答えた生徒は中学生が最も多かった。2回目の調査では低学年の2割が、死ぬことは眠る

ことと同じで目が覚めればまた生き返ることができる」と答え、低学年の1割が、病院で診てもらおうと生き返らせることができるかどうかわからないと答えている。さらに低学年の1割弱が死んだ人を生き返らせる方法があると答え、3割がわからないと答えている。

死の不可逆性に関して1回目の調査では、就学前の幼稚園児の約9割が死んだら戻ってこないと答えており、かなりはやいうちから死の不可逆性を理解していた。小学校1学年では8割～10割が死んだら生き返らないと答え、年齢とともに増加していた。カバナフ⁹⁾は、「就学前の子どもは死というものはしばしの別れと大差ないくらいに思っているようだ」と述べている。今回の調査では、初めて中学生を調査対象に加えた。過去の調査との比較はできないが、どの質問項目においても小学生よりわからないと答えた生徒が多かった。つまり死の不可逆性の理解は、従来の研究結果と同様に年齢と比例して上昇していることが確認された。と同時に、小学生より中学生がわからないと答える生徒が多いことも確認された。中学生はピアジェ¹⁰⁾の認知的発達理論では、自分の思考や、自分自身を思考の対象とでき、具体的体験や現実そのものだけでなく、体験の有無にかかわらず論理的に思考し推理することが可能な形式操作段階にある。つまり死は命あるものにとって不可逆であり普遍的現象であることを理解し、大人の死の概念に到達していると言われる年代である。わからないという答えが他の学年より中学生が多い背景に、医療の高度化や臓器移植といった科学技術の進歩に伴う生と死のボーダレス化現象、あるいはホラー映画に代表されるバーチャルな映像の洪水といった生活環境の変化、偏りといった要因が影響しているのか、さらに質的な検討を重ね、この現象の実態・背景を検討していく必要がある。

3) 死の不可避性・普遍性の理解

①人間には死ぬ人と死なない人がいますかの質問にはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。わからないと答えた生徒も低学年が最も多かった。この世の中に死なない人はいないと答えた生徒は、中学生より高学年が最も多かった。②あなたの父母は、病気や事故に遭わなければずっといきられますかにはいと答えた生徒は低学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。生きられないと答えた生徒は中学生が最も多かった。③あなたは病気や事故に遭わなければずっといきられますかにはいと答えた生徒は、回答と学年間に有意な関連があり低学年が最も多く、年齢とともに生きられないと答える生徒が増え、中学生が最も多かった。

1回目と2回目の調査を比較すると、2回目の調査では3割の生徒が、人間には死ぬ人と死なない人がいる、父母は病気や事故に遭わなければずっと生きられると答え、2割以上が自分は病気や事故に遭わなければずっと生きられると答え、1回目の調査

より死の普遍性を理解する年齢は、高い傾向を示した。しかし今回の調査では、死の普遍性の理解は年齢と比例しており、病気や事故に遭わなければずっといきられるかの結果を除いては、カバナフの文献で示されたデータより早い年代、つまり1回目の結果と同様であった。病気や事故に遭わなければずっといきられると答えた生徒が、2回目より今回の調査で多かったのは、子どもが見聞きする死に関する情報が、生命現象の結果としての老衰死より、病気や事故死に関するものが多いという社会背景が影響しているのではないかと考える。

4) 時間の概念の発達

①あなたのお父さんお母さんは、赤ちゃんだったことがありますかの質問にはいと答えた生徒は、回答と学年間に有意な関連があり高学年が最も多かった。いいえわからないと答えた生徒は、低学年が最も多かった。②あなたのお父さんお母さんは、いつの日かおじいちゃんおばあちゃんになりますかは、回答と学年間に有意な関連はなかった。③あなた自身は、いつの日かおじいちゃんおばあちゃんになりますかにはいと答えた生徒は高学年が最も多く、回答と学年間に有意な関連があった。いいえあるいはわからないと答えた生徒は、低学年が最も多かった。④あなたは、小学校に入學した日にもどることができますかは、回答と学年間に有意な関連はなかった。1回目の調査で、人が過去・現在・未来という時間空間に生きているという理解の発達を問う①②の質問は、小学校1年生で10割の正解であった。2回目の調査結果も同様であった。

3. 死に関する会話

1) 家族との会話

死について家族と話をしたことがある生徒は、低学年が4割、高学年が4割弱、中学生が3割で回答と学年間に有意な関連があり、低・高学年より中学生が少なかった。家族と話したことが無いと答えた生徒は、学年が上がるほど増加している。さらに地域別にみると、低学年では回答と地域間に有意な関連があり、話したことがあると答えた生徒は北海道が最も多く、次いで九州、関東が最も少なかった。高学年では有意な関連はみられなかったが、中学生は回答と地域間に有意な関連があり、話したことがあると答えた生徒は九州が最も多く、次いで関東、北海道が最も少なかった。性別別にみると、女子の方が男子より家族と死について話をしている。

現代社会において、死生観を育む文化が希薄になっているのではとの懸念を抱いていた。しかし今回の調査を通して、ペットとの死別や、身近な人との死別体験、さらにお通夜・お葬式への出席・墓参体験は、20年前・10年前と同様の結果で減少していないことが確認された。しかしその体験を家族で話し合っている子どもは少ない。

2) 友達との会話

死について友達との話したことがある生徒は、低・高学年が3割弱、中学生が3割で回答と学年間に有意な関連があり、学年が高くなるほど増加していた。友達と話したことが無い生徒は、低・高学年より中学生が少ない。さらに地域別にみると、低・高学年では回答と地域間に有意な関連はみられなかった。中学生は回答と地域間に有意な関連があり、話したことがあると答えた生徒は、北海道・関東より九州が多かった。性別別にみると、友達と話したことがあると答えた生徒は、低学年での回答と性別間に有意な関連があった。女子は男子よりわからないと答えた生徒が多く、男子は女子より友達と話したことがないと答えた生徒が多かった。高学年では回答と性別間に有意な関連はみられなかった。中学生は回答と性別間に有意な関連がみられ、女子の方が男子より友達と話したことがあると答えた生徒が多かった。

友達との死に関する会話は、家族との会話と反対に低・高学年より中学生の方が多く、友達と話したことがない生徒は、低・高学年より中学生が少ないことが確認できた。

3) 死への関心

死について知りたい生徒は、低学年が3割弱、高学年が約2割、中学生が3割で、回答と学年間に有意な関連があり、知りたいと答えた生徒が最も多かったのは中学生、最も少なかったのは高学年であった。一方、わからないと答えた生徒は、学年が上がるほど増加している。地域別にみると、高学年は回答と地域間に有意な関連があり、死について知りたい生徒は北海道が最も多く、次いで関東、九州が最も少なかった。中学生も回答と地域間に有意な関連があり、死について知りたい生徒は、高学年とは反対に九州が最も多く、次いで関東、北海道が最も少なかった。性別別にみると、各学年とも回答と性別間に有意な関連がみられ、男子の方が女子より死について知りたい生徒が多かった。一方、女子は男子より各学年ともわからないと答えた生徒が多かった。

死への関心は、関心がある生徒が最も多い中学生でも3割と低く、死の概念が大人 concepts に近づくと言われる高学年は最も低いこと、さらに学年が上がると、死について知りたいかどうかわからない生徒が増加することが確認できた。子どもを取り巻く現代社会は、命の大切さや生死観を育む環境として十分に機能していない反映と考える。

4) 死の話題の回避

死について話したくない生徒は、低学年が約6割、高学年が7割弱、中学生が5割で、回答と学年間に有意な関連があり、なるべく話したくないが最も多かったのは高

学年、最も少なかったのは中学生であった。地域別にみると、回答と地域間に有意な関連はみられなかった。性別別にみると、死についてなるべく話したくない生徒は、低学年での回答と性別間に有意な関連があった。男子は女子より話したくないと答えた生徒が多く、女子は男子よりわからないと答えた生徒が多かった。高学年・中学生においては回答と性別間に有意な関連はみられなかった。

死の話題の回避は、死の関心と同様に大人の概念に近づくと言われる小学校高学年が最も高いことが確認できた。話したくないと思っている生徒が最も少ないのは中学生である。

4. 小児の死に関する認識

1) 死後のイメージ

(1) 死後のイメージとして多かった項目

「死んだらどうなりますか」の質問に○をつけた生徒が比較的多かった項目は、「天使」「魂」「お骨」であった。

学年別にみると「天使」に○をつけた生徒は、低学年が約6割、高学年が約4割、中学生が4割弱で学年間に有意な関連があり、学年が上がるにつれ○をつける生徒は減少している。地域別にみると、低学年は北海道・関東が7割弱、九州が6割弱で回答と地域間に有意な関連があり、北海道・関東は九州より○をつけた生徒が多い。高学年・中学生は回答と地域間に有意な関連はみられない。性別でみると、低学年は男子が6割、高学年は約3割で各学年とも回答と性別間に有意な関連があり、女子の方が男子より○をつけた生徒が多い。中学生は男子が3割、女子が4割で回答と性別間に有意な関連がみられ、女子の方が同じく男子より多かった。

「魂」に○をつけた生徒は、低学年が6割、高学年が7割、中学生が約6割で回答と学年間に有意な関連があり、高学年が最も多く、次いで中学生、低学年が最も少ない。地域別にみると、回答と地域間に有意な関連はみられない。性別でみると、低学年は男女とも6割、高学年は男女とも約7割で、回答と性別間に有意な関連はみられない。中学生は男子が6割、女子が7割弱で回答と性別間に有意な関連がみられ、女子の方が男子より○をつけた生徒が多い。

「お骨」に○をつけた生徒は、低学年は約4割、高学年及び中学生は約7割で回答と学年間に有意な関連があり、低学年より高学年および中学生が○をつけた生徒が多い。地域別にみると、低学年は北海道が約4割、関東が約3割、九州が約5割、高学年は北海道が8割弱、関東・九州が約7割、中学生は北海道・関東・九州とも約7割で、回答と地域間に有意な関連がみられ、低学年は九州の生徒が、高学年は北海道の生徒が○を多くつけている。性別でみると、男子は低学年が約4割、高学年及び中学生が約7割、女子は低学年が約4割、高学年及び中学生が8割弱で、高

学年及び中学生の回答と性別間に有意な関連がみられ、女子の方が男子に比して○をつけた生徒が多い。

「天使」と回答した生徒が多かったという結果は、著者が行った1回目と2回目の調査結果と同様であった。

(2) 死後のイメージとして少なかった項目

死後のイメージとして○が非常に少なかった項目は、「怪獣」「お姫様」「ひとさらい」であった。

学年別にみると「怪獣」に○をつけた生徒は、回答と学年間に有意な関連があり、低学年・高学年より中学生が多い。回答と地域間に有意な関連はみられない。性別でみると、各学年とも回答と性別間に有意な関連がみられ、男子は女子より○つけた生徒が多い。「お姫様」に○をつけた生徒は、怪獣と同様にどの学年もきわめて少なく、特に高学年で少なかった。回答と地域間に有意な関連はみられない。性別でみると、回答と中学生の性別間に有意な関連がみられ、女子は男子より○をつけた生徒が多い。「ひとさらい」に○をつけた生徒は、どの学年もきわめて少ないがその中では高学年が多く、回答と学年間に有意な関連がみられた。地域別では低学年は北海道が、高学年は関東が極めて少なく、回答と地域間に有意な関連がみられる。性別でみると、結果と高学年および中学生の性別間に有意な関連がみられ、男子の方が女子に比して○をつけた生徒が多い。

死後のイメージとして回答が少なかった以上の3項目は、著者の1回目と2回目の調査と同様の結果であった。

(3) 死後のイメージの発達

○をつけた生徒が低学年に多く、高学年になるにしたがって減少している項目は「天使」であった。低学年が多く、高学年で減少し、中学生で再度増加傾向を示した項目は「お姫様」「怪獣」「ひとさらい」である。低学年が少なく、高学年で増加、中学生でやや減少していたのは「お骨」「がい骨」「魂」である。低学年で回答が多い「天使」「お姫様」「怪獣」「ひとさらい」は、いずれも『擬人化したもの』であり『動くもの』である。高学年になるにしたがって回答が多い「お骨」「がい骨」は『動かないもの』『無生物』である。低学年に比べ高学年で回答が増加している「魂」は実体のないものあるいは、空中に浮遊しているものとの解釈ができる。このように死に対する概念は、年代的発達のプロセスと一致していることがわかる。

全生徒の回答数が多く、回答と地域間に有意な関連が見られた項目は「お骨」で、低学年・高学年とも関東は、北海道および九州に比べ少ない。死後のイメージは、様々な体験学習を通して概念を形成していく年代であることから、このような地域

による回答の違いは、死のイメージにおいて、社会環境の影響がかなりあるといえよう。

全生徒の回答数が多く、性別による違いが大きかった項目は、「天使」「お星様」「がい骨」で、女子の方が男子より多かった。「お星様」も回答と性別間に有意に関連し、女子の方が男子より多い。「がい骨」は低学年・高学年が回答と性別間に有意な関連があり、男子の方が女子より多かった。この背景には、男の子、女の子という性別による育てられ方や、性別の違いによって提供される玩具類、雑誌類等、社会環境による違いの影響が推測される。

2) 死後の世界のイメージ

死後の世界があると答えた生徒は1学年が約5割、その後増加傾向を示すが、5・6学年になると再び5割台とやや減少傾向がみられる。全学年を通して5割以上の生徒が「死後の世界はある」という考えを持っている。神様はいると答えた生徒は、1・2学年が約9割、その後減少し5・6学年になると5割台である。この結果は著者が行った調査と同様の結果であった。

(1) 死後の世界のイメージとして多かった項目

「死んだ後どこへ行きますか」の質問に○をつけた生徒が比較的多かった項目は、「神様のそば」「天国」「お墓」であった。

学年別にみると「神様のそば」に○をつけた生徒は、低学年が6割、高学年が5割弱、中学生が4割弱で回答と学年間に有意な関連があり、低い学年ほど○をつけた生徒が多い。地域別にみると、低学年は北海道が6割弱、関東・九州とも約6割で回答と地域間に有意な関連はみられない。高学年は北海道が約4割、関東が約5割、九州が5割弱で回答と地域間に有意な関連はみられ、関東が最も多く、次いで九州、北海道が最も少ない。性別でみると「神様のそば」に○をつけた生徒は、低学年は男子が6割弱、女子が約6割で回答と性別間に有意な関連があり、女子の方が男子より○をつけた生徒が多い。高学年は男子が約4割、女子が約5割、中学生は男子が3割弱、女子が約4割で、回答と性別間に各々有意な関連があり、女子の方が男子より○をつけた生徒が多い。女子が男子より多い結果は、著者が行った調査（1979年）と同様の結果であった。

「天国」に○をつけた生徒は、学年別にみると低学年が約9割、高学年が7割、中学生が6割で回答と学年間に有意な関連があり、学年が進むにつれ○をつけた生徒は減少している。地域別にみると、高学年は北海道が7割弱、関東が8割、九州が8割弱で回答と地域間に有意な関連がみられ、関東が多い。性別でみると、男子は高学年が7割、中学生が6割弱、女子は高学年が8割弱、中学生が7割弱で、回答と高学年および中学生の性別間に有意な関連がみられ、女子の方が男子に比して

○をつけた生徒が多い。

「お墓」に○をつけた生徒は、学年別にみると低学年が7割弱、高学年が8割弱、中学生が約7割で、回答と学年間に有意な関連がみられ、高学年に○をつけた生徒が多い。地域別にみると、低学年は北海道が約7割、関東が7割弱、九州が8割弱で、回答と地域間に有意な関連がみられ九州が多い。著者が行った調査（1979年）では、関東が最も高く九州が最も低い傾向であった。この変化の背景に、どのような自然及び社会環境の変化等が介在しているのか、さらに調査を継続し注目していきたい。性別でみると、男子の中学生は7割、女子は8割弱で回答と性別間に有意な関連がみられ、女子の方が多い。

（2）死後の世界のイメージとして少なかった項目

「死んだ後どこへ行きますか」の質問に○をつけた生徒が比較的少なかった項目は、「宇宙」であった。

学年別にみると「宇宙」に○をつけた生徒は、低学年が・高学年が1割以下、中学生が約1割で回答と学年間に有意な関連があり、低・高学年より中学生が○をつけた生徒が多い。地域別にみると、各学年とも回答と地域間に有意な関連はみられない。性別でみると、高学年は男子が1割弱、女子が1割以下で回答と性別間に有意な関連があり、男子の方が女子より○をつけた生徒が多い。

（3）死後の世界のイメージの発達

○をつけた生徒が低学年に多く、高学年になるにしたがって減少している項目は、「天国」「地獄」である。反対に低学年で少なく、高学年になるにしたがって増加している項目は、「お墓」「お寺」「宇宙」である。この結果を見ると、低学年で多い項目は、死と関連して語られることの多い言葉であり、高学年で多くなるのは、現実社会において、死後の体（死体）が納められる所という共通点が見出せる。

全生徒の回答数が多く、地域間に違いがみられた項目は、「天国」「神様のそば」「お墓」「お寺」である。「天国」「神様のそば」ともに、高学年で関東が最も多く、次いで九州であり、北海道が最も少ない。「お墓」「お寺」ともに、は低学年で九州が最も多く、次いで北海道、関東が最も少ない。地域の違いを見ると関東に多い「天国」「神様のそば」は現実に見えないものである。それに対して九州に多い「お墓」「お寺」は、現実社会に存在し見えるものであり、ここに子どもが住む生活環境の違い・地域差、体験の違いが表れていると推測される。

全生徒の回答数が多く、性別間による違いがみられた項目は、「神様のそば」「天国」である。「神様のそば」は、低学年・高学年ともに○をとけた生徒は女子の方が男子より多い。「天国」は、高学年及び中学生で○をつけた生徒は、女子の方が男

子に比して多い。

今回の調査結果から、死後の世界のイメージとして、女子は現実には見えない「神様のそば」「天国」をイメージし、男子は現実社会に存在し、実際に目に見える「お墓」「お寺」といったものをイメージする傾向があると言える。

3) 死のイメージ

死についてどのように感じるかを SD 法（意味が正反対な形容詞で構成）を用いて質問し、その結果、小中学生が死イメージとして高かったものは「嫌だ」「さみしい」「悲しい」「こわい」などである。

(1) 嫌だー嫌でない

学年別にみると低学年で嫌でないと答えた生徒は約 1 割、どちらでもないが 2 割弱、嫌だが約 7 割、高学年で嫌でないが 1 割以下、どちらでもないが 2 割弱、嫌だが約 7 割、中学生で嫌でないは 1 割、どちらでもないが約 2 割、嫌だが約 6 割で、回答と学年間に有意な関連があり、嫌でないという答えは中学生が最も多かった。低学年・高学年・中学校とも回答と地域間及び性別間に有意な関連はみられない。

(2) さみしいーさみしくない

学年別では、低学年でさみしくないと答えた生徒は 1 割弱、どちらでもないが 2 割弱、淋しいが 8 割弱、高学年でさみしくないが 1 割弱、どちらでもないが 2 割弱、さみしいが 7 割、中学生でさみしくないが 1 割弱、どちらでもないが 3 割弱、さみしいが 6 割で、回答と学年間に有意な関連がみられ、さみしいという答えは低学年が最も多く、どちらでもないという答えは中学生が最も多い。著者が行った調査（1979 年）では、小学校 1 年生から 6 年生まで、8 割から 9 割の生徒がさみしいと答え、学年による違いはみられなかった。今回の調査では、高学年になると寂しいという答えが減少傾向を示している。さらに学年が上がるとわからないという答えが増えている。死に対するイメージは、年齢が高くなるのと反比例する形で曖昧になっているのではないかと懸念される。そしてその背景に実感出来る機会の欠如等の影響が考えられる。

回答と地域間に有意な関連があり、低学年・高学年・中学生ともさみしいという答えは九州が最も多かった。性別でみると、低学年・高学年では、回答と性別間に有意な関連はみられないが、中学生男子はさみしくないが 1 割弱、どちらでもないが 3 割、さみしいが 6 割弱、女子はさみしくないが 1 割弱、どちらでもないが 3 割弱、さみしいが 7 割弱で、回答と性別間有意な関連がみられ、悲しいという答えは女子の方が男子より多い。

(3) 悲しいー悲しくない

学年別では、低学年で悲しくないと答えた生徒は1割以下、どちらでもないが1割弱、悲しいが8割、高学年で悲しくないは1割以下、どちらでもないが約1割、悲しいが8割、中学生で悲しくないは極少数、どちらでもないが2割、悲しいが7割で、回答と学年間に有意な関連がみられ、悲しいという答えは低学年が最も多く、どちらでもないは中学生が最も多い。これもさみしいと同様に、過去の調査では年齢による変化や、わからないといった答えの増加はみられていなかった。上述したさみしいと同様に、年齢が高くなるに比例する形で死のイメージの曖昧さが増加していることが懸念される。

低学年・高学年・中学生とも回答と地域間に有意な関連は見られない。性別でみると、低学年・高学年・中学生とも性別間に有意な関連がみられ、悲しいという答えは男子より女子の方が多い。

(4) こわいーこわくない

学年別にみると低学年でこわくない生徒が1割、どちらでもないが2割、こわいが6割、高学年でこわくないが1割、どちらでもないが2割、こわいが7割弱、中学生でこわくない1割、どちらでもないが3割弱、こわいが6割で、回答と学年間に有意な関連があり、こわいと答えた生徒は高学年が最も多い。この結果は過去の調査結果と同様であった。

地域別にみると、低学年・高学年は回答と地域間に有意な関連はみられないが、中学生は北海道でこわいが6割弱、関東が5割、九州が7割弱で、回答と地域間に有意な関連があり、こわいという答えは九州が最も多い。性別でみると、低学年男子でこわいが6割弱、女子が7割弱で、回答と性別間に有意な関連がみられ、こわいという答えは女子の方が男子より多い。高学年及び中学生は回答と性別間に有意な関連はみられない。

(5) 美しいーみにくい

学年別にみると、低学年は醜いと答えた生徒は約3割、どちらでもないが約6割、美しいが1割以下である。高学年は醜いと答えた生徒が3割弱、どちらでもないが7割弱、美しいは極少数である。中学生は醜いと答えた生徒が約1割、どちらでもないが約6割、美しいが1割弱である。回答と学年間に有意な関連があり、低学年ほど醜いと答えた生徒が多く、中学生は低・高学年よりどちらでもないと答えた生徒が多い。過去の調査では、美しいと答えた生徒は一人もいなかった。今回の調査では、数は少ないが、各学年ともに美しいと答えた生徒が存在した。この美しいという死に対するイメージについては、個別な質的調査が不可欠であり、今後の課題である。

低学年及び高学年は、回答と地域間に有意な関連はみられない。中学生は北海道が醜いと答えた生徒が2割弱、どちらでもないが約7割、美しいが1割弱、関東が醜いが2割弱、どちらでもないが8割弱、美しいが極少数、九州が醜いが1割弱、どちらでもないが8割、美しいが1割弱で、回答と地域間に有意な関連があり、醜いと答えた生徒が最も多かったのは北海道、次いで関東、九州が最も少ない。どちらでもないと答えた生徒は九州が最も多く、次いで関東、北海道が最も少なかった。性別でみると、低学年男子は回答と性別間に有意な関連はみられない。高学年男子は醜いが約3割、どちらでもないが約6割、美しいが極少数、女子は醜いが約2割、どちらでもないが約7割、美しいが極少数で、回答と性別間に有意な関連があり、男子の方が女子より醜いと答えた生徒が多く、反対にどちらでもないと答えた生徒は男子が多かった。中学生男子は醜いが2割弱、どちらでもないが約7割、美しいが1割弱、女子は醜いが1割弱、どちらでもないが8割、美しいが極少数で、回答と性別間に有意な関連があり、男子の方が女子より醜いと答えた生徒が多く、反対にどちらでもないと答えた生徒は、男子より女子の方が多い。

(6) 死のイメージの発達

学年別にみると、「美しいーみにくい」は、回答と学年間に有意な関連があり、低学年ほど醜いと答え、中学生は低・高学年よりどちらでもないと答えた生徒が多かった。「嫌だー嫌でない」は、回答と学年間に有意な関連があり、低学年・高学年とも嫌だが多く、嫌でないは、中学生が最も多い。「こわいーこわくない」は、回答と学年間に有意な関連があり、どちらでもないという答えは中学生が最も多い。「さみしいーさみしくない」は、回答と学年間に有意な関連があり、さみしいという回答は低学年が最も多く、どちらでもないは中学生が最も多い。「良いー悪い」は、低学年で回答と学年間に有意な関連があり、悪いは低学年・高学年が多く、どちらでもないは中学生が最も多い。「悲しいー悲しくない」は、回答と学年間に有意な関連があり、低学年は悲しいが最も多く、中学生はどちらでもないが最も多い。これらの結果を総括すると、死のイメージは低学年ほど暗く、忌むものとしてのイメージが高く、学年が進むと死のイメージは、明・暗に明確に分けられない『曖昧なもの』となる傾向がある。

地域により違いをみると「美しいー醜い」は、中学生において回答と地域間に有意な関連があり、醜いと答えた生徒が最も多かったのは北海道、次いで関東で、九州が最も少ない。どちらでもないは九州が最も多く、次いで関東、北海道が最も少なかった。「こわいーこわくない」は、中学生において回答と地域間に有意な関連があり、こわいは九州が最も多い。「さみしいーさみしくない」は、低学年・中学生で回答と地域間に有意な関連があり、低学年・高学年・中学生とも九州が他の地域より

さみしいというイメージが多い傾向が見られる。

死のイメージに関する地域差は学年ほど明らかではないが、「さみしい」「こわい」は九州が他の地域より多くの生徒が答えるイメージとなっている。

性別による死のイメージをみると、「美しいー醜い」は、高学年・中学生において回答と性別間に有意な関連があり、男子の方が女子より醜いと答えた生徒が多く、反対にどちらでもないと答えた生徒は男子より女子の方が多い。「良いー悪い」は、高学年において回答と性別間に有意な関連がみられ、死を悪いものとイメージする傾向は男子が多く、女子はどちらともいえないと曖昧な回答が多く、醜いと同様の傾向である。これらの結果から、高学年及び中学生では男子の方が死を醜いものと捉える傾向があり、女子は明確なイメージをもっていない傾向が推測される。

「こわいーこわくない」は、低学年において回答と性別間に有意な関連がみられ、女子の方がこわいというイメージを抱いており、男子はどちらでもない曖昧な答えが多い。「さみしいーさみしくない」は、中学生において回答と性別間に有意な関連がみられ、女子では死はさみしいという孤独感に通ずるイメージとなっているが、男子はどちらでもない曖昧な答えが多い。「悲しいー悲しくない」は、低学年・高学年・中学生において回答と性別間に有意な関連がみられ、どの学年においても、女子は男子より明らかに死を悲しいとイメージし、男子は女子に比べると曖昧な答がやや多い。

男女別の回答傾向をみると、「良いー悪い」「美しいー醜い」と自らの感情と関係のない客観視的項目では、男子の回答は明確であり、女子の回答は曖昧である。一方、「こわい」「さみしい」「悲しい」と自分自身の感情と関連する項目では、女子の方が回答は明確であり、男子は曖昧な傾向がみられている。

VI. Death—Education のための指針と方略の提言

1. Death—Education を考える上で考慮すべき子ども、及び環境の特徴

1) 子どもの生活体験

現代社会に生きる子どもの生活環境から、「死」や死にまつわる「儀式」が遠のき、健全な死生観を育む文化が希薄になっているのではないかと懸念を抱いていた。しかし今回の調査を通して、子どもがかわいがっていたペットとの死別や、身近な人との死別体験、さらにお通夜・お葬式への出席・墓参体験は、20年前・10年前の調査と同様の結果で、子どもの生活体験として減少していないことが確認された。

2) 死に関する会話

一方、今回の調査を通して、家族と死について会話をしたことがある生徒は、低学年で4割程度、低・高学年より中学生ではさらに少ない。家族と話したことがない生徒は、学年が上がるほど増加している。友達との会話は、家族との会話よりさらに少なく、低・高学年で3割弱である。家族との会話とは反対に友達との会話は、低・高学年より中学生の方が増加している。友達と話したことがない生徒は、低・高学年より中学生は少ない。つまり、生や死といった人間の根源的なテーマとも言える「死」の概念が芽生え、育ち、大人の「死の概念」へと大きく変化・発達を遂げる学童期の小児の生活環境において、死に関する会話が少ないことが明らかとなった。

死について知りたいと思っている生徒は少なく、中でも死の概念が大人の概念に近づくとされる高学年が最も少ない。学年が上がるにつれ、死について知りたいかどうかかわからないという生徒が増加しており、死に関する関心は低いと言える。死の話題を回避したい生徒は、低学年が約6割、高学年が7割弱、中学生が5割で、死への関心の低さと同様に、死の概念が大人の概念に近づく高学年が多い。

3) 死の概念

死の概念発達は、従来の研究結果同様、年齢とともに発達が遂げられていることが確認できた。しかし、その中で従来とは異なる傾向も確認された。

- (1) 50年前には、静止しているものに対するアニミズムも動く機械に対するアニミズムも、小学校に入ると速やかに崩壊するといわれた。その後の調査では小学校高学年で再びアニミズム的思考の上昇が確認された。今回の調査では、中学生で再びアニミズム的思考がみられ、崩壊年齢幅が広がりを示していた。アニミズムの識別におけるこのような現象には、子どもを取り巻く環境要因の何らかの影響が推測される。

(2) 死の不可逆性の理解において、小学生低・高学年より中学生がわからないと答えている生徒が多いことが確認された。中学生はピアジェの認知的発達理論では、自分の思考や、自分自身を思考の対象とでき、具体的体験や現実そのものだけでなく、体験の有無にかかわらず論理的に思考し推理することが可能な形式操作段階にある。つまり死は命あるものにとって不可逆であり普遍的現象であることを理解し、大人の死の概念に到達すると言われる年代である。死の不可逆性の理解における中学生のこのような現象は、医療の高度化や臓器移植といった科学技術の進歩に伴う生と死のボーダレス化現象、あるいはホラー映画に代表されるバーチャルな映像の洪水といった生活環境、その偏り等の影響が推測される。

4) 地域、性別による相違

家族との死に関する会話は、低学年では北海道が最も多く、次いで九州であり、関東が最も少ない。高学年は地域による違いはみられないが、中学生では低学年とは反対に九州が最も多く、次いで関東であり、北海道が最も少ない。友達との会話は、中学生では北海道・関東より九州が多い。性別では、女子の方が男子より家族と死について話をしている。友達との会話も女子の方が男子より死について話をしている。

死について知りたい生徒は、高学年は北海道が最も多く、次いで関東であり、九州が最も少ない。中学生では高学年とは反対に九州が最も多く、次いで関東であり、北海道が最も少ない。性別では、男子の方が女子より死について知りたい生徒が多い。死の話題の回避は、低学年の男子は女子より多い。

2. Death-Education のための指針と方略の提言

最後に、明らかとなった上記の特徴に加えて、日本における数少ない Death-Education の試みとして放映された、NHK の 3 本の番組である、

①生まれてくるってすごい（長野県伊那小学校の取り組み例）

②「いのち」を体で感じよう（茨城県茗けい学園取り組み例）

③死について考えよう（愛知県常磐中学校の取り組み例）

を参考に、Death-Education の具体的方略について提言する。

1) 子どもの生活体験が貴重な題材である。

かわいがっていたペットとの死別や身近な人との死別体験、さらにお通夜・お葬式への出席・墓参体験は、子どもの生活体験として減少していない。これらの生活体験は、生死観を育てる上で最も大切な基盤である。

2) 日常生活において死に関する会話は欠如している。

生や死といった人間の根源的なテーマとも言える「死」の概念が芽生え、育ち、大人の「死の概念」へと大きく変化・発達を遂げる学童期の小児の生活において、死に関する会話が少ない。上述したこれらの体験を家族と共有し、命の大切さ、命の有限性、生まれてきたことの喜び、生きることの尊さについて語り合う機会としていくことは、生死観を育てるうえで重要な条件である。

3) アニミズム・死の不可逆性の理解に混乱がある。

(1) 小学校に入ると速やかに崩壊するといわれた静止しているものあるいは動く機械に対するアニミズム、さらにポケモンに代表されるキャラクターに対するアニミズムが中学生でもみられ、崩壊年齢が広がりを示している。生物・無生物の識別におけるこのような現象には、子どもを取り巻く環境要因の影響が推測される。

(2) 死の概念に到達していると言われる中学生で、死の不可逆性の問いにわからないと答える生徒が多い。死の不可逆性の理解におけるこのような現象は、医療の高度化や臓器移植といった科学技術の進歩に伴う生と死のボーダレス化とでいえる現象、あるいはホラー映画に代表される映像のバーチャルな刺激の多さ、生活体験の偏り等の影響が推測される。

これらの混乱を是正していくためには、上述した1) 2) の積み重ねが不可欠である。

4) 死の概念・イメージは地域・性別による異なる

死の概念は、年齢に比例して発達を遂げているが、地域・性別により異なる。さらに死のイメージは、地域とともに性別によって異なることが確認された。Death-Education をプランする場合、地域特性や性別による特徴・差異に留意することが必要である。

《具体的方略例》

<テーマ1：ママと一緒にキュウピーさんをお風呂に入れよう>

対象：① 小学校低学年：ママと生徒のペアで

② 中学生：男子生徒と女子生徒ペアで

意図：小さな子どもと接する機会の少ない社会に育つ小中学生を対象に、お人形を沐浴するという体験を通して、生徒が自分の赤ちゃん時代を家族とともに振り返り、命の愛おしさ、家族の愛、そして自分の現在が多くの人とのかかわり、支えによってあることを実感、再確認する。

評価：体験に対する感想を語り合い、子どもの「思い」「考え」を共有する。

- ① Death-Education を通して触れた「生」や「死」を生徒がどのように受け止めたかを半構成的面接法で把握する。
- ② 半構成的面接で得られたデータは、グランデット・セオリーの方法を用いて記述的説明を行う（質的研究）。

<テーマ2：身近に体験した死（ペット・人間）について語ろう>

対象：小学1年生～中学3年生

意図：① 今回の調査では、死別体験の質問に対して、特に小学校低学年は自分の体験を我々に話し説明しようとする多くの子どもたちに出会った。子どもは、自分の体験を人に聞いてもらいたい、話したいという欲求をもっていると信じる。子どもの体験、話したい欲求を聞きことによって、子どもが死について感じたり考えたりしていること、知りたいこと、疑問や恐れを共有し、語り合う。

② 中学生には身近に体験した死（ペット・人間）を題材に、あるいはドキュメンタリー番組を用いて、見た感想、命、生きる意味について語り合う。

評価：死について語り合うことができ、死に対する子どもの「思い」「考え」を共有する。

- ① Death-Education を通して触れた「生」や「死」を生徒がどのように受け止めたかを半構成的面接法で把握する。
- ② 半構成的面接で得られたデータは、グランデット・セオリーの方法を用いて記述的説明を行う（質的研究）。

VII. おわりに

死の概念発達や死生観の形成にかかわる要因、及び高次のアニミズムについて検討を行った。その結果、以下のことが明らかとなった。

1. 子どもの生活体験（ペットとの死別、身近な人との死別体験、お通夜・お葬式への出席・墓参体験）は、減少していない。
2. 人間の根源的なテーマとも言える「死」の概念が芽生え、育ち、大人の「死の概念」へと大きく変化・発達を遂げる学童期の小児の生活環境において、死に関する会話（家族・友人）は少ない。
3. 死の概念発達は、従来の研究結果同様に年齢とともに発達が遂げられていることが確認できた。しかし、その中で従来とは異なる傾向が確認された。
 - 1) 静止しているもの、動く機械に対するアニミズムは、小学校に入ると速やかに崩壊するといわれた。今回の調査では、中学生で再びアニミズム的思考がみられ、崩壊する年齢幅に広がりが見られる。アニミズムの識別におけるこのような現象には、子どもを取り巻く環境要因の影響が推測される。
 - 2) 死の不可逆性の理解において、小学校低・高学年より、中学生がわからないと答えている生徒が多いことが確認された。中学生は体験の有無にかかわらず、論理的に思考し推理することが可能な思考の段階にある。死の不可逆性の理解における中学生のこのような現象は、医療の高度化や臓器移植といった科学技術の進歩に伴う生と死のボーダレス化現象、あるいはホラー映画に代表されるバーチャルな映像の洪水といった生活環境、その偏り等の影響が推測される。
4. 小児の死の概念、死のイメージは、地域・性別により異なる。Death-Educationをプランする場合、地域特性や性別による特徴・差異に留意することが必要である。
5. 明らかになったこれらの結果を参考に、Death Educationの指針と具体的方略の提言を行った。

今後、これら具体的方略の実践を通して評価研究へと発展させていきたい。

謝辞：調査にご協力頂きました小・中学校の教職員ならびに生徒の皆様に、心から御礼申し上げます。

Ⅷ. 引用文献

- 1) 波多野完治・滝沢武久、子どものものの考え方、岩波新書、1976.
- 2) ロス.E. キューブラ、川口正吉訳、死ぬ瞬間、読売新聞社、1974.
- 3) 依田・藤原、子どもの性格教育、68-81、金子書房、1956.
- 4) ハーマンフェイフェル.M.H. ナギー、大原健士郎訳、死の意味するもの、第6章、80-101、岩波学術出版、1973.
- 5) カバナフ.R.E. 岡堂哲雄他訳、死と出会うとき、第6章、109-126、金沢文庫、1976.
- 6) 岡本夏木、発達の理論を築く ピアジェ、別冊発達4、133-134、1986.

参考文献

- 常葉恵子・岡田洋子・岡堂哲雄他、児童期における死の概念の発達、聖路加看護大学紀要 第6号、31-41、1979.
- 岡田洋子、学童期にある小児の死の概念発達に関わる要因の検討、天使女子短期大学紀要、No. 11、21-36、1990.
- 岡田洋子、学童期にある小児の死の概念発達に関わる要因の検討—認知的発達と社会経験に焦点を当てて—、天使女子短期大学紀要、11号、1990.
- 岡田洋子、学童期にある小児の死の概念発達に関わる要因の検討、第9回日本看護学会誌、9(3)、136-137、1989.
- アンナ・フロイト、小嶋謙士郎監修、小児看護心理学、第1章、9-11、医学書院、1971.
- ゲゼル、小嶋謙士郎監修、小児看護心理学、第1章、9-11、医学書院、1971.
- 岡田洋子、学童期にある小児の死の概念発達に関わる要因の検討—認知的発達と社会経験に焦点をあてて—、聖路加看護大学修士論文、1989.
- 小島康次、認知発達理論と展望 ピアジェ理論への新たな視点、青弓社、1987.
- H.W. メイラ著、大西誠一郎監訳、児童心理学三つの理論、惣明書房、1985.
- ローリー・クラスニー・ブラウン他、高峰あづさ訳、「死」って、なに？、文溪堂、1999.
- アール・A・グロルマン著、兼重裕子訳、死ぬってどういうこと、春秋社、1995.
- ジム&ジョアン ボルディン著、きたやまあきお訳、「さよなら」っていわせて、大修館書店、1997.
- Grollman Earl A, Explaining Death to children, Beacon Press, 1967.
- Wass Hannelore, Concept of Death, A Dvelopmental Perspective
Comprehensive Pediatric Nursing, 8(1), 3-24, 1985.
- Roocher, P, T. Talking with Children about Death, American J Orthopsychiatry,
44(3), 406-410, 1974.
- Speece, Mark W. and Brent Sander B, Children Understanding of Death
: A Review of Three Componenta of Death Concept, Child, Development,

55(5), 1671-1677, 1984.

Swain, Helen L. Childhood Views of Death, *Death Education*, No 2, 356-358, 1979.

表 1-1 調查資料

調查項目	調查時間	調查地點	調查對象	調查結果	
				數量	百分比
資	1950年	某縣	總數	1000	100%
			男	500	50%
			女	500	50%
			10歲以下	200	20%
			10-20歲	300	30%
			20-30歲	200	20%
			30-40歲	150	15%
			40-50歲	100	10%
			50-60歲	50	5%
			60歲以上	50	5%
料	1950年	某縣	總數	1000	100%
			男	500	50%
			女	500	50%
			10歲以下	200	20%
			10-20歲	300	30%
			20-30歲	200	20%
			30-40歲	150	15%
			40-50歲	100	10%
			50-60歲	50	5%
			60歲以上	50	5%

クロス表

表1. 調査対象

地域	学年区分			性別		合計
				男	女	
北海道	学年区分	低学年	度数	165	157	322
			学年区分の%	51.2	48.8	100
		高学年	度数	184	172	356
			学年区分の%	51.7	48.3	100
		中学生	度数	162	141	303
			学年区分の%	53.5	46.5	100
	合計		度数	511	470	981
		学年区分の%	52.1	47.9	100	
関東	学年区分	低学年	度数	192	178	370
			学年区分の%	51.9	48.1	100
		高学年	度数	219	170	389
			学年区分の%	56.3	43.7	100
		中学生	度数	87	78	165
			学年区分の%	52.7	47.3	100
	合計		度数	498	426	924
		学年区分の%	53.9	46.1	100	
九州	学年区分	低学年	度数	79	75	154
			学年区分の%	51.3	48.7	100
		高学年	度数	83	72	155
			学年区分の%	53.5	46.5	100
		中学生	度数	228	220	448
			学年区分の%	50.9	49.1	100
	合計		度数	390	367	757
		学年区分の%	51.5	48.5	100	

表 2-1. 兄弟姉妹と学年

			兄弟姉妹がいますか		合計
			いる	いない	
学年区分	低学年	度数	757	98	855
		学年区分の%	88.5	11.5	100.0
	高学年	度数	818	82	900
		学年区分の%	90.9	9.1	100.0
	中学生	度数	857	58	915
		学年区分の%	93.7	6.3	100.0
合計		2432	238	2670	
		学年区分の%	91.1	8.9	100.0

**

表 2-2. 兄弟姉妹と学年・地域

学年区分				兄弟姉妹がいますか		合計
				いる	いない	
低学年	地域	北海道	度数	280	46	326
			地域の%	85.9	14.1	100.0
		関東	度数	333	40	373
		地域の%	89.3	10.7	100.0	
	九州	度数	144	12	156	
		地域の%	92.3	7.7	100.0	
	合計		度数	757	98	855
		地域の%	88.5	11.5	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	320	36	356
			地域の%	89.9	10.1	100.0
		関東	度数	353	36	389
		地域の%	90.7	9.3	100.0	
	九州	度数	145	10	155	
		地域の%	93.5	6.5	100.0	
	合計		度数	818	82	900
		地域の%	90.9	9.1	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	282	19	301
			地域の%	93.7	6.3	100.0
		関東	度数	142	24	166
		地域の%	85.5	14.5	100.0	
	九州	度数	433	15	448	
		地域の%	96.7	3.3	100.0	
	合計		度数	857	58	915
		地域の%	93.7	6.3	100.0	

**

表 2-3. 兄弟姉妹と学年・性別

学年区分				兄弟姉妹がいますか		合計
				いる	いない	
低学年	性別	男	度数	384	51	435
			性別の%	88.3	11.7	100.0
		女	度数	364	45	409
			性別の%	89.0	11.0	100.0
		合計	度数	748	96	844
			性別の%	88.6	11.4	100.0
高学年	性別	男	度数	444	42	486
			性別の%	91.4	8.6	100.0
		女	度数	374	40	414
			性別の%	90.3	9.7	100.0
		合計	度数	818	82	900
			性別の%	90.9	9.1	100.0
中学生	性別	男	度数	444	31	475
			性別の%	93.5	6.5	100.0
		女	度数	409	27	436
			性別の%	93.8	6.2	100.0
		合計	度数	853	58	911
			性別の%	93.6	6.4	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表3-1. 話し合える友達と学年

			良く話し合える友達がありますか			合計
			いない	少しいる	たくさんいる	
学年区分	低学年	度数	13	287	545	845
		学年区分の%	1.5	34.0	64.5	100.0
	高学年	度数	7	313	573	893
		学年区分の%	0.8	35.1	64.2	100.0
	中学生	度数	18	355	522	895
		学年区分の%	2.0	39.7	58.3	100.0*
合計		度数	38	955	1640	2633
		学年区分の%	1.4	36.3	62.3	100.0

表3-2. 話し合える友達と学年・地域

学年区分				良く話し合える友達がありますか			合計
				いない	少しいる	たくさんいる	
低学年	地域	北海道	度数	3	114	205	322
			地域の%	0.9	35.4	63.7	100.0
		関東	度数	9	129	231	369
	地域の%		2.4	35.0	62.6	100.0	
	九州	度数	1	44	109	154	
地域の%		0.6	28.6	70.8	100.0		
合計		度数	13	287	545	845	
		地域の%	1.5	34.0	64.5	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	5	142	206	353
			地域の%	1.4	40.2	58.4	100.0
		関東	度数	2	124	261	387
	地域の%		0.5	32.0	67.4	100.0	
	九州	度数		47	106	153	
地域の%			30.7	69.3	100.0*		
合計		度数	7	313	573	893	
		地域の%	0.8	35.1	64.2	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	6	121	162	289
			地域の%	2.1	41.9	56.1	100.0
		関東	度数	7	60	94	161
	地域の%		4.3	37.3	58.4	100.0	
	九州	度数	5	174	266	445	
地域の%		1.1	39.1	59.8	100.0		
合計		度数	18	355	522	895	
		地域の%	2.0	39.7	58.3	100.0	

表3-3. 話し合える友達と学年・性別

学年区分				良く話し合える友達がありますか			合計
				いない	少しいる	たくさんいる	
低学年	性別	男	度数	9	140	277	426
			性別の%	2.1	32.9	65.0	100.0
	女	度数	4	143	263	410	
		性別の%	1.0	34.9	64.1	100.0	
合計		度数	13	283	540	836	
		性別の%	1.6	33.9	64.6	100.0	
高学年	性別	男	度数	4	152	327	483
			性別の%	0.8	31.5	67.7	100.0
	女	度数	3	161	246	410	
		性別の%	0.7	39.3	60.0	100.0	
合計		度数	7	313	573	893	
		性別の%	0.8	35.1	64.2	100.0	
中学生	性別	男	度数	11	173	281	465
			性別の%	2.4	37.2	60.4	100.0
	女	度数	7	180	239	426	
		性別の%	1.6	42.3	56.1	100.0	
合計		度数	18	353	520	891	
		性別の%	2.0	39.6	58.4	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表4-1. 入院経験と学年

			過去に入院したことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	474	120	251	845
		学年区分の%	56.1	14.2	29.7	100.0
	高学年	度数	495	125	275	895
		学年区分の%	55.3	14.0	30.7	100.0
	中学生	度数	529	82	304	915
		学年区分の%	57.8	9.0	33.2	100.0
合計		1498	327	830	2655	
		学年区分の%	56.4	12.3	31.3	100.0

**

表4-2. 入院経験と学年・地域

学年区分				過去に入院したことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	169	49	103	321
			地域の%	52.6	15.3	32.1	100.0
		関東	度数	206	52	111	369
		地域の%	55.8	14.1	30.1	100.0	
	九州	度数	99	19	37	155	
	地域の%	63.9	12.3	23.9	100.0		
	合計		度数	474	120	251	845
			地域の%	56.1	14.2	29.7	100.0
高学年	地域	北海道	度数	165	60	129	354
			地域の%	46.6	16.9	36.4	100.0
		関東	度数	240	51	97	388
		地域の%	61.9	13.1	25.0	100.0	
	九州	度数	90	14	49	153	
	地域の%	58.8	9.2	32.0	100.0		
	合計		度数	495	125	275	895
			地域の%	55.3	14.0	30.7	100.0
中学生	地域	北海道	度数	160	26	117	303
			地域の%	52.8	8.6	38.6	100.0
		関東	度数	97	15	54	166
		地域の%	58.4	9.0	32.5	100.0	
	九州	度数	272	41	133	446	
	地域の%	61.0	9.2	29.8	100.0		
	合計		度数	529	82	304	915
			地域の%	57.8	9.0	33.2	100.0

**

表4-3. 入院経験と学年・性別

学年区分				過去に入院したことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	237	50	140	427
			性別の%	55.5	11.7	32.8	100.0
		女	度数	232	69	106	407
		性別の%	57.0	17.0	26.0	100.0	
	合計		度数	469	119	246	834
			性別の%	56.2	14.3	29.5	100.0
高学年	性別	男	度数	251	76	156	483
			性別の%	52.0	15.7	32.3	100.0
		女	度数	244	49	119	412
		性別の%	59.2	11.9	28.9	100.0	
	合計		度数	495	125	275	895
			性別の%	55.3	14.0	30.7	100.0
中学生	性別	男	度数	238	47	189	474
			性別の%	50.2	9.9	39.9	100.0
		女	度数	287	35	115	437
		性別の%	65.7	8.0	26.3	100.0	
	合計		度数	525	82	304	911
			性別の%	57.6	9.0	33.4	100.0

**

*: p<0.05 ** : p<0.01

表5-1. ペットを飼った経験と学年

			ペットを飼ったことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	187	18	640	845
		学年区分の%	22.1	2.1	75.7	100.0
	高学年	度数	133	6	758	897
		学年区分の%	14.8	0.7	84.5	100.0
	中学生	度数	141	16	757	914
		学年区分の%	15.4	1.8	82.8	100.0
合計		度数	461	40	2155	2656
		学年区分の%	17.4	1.5	81.1	100.0

表5-2. ペットを飼った経験と学年・地域

学年区分				ペットを飼ったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	64	7	250	321
			地域の%	19.9	2.2	77.9	100.0
		関東	度数	101	10	260	371
		地域の%	27.2	2.7	70.1	100.0	
	九州	度数	22	1	130	153	
	地域の%	14.4	0.7	85.0	100.0		
	合計		度数	187	18	640	845
			地域の%	22.1	2.1	75.7	100.0
高学年	地域	北海道	度数	58	2	294	354
			地域の%	16.4	0.6	83.1	100.0
		関東	度数	60	2	326	388
		地域の%	15.5	0.5	84.0	100.0	
	九州	度数	15	2	138	155	
	地域の%	9.7	1.3	89.0	100.0		
	合計		度数	133	6	758	897
			地域の%	14.8	0.7	84.5	100.0
中学生	地域	北海道	度数	74	11	220	305
			地域の%	24.3	3.6	72.1	100.0
		関東	度数	20	3	142	165
		地域の%	12.1	1.8	86.1	100.0	
	九州	度数	47	2	395	444	
	地域の%	10.6	0.5	89.0	100.0		
	合計		度数	141	16	757	914
			地域の%	15.4	1.8	82.8	100.0

表5-3. ペットを飼った経験と学年・性別

学年区分				ペットを飼ったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	109	7	312	428
			性別の%	25.5	1.6	72.9	100.0
		女	度数	75	10	321	406
		性別の%	18.5	2.5	79.1	100.0	
	合計		度数	184	17	633	834
			性別の%	22.1	2.0	75.9	100.0
高学年	性別	男	度数	73	1	411	485
			性別の%	15.1	0.2	84.7	100.0
		女	度数	60	5	347	412
		性別の%	14.6	1.2	84.2	100.0	
	合計		度数	133	6	758	897
			性別の%	14.8	0.7	84.5	100.0
中学生	性別	男	度数	86	12	375	473
			性別の%	18.2	2.5	79.3	100.0
		女	度数	52	4	381	437
		性別の%	11.9	0.9	87.2	100.0	
	合計		度数	138	16	756	910
			性別の%	15.2	1.8	83.1	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表6-1. ペットとの死別体験と学年

			飼っていたペットが死んだことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	186	43	494	723
		学年区分の%	25.7	5.9	68.3	100.0
	高学年	度数	168	27	640	835
		学年区分の%	20.1	3.2	76.6	100.0
	中学生	度数	182	26	611	819
		学年区分の%	22.2	3.2	74.6	100.0
合計		度数	536	96	1745	2377
		学年区分の%	22.5	4.0	73.4	100.0

表6-2. ペットとの死別体験と学年・地域

学年区分				飼っていたペットが死んだことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	68	12	198	278
			地域の%	24.5	4.3	71.2	100.0
		関東	度数	73	23	205	301
	地域の%		24.3	7.6	68.1	100.0	
	九州	度数	45	8	91	144	
		地域の%	31.3	5.6	63.2	100.0	
	合計		度数	186	43	494	723
			地域の%	25.7	5.9	68.3	100.0
高学年	地域	北海道	度数	61	11	254	326
			地域の%	18.7	3.4	77.9	100.0
		関東	度数	70	8	283	361
	地域の%		19.4	2.2	78.4	100.0	
	九州	度数	37	8	103	148	
		地域の%	25.0	5.4	69.6	100.0	
	合計		度数	168	27	640	835
			地域の%	20.1	3.2	76.6	100.0
中学生	地域	北海道	度数	65	13	169	247
			地域の%	26.3	5.3	68.4	100.0
		関東	度数	24	3	123	150
	地域の%		16.0	2.0	82.0	100.0	
	九州	度数	93	10	319	422	
		地域の%	22.0	2.4	75.6	100.0	
	合計		度数	182	26	611	819
			地域の%	22.2	3.2	74.6	100.0

表6-3. ペットとの死別体験と学年・性別

学年区分				飼っていたペットが死んだことがありますか			合計	
				いいえ	わからない	はい		
低学年	性別	男	度数	94	24	241	359	
			性別の%	26.2	6.7	67.1	100.0	
		女	度数	87	17	250	354	
	性別の%		24.6	4.8	70.6	100.0		
		合計		度数	181	41	491	713
				性別の%	25.4	5.8	68.9	100.0
高学年	性別	男	度数	96	14	340	450	
			性別の%	21.3	3.1	75.6	100.0	
		女	度数	72	13	300	385	
	性別の%		18.7	3.4	77.9	100.0		
		合計		度数	168	27	640	835
				性別の%	20.1	3.2	76.6	100.0
中学生	性別	男	度数	116	17	284	417	
			性別の%	27.8	4.1	68.1	100.0	
		女	度数	65	9	326	400	
	性別の%		16.3	2.3	81.5	100.0		
		合計		度数	181	26	610	817
				性別の%	22.2	3.2	74.7	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表 7-1. 身近な人との死別体験と学年

			身近な人が死んでしまった体験がありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	245	136	447	828
		学年区分の%	29.6	16.4	54.0	100.0
	高学年	度数	202	96	594	892
		学年区分の%	22.6	10.8	66.6	100.0
	中学生	度数	209	70	623	902
		学年区分の%	23.2	7.8	69.1	100.0
合計	度数	656	302	1664	2622	
	学年区分の%	25.0	11.5	63.5	100.0	

**

表 7-2. 身近な人との死別体験と学年・地域

学年区分				身近な人が死んでしまった体験がありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	66	53	196	315
			地域の%	21.0	16.8	62.2	100.0
		関東	度数	129	61	172	362
		地域の%	35.6	16.9	47.5	100.0	
		九州	度数	50	22	79	151
		地域の%	33.1	14.6	52.3	100.0	
	合計	度数	245	136	447	828	
		地域の%	29.6	16.4	54.0	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	74	35	243	352
			地域の%	21.0	9.9	69.0	100.0
		関東	度数	88	45	253	386
		地域の%	22.8	11.7	65.5	100.0	
		九州	度数	40	16	98	154
		地域の%	26.0	10.4	63.6	100.0	
	合計	度数	202	96	594	892	
		地域の%	22.6	10.8	66.6	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	71	27	199	297
			地域の%	23.9	9.1	67.0	100.0
		関東	度数	39	13	108	160
		地域の%	24.4	8.1	67.5	100.0	
		九州	度数	99	30	316	445
		地域の%	22.2	6.7	71.0	100.0	
	合計	度数	209	70	623	902	
		地域の%	23.2	7.8	69.1	100.0	

**

表 7-3. 身近な人との死別体験と学年・性別

学年区分				身近な人が死んでしまった体験がありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	142	71	207	420
			性別の%	33.8	16.9	49.3	100.0
		女	度数	98	64	236	398
		性別の%	24.6	16.1	59.3	100.0	
		合計	度数	240	135	443	818
			性別の%	29.3	16.5	54.2	100.0
高学年	性別	男	度数	122	46	313	481
			性別の%	25.4	9.6	65.1	100.0
		女	度数	80	50	281	411
		性別の%	19.5	12.2	68.4	100.0	
		合計	度数	202	96	594	892
			性別の%	22.6	10.8	66.6	100.0
中学生	性別	男	度数	118	43	306	467
			性別の%	25.3	9.2	65.5	100.0
		女	度数	89	26	316	431
		性別の%	20.6	6.0	73.3	100.0	
		合計	度数	207	69	622	898
			性別の%	23.1	7.7	69.3	100.0

**

*

*: p<0.05 **: p<0.01

表8-1. 死んだ人を見た経験と学年

			死んだ人を実際に見たことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	404	79	317	800
		学年区分の%	50.5	9.9	39.6	100.0
	高学年	度数	340	64	473	877
		学年区分の%	38.8	7.3	53.9	100.0
	中学生	度数	301	44	538	883
		学年区分の%	34.1	5.0	60.9	100.0
合計		度数	1045	187	1328	2560
		学年区分の%	40.8	7.3	51.9	100.0

表8-2. 死んだ人を見た経験と学年・地域

学年区分				死んだ人を実際に見たことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	127	30	148	305
			地域の%	41.6	9.8	48.5	100.0
		関東	度数	196	34	117	347
	地域の%		56.5	9.8	33.7	100.0	
	九州	度数	81	15	52	148	
		地域の%	54.7	10.1	35.1	100.0	
合計		度数	404	79	317	800	
		地域の%	50.5	9.9	39.6	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	112	28	211	351
			地域の%	31.9	8.0	60.1	100.0
		関東	度数	171	22	185	378
	地域の%		45.2	5.8	48.9	100.0	
	九州	度数	57	14	77	148	
		地域の%	38.5	9.5	52.0	100.0	
合計		度数	340	64	473	877	
		地域の%	38.8	7.3	53.9	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	98	14	177	289
			地域の%	33.9	4.8	61.2	100.0
		関東	度数	57	10	88	155
	地域の%		36.8	6.5	56.8	100.0	
	九州	度数	146	20	273	439	
		地域の%	33.3	4.6	62.2	100.0	
合計		度数	301	44	538	883	
		地域の%	34.1	5.0	60.9	100.0	

表8-3. 死んだ人を見た経験と学年・性別

学年区分				死んだ人を実際に見たことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	217	36	147	400
			性別の%	54.3	9.0	36.8	100.0
		女	度数	180	42	168	390
	性別の%		46.2	10.8	43.1	100.0	
	合計		度数	397	78	315	790
			性別の%	50.3	9.9	39.9	100.0
高学年	性別	男	度数	194	27	245	466
			性別の%	41.6	5.8	52.6	100.0
		女	度数	146	37	228	411
	性別の%		35.5	9.0	55.5	100.0	
	合計		度数	340	64	473	877
			性別の%	38.8	7.3	53.9	100.0
中学生	性別	男	度数	170	23	267	460
			性別の%	37.0	5.0	58.0	100.0
		女	度数	130	20	268	418
	性別の%		31.1	4.8	64.1	100.0	
	合計		度数	300	43	535	878
			性別の%	34.2	4.9	60.9	100.0

*: p < 0.05 **: p < 0.01

表9-1. お葬式への出席体験と学年

			お葬式に行ったことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	217	97	500	814
		学年区分の%	26.7	11.9	61.4	100.0
	高学年	度数	190	77	621	888
		学年区分の%	21.4	8.7	69.9	100.0
	中学生	度数	122	41	736	899
		学年区分の%	13.6	4.6	81.9	100.0
合計		度数	529	215	1857	2601
		学年区分の%	20.3	8.3	71.4	100.0

**

表9-2. お葬式への出席体験と学年・地域

学年区分				お葬式に行ったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	46	29	235	310
			地域の%	14.8	9.4	75.8	100.0
		関東	度数	123	50	184	357
			地域の%	34.5	14.0	51.5	100.0
	九州	度数	48	18	81	147	
		地域の%	32.7	12.2	55.1	100.0	
	合計		度数	217	97	500	814
			地域の%	26.7	11.9	61.4	100.0
高学年	地域	北海道	度数	51	25	276	352
			地域の%	14.5	7.1	78.4	100.0
		関東	度数	107	41	237	385
			地域の%	27.8	10.6	61.6	100.0
	九州	度数	32	11	108	151	
		地域の%	21.2	7.3	71.5	100.0	
	合計		度数	190	77	621	888
			地域の%	21.4	8.7	69.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	32	22	242	296
			地域の%	10.8	7.4	81.8	100.0
		関東	度数	23	4	131	158
			地域の%	14.6	2.5	82.9	100.0
	九州	度数	67	15	363	445	
		地域の%	15.1	3.4	81.6	100.0	
	合計		度数	122	41	736	899
			地域の%	13.6	4.6	81.9	100.0

**

**

*

表9-3. お葬式への出席体験と学年・性別

学年区分				お葬式に行ったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	120	55	239	414
			性別の%	29.0	13.3	57.7	100.0
		女	度数	93	41	256	390
			性別の%	23.8	10.5	65.6	100.0
		合計		度数	213	96	495
			性別の%	26.5	11.9	61.6	100.0
高学年	性別	男	度数	122	43	312	477
			性別の%	25.6	9.0	65.4	100.0
		女	度数	68	34	309	411
			性別の%	16.5	8.3	75.2	100.0
		合計		度数	190	77	621
			性別の%	21.4	8.7	69.9	100.0
中学生	性別	男	度数	57	26	381	464
			性別の%	12.3	5.6	82.1	100.0
		女	度数	65	14	351	430
			性別の%	15.1	3.3	81.6	100.0
		合計		度数	122	40	732
			性別の%	13.6	4.5	81.9	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表10-1. お墓参りの経験と学年

			お墓参りに行ったことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	111	97	621	829
		学年区分の%	13.4	11.7	74.9	100.0
	高学年	度数	77	45	771	893
		学年区分の%	8.6	5.0	86.3	100.0
	中学生	度数	85	34	782	901
		学年区分の%	9.4	3.8	86.8	100.0
合計		度数	273	176	2174	2623
		学年区分の%	10.4	6.7	82.9	100.0

**

表10-2. お墓参りの経験と学年・地域

学年区分				お墓参りに行ったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	31	34	251	316
			地域の%	9.8	10.8	79.4	100.0
		関東	度数	57	37	269	363
		地域の%	15.7	10.2	74.1	100.0	
	九州	度数	23	26	101	150	
	地域の%	15.3	17.3	67.3	100.0		
	合計		度数	111	97	621	829
			地域の%	13.4	11.7	74.9	100.0
高学年	地域	北海道	度数	18	13	324	355
			地域の%	5.1	3.7	91.3	100.0
		関東	度数	36	22	326	384
		地域の%	9.4	5.7	84.9	100.0	
	九州	度数	23	10	121	154	
	地域の%	14.9	6.5	78.6	100.0		
	合計		度数	77	45	771	893
			地域の%	8.6	5.0	86.3	100.0
中学生	地域	北海道	度数	19	12	266	297
			地域の%	6.4	4.0	89.6	100.0
		関東	度数	11	7	143	161
		地域の%	6.8	4.3	88.8	100.0	
	九州	度数	55	15	373	443	
	地域の%	12.4	3.4	84.2	100.0		
	合計		度数	85	34	782	901
			地域の%	9.4	3.8	86.8	100.0

*

**

表10-3. お墓参りの経験と学年・性別

学年区分				お墓参りに行ったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	63	54	303	420
			性別の%	15.0	12.9	72.1	100.0
		女	度数	46	42	310	398
		性別の%	11.6	10.6	77.9	100.0	
	合計		度数	109	96	613	818
			性別の%	13.3	11.7	74.9	100.0
高学年	性別	男	度数	50	28	404	482
			性別の%	10.4	5.8	83.8	100.0
		女	度数	27	17	367	411
		性別の%	6.6	4.1	89.3	100.0	
	合計		度数	77	45	771	893
			性別の%	8.6	5.0	86.3	100.0
中学生	性別	男	度数	46	21	399	466
			性別の%	9.9	4.5	85.6	100.0
		女	度数	39	12	379	430
		性別の%	9.1	2.8	88.1	100.0	
	合計		度数	85	33	778	896
			性別の%	9.5	3.7	86.8	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表11-1-1. 生物・無生物の識別：人形と学年

			お人形は、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	485	124	239	848
		学年区分の%	57.2	14.6	28.2	100.0
	高学年	度数	556	165	174	895
		学年区分の%	62.1	18.4	19.4	100.0
	中学生	度数	543	183	190	916
		学年区分の%	59.3	20.0	20.7	100.0
合計		度数	1584	472	603	2659
		学年区分の%	59.6	17.8	22.7	100.0

**

表11-1-2. 生物・無生物の識別：人形と学年・地域

学年区分				お人形は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	171	43	110	324
			地域の%	52.8	13.3	34.0	100.0
		関東	度数	235	49	85	369
			地域の%	63.7	13.3	23.0	100.0
	九州	度数	79	32	44	155	
		地域の%	51.0	20.6	28.4	100.0	
	合計		度数	485	124	239	848
			地域の%	57.2	14.6	28.2	100.0
高学年	地域	北海道	度数	232	58	64	354
			地域の%	65.5	16.4	18.1	100.0
		関東	度数	230	75	82	387
			地域の%	59.4	19.4	21.2	100.0
	九州	度数	94	32	28	154	
		地域の%	61.0	20.8	18.2	100.0	
	合計		度数	556	165	174	895
			地域の%	62.1	18.4	19.4	100.0
中学生	地域	北海道	度数	193	55	54	302
			地域の%	63.9	18.2	17.9	100.0
		関東	度数	85	44	36	165
			地域の%	51.5	26.7	21.8	100.0
	九州	度数	265	84	100	449	
		地域の%	59.0	18.7	22.3	100.0	
	合計		度数	543	183	190	916
			地域の%	59.3	20.0	20.7	100.0

**

表11-1-3. 生物・無生物の識別：人形と学年・性別

学年区分				お人形は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	276	57	100	433
			性別の%	63.7	13.2	23.1	100.0
		女	度数	204	67	134	405
		性別の%	50.4	16.5	33.1	100.0	
	合計		度数	480	124	234	838
			性別の%	57.3	14.8	27.9	100.0
高学年	性別	男	度数	343	69	73	485
			性別の%	70.7	14.2	15.1	100.0
		女	度数	213	96	101	410
		性別の%	52.0	23.4	24.6	100.0	
	合計		度数	556	165	174	895
			性別の%	62.1	18.4	19.4	100.0
中学生	性別	男	度数	328	71	76	475
			性別の%	69.1	14.9	16.0	100.0
		女	度数	211	112	113	436
		性別の%	48.4	25.7	25.9	100.0	
	合計		度数	539	183	189	911
			性別の%	59.2	20.1	20.7	100.0

*: p<0.05 ** : p<0.01

表11-2-1. 生物・無生物の識別：庭の木と学年

			庭の木は、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	44	33	774	851
		学年区分の%	5.2	3.9	91.0	100.0
	高学年	度数	30	23	844	897
		学年区分の%	3.3	2.6	94.1	100.0
	中学生	度数	36	44	837	917
		学年区分の%	3.9	4.8	91.3	100.0*
合計	度数	110	100	2455	2665	
	学年区分の%	4.1	3.8	92.1	100.0	

表11-2-2. 生物・無生物の識別：庭の木と学年・地域

学年区分				庭の木は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	13	10	302	325
			地域の%	4.0	3.1	92.9	100.0
		関東	度数	18	18	334	370
		地域の%	4.9	4.9	90.3	100.0	
	九州	度数	13	5	138	156	
		地域の%	8.3	3.2	88.5	100.0	
	合計	度数	44	33	774	851	
地域の%		5.2	3.9	91.0	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	9	11	336	356
			地域の%	2.5	3.1	94.4	100.0
		関東	度数	13	6	369	388
		地域の%	3.4	1.5	95.1	100.0	
	九州	度数	8	6	139	153	
		地域の%	5.2	3.9	90.8	100.0	
	合計	度数	30	23	844	897	
地域の%		3.3	2.6	94.1	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	15	18	270	303
			地域の%	5.0	5.9	89.1	100.0
		関東	度数	3	6	156	165
		地域の%	1.8	3.6	94.5	100.0	
	九州	度数	18	20	411	449	
		地域の%	4.0	4.5	91.5	100.0	
	合計	度数	36	44	837	917	
地域の%		3.9	4.8	91.3	100.0		

表11-2-3. 生物・無生物の識別：庭の木と学年・性別

学年区分				庭の木は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	27	18	389	434
			性別の%	6.2	4.1	89.6	100.0
	女	度数	16	15	375	406	
		性別の%	3.9	3.7	92.4	100.0	
	合計	度数	43	33	764	840	
	性別の%	5.1	3.9	91.0	100.0		
高学年	性別	男	度数	22	8	454	484
			性別の%	4.5	1.7	93.8	100.0
	女	度数	8	15	390	413	
		性別の%	1.9	3.6	94.4	100.0*	
	合計	度数	30	23	844	897	
	性別の%	3.3	2.6	94.1	100.0		
中学生	性別	男	度数	27	29	420	476
			性別の%	5.7	6.1	88.2	100.0
	女	度数	9	15	412	436	
		性別の%	2.1	3.4	94.5	100.0**	
	合計	度数	36	44	832	912	
	性別の%	3.9	4.8	91.2	100.0		

*:p<0.05 **:p<0.01

表11-3-1. 生物・無生物の識別：飛行機と学年

			飛行機は、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	550	125	173	848
		学年区分の%	64.9	14.7	20.4	100.0
	高学年	度数	674	145	78	897
		学年区分の%	75.1	16.2	8.7	100.0
	中学生	度数	665	142	108	915
		学年区分の%	72.7	15.5	11.8	100.0
合計		度数	1889	412	359	2660
		学年区分の%	71.0	15.5	13.5	100.0

**

表11-3-2. 生物・無生物の識別：飛行機と学年・地域

学年区分				飛行機は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	205	32	87	324
			地域の%	63.3	9.9	26.9	100.0
		関東	度数	241	67	60	368
			地域の%	65.5	18.2	16.3	100.0
	九州	度数	104	26	26	156	
		地域の%	66.7	16.7	16.7	100.0	
	合計		度数	550	125	173	848
			地域の%	64.9	14.7	20.4	100.0
高学年	地域	北海道	度数	289	40	27	356
			地域の%	81.2	11.2	7.6	100.0
		関東	度数	282	68	37	387
			地域の%	72.9	17.6	9.6	100.0
	九州	度数	103	37	14	154	
		地域の%	66.9	24.0	9.1	100.0	
	合計		度数	674	145	78	897
			地域の%	75.1	16.2	8.7	100.0
中学生	地域	北海道	度数	238	42	23	303
			地域の%	78.5	13.9	7.6	100.0
		関東	度数	117	26	21	164
			地域の%	71.3	15.9	12.8	100.0
	九州	度数	310	74	64	448	
		地域の%	69.2	16.5	14.3	100.0	
	合計		度数	665	142	108	915
			地域の%	72.7	15.5	11.8	100.0

**

**

*

表11-3-3. 生物・無生物の識別：飛行機と学年・性別

学年区分				飛行機は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	284	49	99	432
			性別の%	65.7	11.3	22.9	100.0
		女	度数	259	75	71	405
		性別の%	64.0	18.5	17.5	100.0	
	合計		度数	543	124	170	837
			性別の%	64.9	14.8	20.3	100.0
高学年	性別	男	度数	391	51	43	485
			性別の%	80.6	10.5	8.9	100.0
		女	度数	283	94	35	412
		性別の%	68.7	22.8	8.5	100.0	
	合計		度数	674	145	78	897
			性別の%	75.1	16.2	8.7	100.0
中学生	性別	男	度数	355	55	63	473
			性別の%	75.1	11.6	13.3	100.0
		女	度数	306	86	45	437
		性別の%	70.0	19.7	10.3	100.0	
	合計		度数	661	141	108	910
			性別の%	72.6	15.5	11.9	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表11-4-1. 生物・無生物の識別：テレビと学年

			テレビは、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	545	101	201	847
		学年区分の%	64.3	11.9	23.7	100.0
	高学年	度数	688	126	83	897
		学年区分の%	76.7	14.0	9.3	100.0
	中学生	度数	663	134	116	913
		学年区分の%	72.6	14.7	12.7	100.0
合計		1896	361	400	2657	
		学年区分の%	71.4	13.6	15.1	100.0

**

表11-4-2. 生物・無生物の識別：テレビと学年・地域

学年区分				テレビは、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	209	30	85	324
			地域の%	64.5	9.3	26.2	100.0
		関東	度数	245	45	78	368
	地域の%		66.6	12.2	21.2	100.0	
	九州	度数	91	26	38	155	
		地域の%	58.7	16.8	24.5	100.0	
合計		度数	545	101	201	847	
		地域の%	64.3	11.9	23.7	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	291	33	32	356
			地域の%	81.7	9.3	9.0	100.0
		関東	度数	292	57	38	387
	地域の%		75.5	14.7	9.8	100.0	
	九州	度数	105	36	13	154	
		地域の%	68.2	23.4	8.4	100.0	
合計		度数	688	126	83	897	
		地域の%	76.7	14.0	9.3	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	236	39	26	301
			地域の%	78.4	13.0	8.6	100.0
		関東	度数	120	20	24	164
	地域の%		73.2	12.2	14.6	100.0	
	九州	度数	307	75	66	448	
		地域の%	68.5	16.7	14.7	100.0	
合計		度数	663	134	116	913	
		地域の%	72.6	14.7	12.7	100.0	

**

*

表11-4-3. 生物・無生物の識別：テレビと学年・性別

学年区分				テレビは、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	289	33	110	432
			性別の%	66.9	7.6	25.5	100.0
		女	度数	250	66	88	404
	性別の%		61.9	16.3	21.8	100.0	
	合計		度数	539	99	198	836
			性別の%	64.5	11.8	23.7	100.0
高学年	性別	男	度数	397	46	42	485
			性別の%	81.9	9.5	8.7	100.0
		女	度数	291	80	41	412
	性別の%		70.6	19.4	10.0	100.0	
	合計		度数	688	126	83	897
			性別の%	76.7	14.0	9.3	100.0
中学生	性別	男	度数	358	51	63	472
			性別の%	75.8	10.8	13.3	100.0
		女	度数	301	83	52	436
	性別の%		69.0	19.0	11.9	100.0	
	合計		度数	659	134	115	908
			性別の%	72.6	14.8	12.7	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表11-5-1. 生物・無生物の識別：かみなりと学年

			かみなりは、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	274	169	363	806
		学年区分の%	34.0	21.0	45.0	100.0
	高学年	度数	431	198	251	880
		学年区分の%	49.0	22.5	28.5	100.0
	中学生	度数	475	194	229	898
		学年区分の%	52.9	21.6	25.5	100.0
合計		度数	1180	561	843	2584
		学年区分の%	45.7	21.7	32.6	100.0

**

表11-5-2. 生物・無生物の識別：かみなりと学年・地域

学年区分				かみなりは、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	108	66	136	310
			地域の%	34.8	21.3	43.9	100.0
		関東	度数	127	72	144	343
		地域の%	37.0	21.0	42.0	100.0	
	九州	度数	39	31	83	153	
	地域の%	25.5	20.3	54.2	100.0		
	合計		度数	274	169	363	806
			地域の%	34.0	21.0	45.0	100.0
高学年	地域	北海道	度数	186	64	95	345
			地域の%	53.9	18.6	27.5	100.0
		関東	度数	181	94	107	382
		地域の%	47.4	24.6	28.0	100.0	
	九州	度数	64	40	49	153	
	地域の%	41.8	26.1	32.0	100.0		
	合計		度数	431	198	251	880
			地域の%	49.0	22.5	28.5	100.0
中学生	地域	北海道	度数	188	67	40	295
			地域の%	63.7	22.7	13.6	100.0
		関東	度数	72	43	46	161
		地域の%	44.7	26.7	28.6	100.0	
	九州	度数	215	84	143	442	
	地域の%	48.6	19.0	32.4	100.0		
	合計		度数	475	194	229	898
			地域の%	52.9	21.6	25.5	100.0

**

表11-5-3. 生物・無生物の識別：かみなりと学年・性別

学年区分				かみなりは、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	155	69	191	415
			性別の%	37.3	16.6	46.0	100.0
		女	度数	114	99	168	381
		性別の%	29.9	26.0	44.1	100.0	
	合計		度数	269	168	359	796
			性別の%	33.8	21.1	45.1	100.0
高学年	性別	男	度数	269	81	124	474
			性別の%	56.8	17.1	26.2	100.0
		女	度数	162	117	127	406
		性別の%	39.9	28.8	31.3	100.0	
	合計		度数	431	198	251	880
			性別の%	49.0	22.5	28.5	100.0
中学生	性別	男	度数	283	75	104	462
			性別の%	61.3	16.2	22.5	100.0
		女	度数	190	118	124	432
		性別の%	44.0	27.3	28.7	100.0	
	合計		度数	473	193	228	894
			性別の%	52.9	21.6	25.5	100.0

**

**

**

*: p<0.05 ** : p<0.01

表11-6-1. 生物・無生物の識別：ポケモンと学年

			ポケモンは、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	274	112	455	841
		学年区分の%	32.6	13.3	54.1	100.0
	高学年	度数	517	161	216	894
		学年区分の%	57.8	18.0	24.2	100.0
	中学生	度数	494	171	248	913
		学年区分の%	54.1	18.7	27.2	100.0**
合計	度数	1285	444	919	2648	
	学年区分の%	48.5	16.8	34.7	100.0	

表11-6-2. 生物・無生物の識別：ポケモンと学年・地域

学年区分				ポケモンは、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	107	40	172	319
		地域 の%	33.5	12.5	53.9	100.0	
		関東	度数	119	47	202	368
	地域 の%	32.3	12.8	54.9	100.0		
	九州	度数	48	25	81	154	
		地域 の%	31.2	16.2	52.6	100.0	
合計		度数	274	112	455	841	
		地域 の%	32.6	13.3	54.1	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	214	59	81	354
		地域 の%	60.5	16.7	22.9	100.0	
		関東	度数	215	69	103	387
	地域 の%	55.6	17.8	26.6	100.0		
	九州	度数	88	33	32	153	
		地域 の%	57.5	21.6	20.9	100.0	
合計		度数	517	161	216	894	
		地域 の%	57.8	18.0	24.2	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	174	46	84	304
		地域 の%	57.2	15.1	27.6	100.0	
		関東	度数	84	39	40	163
	地域 の%	51.5	23.9	24.5	100.0		
	九州	度数	236	86	124	446	
		地域 の%	52.9	19.3	27.8	100.0	
合計		度数	494	171	248	913	
		地域 の%	54.1	18.7	27.2	100.0	

表11-6-3. 生物・無生物の識別：ポケモンと学年・性別

学年区分				ポケモンは、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	119	44	266	429
			性別 の%	27.7	10.3	62.0	100.0
		女	度数	152	68	182	402
	性別 の%		37.8	16.9	45.3	100.0**	
	合計		度数	271	112	448	831
			性別 の%	32.6	13.5	53.9	100.0
高学年	性別	男	度数	277	69	137	483
			性別 の%	57.3	14.3	28.4	100.0
		女	度数	240	92	79	411
	性別 の%		58.4	22.4	19.2	100.0**	
	合計		度数	517	161	216	894
			性別 の%	57.8	18.0	24.2	100.0
中学生	性別	男	度数	256	69	148	473
			性別 の%	54.1	14.6	31.3	100.0
		女	度数	234	102	100	436
	性別 の%		53.7	23.4	22.9	100.0**	
	合計		度数	490	171	248	909
			性別 の%	53.9	18.8	27.3	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表11-7-1. 生物・無生物の識別：犬と学年

			犬は、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	20	10	818	848
		学年区分の%	2.4	1.2	96.5	100.0
	高学年	度数	5	3	891	899
		学年区分の%	0.6	0.3	99.1	100.0
	中学生	度数	12	7	900	919
		学年区分の%	1.3	0.8	97.9	100.0*
合計	度数	37	20	2609	2666	
	学年区分の%	1.4	0.8	97.9	100.0	

表11-7-2. 生物・無生物の識別：犬と学年・地域

学年区分				犬は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	9	4	312	325
			地域の%	2.8	1.2	96.0	100.0
		関東	度数	9	4	353	366
			地域の%	2.5	1.1	96.4	100.0
	九州	度数	2	2	153	157	
		地域の%	1.3	1.3	97.5	100.0	
	合計		度数	20	10	818	848
			地域の%	2.4	1.2	96.5	100.0
高学年	地域	北海道	度数	1		355	356
			地域の%	0.3		99.7	100.0
		関東	度数	4	2	382	388
			地域の%	1.0	0.5	98.5	100.0
	九州	度数		1	154	155	
		地域の%		0.6	99.4	100.0	
	合計		度数	5	3	891	899
			地域の%	0.6	0.3	99.1	100.0
中学生	地域	北海道	度数	7	3	295	305
			地域の%	2.3	1.0	96.7	100.0
		関東	度数	2	2	162	166
			地域の%	1.2	1.2	97.6	100.0
	九州	度数	3	2	443	448	
		地域の%	0.7	0.4	98.9	100.0	
	合計		度数	12	7	900	919
			地域の%	1.3	0.8	97.9	100.0

表11-7-3. 生物・無生物の識別：犬と学年・性別

学年区分				犬は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	12	4	416	432
			性別の%	2.8	0.9	96.3	100.0
		女	度数	8	6	391	405
			性別の%	2.0	1.5	96.5	100.0
		合計		度数	20	10	807
			性別の%	2.4	1.2	96.4	100.0
高学年	性別	男	度数	2	1	482	485
			性別の%	0.4	0.2	99.4	100.0
		女	度数	3	2	409	414
			性別の%	0.7	0.5	98.8	100.0
		合計		度数	5	3	891
			性別の%	0.6	0.3	99.1	100.0
中学生	性別	男	度数	9	4	463	476
			性別の%	1.9	0.8	97.3	100.0
		女	度数	3	3	432	438
			性別の%	0.7	0.7	98.6	100.0
		合計		度数	12	7	895
			性別の%	1.3	0.8	97.9	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表11-8-1. 生物・無生物の識別：人と学年

			人は、生きていますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	11	4	830	845
		学年区分の%	1.3	0.5	98.2	100.0
	高学年	度数	3	1	893	897
		学年区分の%	0.3	0.1	99.6	100.0
	中学生	度数	20	8	890	918
		学年区分の%	2.2	0.9	96.9	100.0
合計		度数	34	13	2613	2660
		学年区分の%	1.3	0.5	98.2	100.0

**

表11-8-2. 生物・無生物の識別：人と学年・地域

学年区分				人は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	5	2	316	323
			地域の%	1.5	0.6	97.8	100.0
		関東	度数	5	2	362	369
	地域の%		1.4	0.5	98.1	100.0	
	九州	度数	1		152	153	
		地域の%	0.7		99.3	100.0	
合計		度数	11	4	830	845	
		地域の%	1.3	0.5	98.2	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	2	1	353	356
			地域の%	0.6	0.3	99.2	100.0
		関東	度数	1		386	387
	地域の%		0.3		99.7	100.0	
	九州	度数			154	154	
		地域の%			100.0	100.0	
合計		度数	3	1	893	897	
		地域の%	0.3	0.1	99.6	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	7	3	295	305
			地域の%	2.3	1.0	96.7	100.0
		関東	度数	2	2	162	166
	地域の%		1.2	1.2	97.6	100.0	
	九州	度数	11	3	433	447	
		地域の%	2.5	0.7	96.9	100.0	
合計		度数	20	8	890	918	
		地域の%	2.2	0.9	96.9	100.0	

表11-8-3. 生物・無生物の識別：人と学年・性別

学年区分				人は、生きていますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	5	2	424	431
			性別の%	1.2	0.5	98.4	100.0
		女	度数	5	2	396	403
	性別の%		1.2	0.5	98.3	100.0	
	合計		度数	10	4	820	834
			性別の%	1.2	0.5	98.3	100.0
高学年	性別	男	度数	1	1	481	483
			性別の%	0.2	0.2	99.6	100.0
		女	度数	2		412	414
	性別の%		0.5		99.5	100.0	
	合計		度数	3	1	893	897
			性別の%	0.3	0.1	99.6	100.0
中学生	性別	男	度数	15	4	457	476
			性別の%	3.2	0.8	96.0	100.0
		女	度数	5	4	428	437
	性別の%		1.1	0.9	97.9	100.0	
	合計		度数	20	8	885	913
			性別の%	2.2	0.9	96.9	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表12-1-1. 不動性：動きと学年

			死んだ人は、動けますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	667	86	89	842
		学年区分の%	79.2	10.2	10.6	100.0
	高学年	度数	711	124	62	897
		学年区分の%	79.3	13.8	6.9	100.0
	中学生	度数	684	145	84	913
		学年区分の%	74.9	15.9	9.2	100.0
合計		度数	2062	355	235	2652
		学年区分の%	77.8	13.4	8.9	100.0

**

表12-1-2. 不動性：動きと学年・地域

学年区分				死んだ人は、動けますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	245	41	36	322
			地域の%	76.1	12.7	11.2	100.0
		関東	度数	297	30	40	367
			地域の%	80.9	8.2	10.9	100.0
	九州	度数	125	15	13	153	
		地域の%	81.7	9.8	8.5	100.0	
	合計		度数	667	86	89	842
			地域の%	79.2	10.2	10.6	100.0
高学年	地域	北海道	度数	280	45	30	355
			地域の%	78.9	12.7	8.5	100.0
		関東	度数	309	53	25	387
			地域の%	79.8	13.7	6.5	100.0
	九州	度数	122	26	7	155	
		地域の%	78.7	16.8	4.5	100.0	
	合計		度数	711	124	62	897
			地域の%	79.3	13.8	6.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	236	43	23	302
			地域の%	78.1	14.2	7.6	100.0
		関東	度数	123	28	14	165
			地域の%	74.5	17.0	8.5	100.0
	九州	度数	325	74	47	446	
		地域の%	72.9	16.6	10.5	100.0	
	合計		度数	684	145	84	913
			地域の%	74.9	15.9	9.2	100.0

表12-1-3. 不動性：動きと学年・性別

学年区分				死んだ人は、動けますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	348	33	47	428
			性別の%	81.3	7.7	11.0	100.0
		女	度数	312	53	38	403
			性別の%	77.4	13.2	9.4	100.0
		合計		度数	660	86	85
			性別の%	79.4	10.3	10.2	100.0
高学年	性別	男	度数	410	44	31	485
			性別の%	84.5	9.1	6.4	100.0
		女	度数	301	80	31	412
			性別の%	73.1	19.4	7.5	100.0
		合計		度数	711	124	62
			性別の%	79.3	13.8	6.9	100.0
中学生	性別	男	度数	361	66	46	473
			性別の%	76.3	14.0	9.7	100.0
		女	度数	318	79	38	435
			性別の%	73.1	18.2	8.7	100.0
		合計		度数	679	145	84
			性別の%	74.8	16.0	9.3	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表12-2-1. 不動性：痛みと学年

			死んだ人は、手を切ると痛いですか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	545	179	116	840
		学年区分の%	64.9	21.3	13.8	100.0
	高学年	度数	574	232	89	895
		学年区分の%	64.1	25.9	9.9	100.0
	中学生	度数	540	277	98	915
		学年区分の%	59.0	30.3	10.7	100.0
合計		度数	1659	688	303	2650
		学年区分の%	62.6	26.0	11.4	100.0

**

表12-2-2. 不動性：痛みと学年・地域

学年区分				死んだ人は、手を切ると痛いですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	202	80	42	324
			地域の%	62.3	24.7	13.0	100.0
		関東	度数	251	66	46	363
			地域の%	69.1	18.2	12.7	100.0
	九州	度数	92	33	28	153	
		地域の%	60.1	21.6	18.3	100.0	
	合計		度数	545	179	116	840
			地域の%	64.9	21.3	13.8	100.0
高学年	地域	北海道	度数	221	92	42	355
			地域の%	62.3	25.9	11.8	100.0
		関東	度数	247	106	33	386
			地域の%	64.0	27.5	8.5	100.0
	九州	度数	106	34	14	154	
		地域の%	68.8	22.1	9.1	100.0	
	合計		度数	574	232	89	895
			地域の%	64.1	25.9	9.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	185	81	36	302
			地域の%	61.3	26.8	11.9	100.0
		関東	度数	88	62	16	166
			地域の%	53.0	37.3	9.6	100.0
	九州	度数	267	134	46	447	
		地域の%	59.7	30.0	10.3	100.0	
	合計		度数	540	277	98	915
			地域の%	59.0	30.3	10.7	100.0

表12-2-3. 不動性：痛みと学年・性別

学年区分				死んだ人は、手を切ると痛いですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	287	69	72	428
			性別の%	67.1	16.1	16.8	100.0
	女	度数	253	109	39	401	
		性別の%	63.1	27.2	9.7	100.0	
	合計		度数	540	178	111	829
			性別の%	65.1	21.5	13.4	100.0
高学年	性別	男	度数	324	115	45	484
			性別の%	66.9	23.8	9.3	100.0
	女	度数	250	117	44	411	
		性別の%	60.8	28.5	10.7	100.0	
	合計		度数	574	232	89	895
			性別の%	64.1	25.9	9.9	100.0
中学生	性別	男	度数	275	148	52	475
			性別の%	57.9	31.2	10.9	100.0
	女	度数	260	129	46	435	
		性別の%	59.8	29.7	10.6	100.0	
	合計		度数	535	277	98	910
			性別の%	58.8	30.4	10.8	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表12-3-1. 不動性：空腹と学年

			死んだ人は、おなかがすきますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	555	146	142	843
		学年区分の%	65.8	17.3	16.8	100.0
	高学年	度数	594	215	87	896
		学年区分の%	66.3	24.0	9.7	100.0
	中学生	度数	527	272	115	914
		学年区分の%	57.7	29.8	12.6	100.0
合計		度数	1676	633	344	2653
		学年区分の%	63.2	23.9	13.0	100.0

**

表12-3-2. 不動性：空腹と学年・地域

学年区分				死んだ人は、おなかがすきますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	202	60	60	322
			地域の%	62.7	18.6	18.6	100.0
		関東	度数	265	51	50	366
			地域の%	72.4	13.9	13.7	100.0
	九州	度数	88	35	32	155	
地域の%		56.8	22.6	20.6	100.0		
合計		度数	555	146	142	843	
		地域の%	65.8	17.3	16.8	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	233	78	45	356
			地域の%	65.4	21.9	12.6	100.0
		関東	度数	256	103	27	386
			地域の%	66.3	26.7	7.0	100.0
	九州	度数	105	34	15	154	
地域の%		68.2	22.1	9.7	100.0		
合計		度数	594	215	87	896	
		地域の%	66.3	24.0	9.7	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	179	84	40	303
			地域の%	59.1	27.7	13.2	100.0
		関東	度数	92	58	17	167
			地域の%	55.1	34.7	10.2	100.0
	九州	度数	256	130	58	444	
地域の%		57.7	29.3	13.1	100.0		
合計		度数	527	272	115	914	
		地域の%	57.7	29.8	12.6	100.0	

**

表12-3-3. 不動性：空腹と学年・性別

学年区分				死んだ人は、おなかがすきますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	280	62	85	427
			性別の%	65.6	14.5	19.9	100.0
	合計		度数	547	145	140	832
			性別の%	65.7	17.4	16.8	100.0
高学年	性別	男	度数	330	110	44	484
			性別の%	68.2	22.7	9.1	100.0
	合計		度数	594	215	87	896
			性別の%	66.3	24.0	9.7	100.0
中学生	性別	男	度数	263	150	61	474
			性別の%	55.5	31.6	12.9	100.0
	合計		度数	522	272	115	909
			性別の%	57.4	29.9	12.7	100.0

**

*:p<0.05 **:p<0.01

表12-4-1. 不動性：聞くと学年

			死んだ人は、お坊さんのお経や、神父様のお祈りを、聞くことができますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	272	225	351	848
		学年区分の%	32.1	26.5	41.4	100.0
	高学年	度数	304	270	316	890
		学年区分の%	34.2	30.3	35.5	100.0
	中学生	度数	287	316	308	911
		学年区分の%	31.5	34.7	33.8	100.0
合計		度数	863	811	975	2649
		学年区分の%	32.6	30.6	36.8	100.0

表12-4-2. 不動性：聞くと学年・地域

学年区分				死んだ人は、お坊さんのお経や、神父様のお祈りを、聞くことができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	84	84	155	323
			地域の%	26.0	26.0	48.0	100.0
		関東	度数	139	95	135	369
			地域の%	37.7	25.7	36.6	100.0
		九州	度数	49	46	61	156
		地域の%	31.4	29.5	39.1	100.0	
	合計		度数	272	225	351	848
			地域の%	32.1	26.5	41.4	100.0
高学年	地域	北海道	度数	118	93	145	356
			地域の%	33.1	26.1	40.7	100.0
		関東	度数	120	135	127	382
			地域の%	31.4	35.3	33.2	100.0
		九州	度数	66	42	44	152
		地域の%	43.4	27.6	28.9	100.0	
	合計		度数	304	270	316	890
			地域の%	34.2	30.3	35.5	100.0
中学生	地域	北海道	度数	100	101	100	301
			地域の%	33.2	33.6	33.2	100.0
		関東	度数	60	57	48	165
			地域の%	36.4	34.5	29.1	100.0
		九州	度数	127	158	160	445
		地域の%	28.5	35.5	36.0	100.0	
	合計		度数	287	316	308	911
			地域の%	31.5	34.7	33.8	100.0

表12-4-3. 不動性：聞くと学年・性別

学年区分				死んだ人は、お坊さんのお経や、神父様のお祈りを、聞くことができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	143	110	178	431
			性別の%	33.2	25.5	41.3	100.0
		女	度数	124	114	169	407
		性別の%	30.5	28.0	41.5	100.0	
	合計		度数	267	224	347	838
			性別の%	31.9	26.7	41.4	100.0
高学年	性別	男	度数	188	133	161	482
			性別の%	39.0	27.6	33.4	100.0
		女	度数	116	137	155	408
		性別の%	28.4	33.6	38.0	100.0	
	合計		度数	304	270	316	890
			性別の%	34.2	30.3	35.5	100.0
中学生	性別	男	度数	161	172	139	472
			性別の%	34.1	36.4	29.4	100.0
		女	度数	123	144	167	434
		性別の%	28.3	33.2	38.5	100.0	
	合計		度数	284	316	306	906
			性別の%	31.3	34.9	33.8	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表12-5-1. 不動性：見ると学年

			死んだ人は、目をあけていれば、いろいろなものを見ることができますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	607	126	115	848
		学年区分の%	71.6	14.9	13.6	100.0
	高学年	度数	643	189	62	894
		学年区分の%	71.9	21.1	6.9	100.0
	中学生	度数	529	293	92	914
		学年区分の%	57.9	32.1	10.1	100.0
合計	度数	1779	608	269	2656	
	学年区分の%	67.0	22.9	10.1	100.0	

**

表12-5-2. 不動性：見ると学年・地域

学年区分				死んだ人は、目をあけていれば、いろいろなものを見ることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	219	52	54	325
			地域の%	67.4	16.0	16.6	100.0
		関東	度数	279	47	42	368
			地域の%	75.8	12.8	11.4	100.0
	九州	度数	109	27	19	155	
		地域の%	70.3	17.4	12.3	100.0	
	合計	度数	607	126	115	848	
		地域の%	71.6	14.9	13.6	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	249	78	29	356
			地域の%	69.9	21.9	8.1	100.0
		関東	度数	276	80	28	384
			地域の%	71.9	20.8	7.3	100.0
	九州	度数	118	31	5	154	
		地域の%	76.6	20.1	3.2	100.0	
	合計	度数	643	189	62	894	
		地域の%	71.9	21.1	6.9	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	185	86	31	302
			地域の%	61.3	28.5	10.3	100.0
		関東	度数	92	64	10	166
			地域の%	55.4	38.6	6.0	100.0
	九州	度数	252	143	51	446	
		地域の%	56.5	32.1	11.4	100.0	
	合計	度数	529	293	92	914	
		地域の%	57.9	32.1	10.1	100.0	

表12-5-3. 不動性：見ると学年・性別

学年区分				死んだ人は、目をあけていれば、いろいろなものを見ることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	320	53	59	432
			性別の%	74.1	12.3	13.7	100.0
	女	度数	280	73	52	405	
		性別の%	69.1	18.0	12.8	100.0	
	合計	度数	600	126	111	837	
		性別の%	71.7	15.1	13.3	100.0	
高学年	性別	男	度数	362	94	27	483
			性別の%	74.9	19.5	5.6	100.0
	女	度数	281	95	35	411	
		性別の%	68.4	23.1	8.5	100.0	
	合計	度数	643	189	62	894	
		性別の%	71.9	21.1	6.9	100.0	
中学生	性別	男	度数	280	153	42	475
			性別の%	58.9	32.2	8.8	100.0
	女	度数	244	140	50	434	
		性別の%	56.2	32.3	11.5	100.0	
	合計	度数	524	293	92	909	
		性別の%	57.6	32.2	10.1	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表13-1-1. 不可逆性：生き返る（眠る）と学年

			死ぬことは眠ることと同じで、目がさめればまた生き返ることができますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	696	109	42	847
		学年区分の%	82.2	12.9	5.0	100.0
	高学年	度数	709	129	58	896
		学年区分の%	79.1	14.4	6.5	100.0
	中学生	度数	603	208	104	915
		学年区分の%	65.9	22.7	11.4	100.0
合計	度数	2008	446	204	2658	
	学年区分の%	75.5	16.8	7.7	100.0	

**

表13-1-2. 不可逆性：生き返る（眠る）と学年・地域

学年区分				死ぬことは眠ることと同じで、目がさめればまた生き返ることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	264	43	16	323
			地域の%	81.7	13.3	5.0	100.0
		関東	度数	311	46	12	369
		地域の%	84.3	12.5	3.3	100.0	
		九州	度数	121	20	14	155
		地域の%	78.1	12.9	9.0	100.0	
	合計	度数	696	109	42	847	
		地域の%	82.2	12.9	5.0	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	283	51	22	356
			地域の%	79.5	14.3	6.2	100.0
		関東	度数	305	53	28	386
		地域の%	79.0	13.7	7.3	100.0	
		九州	度数	121	25	8	154
		地域の%	78.6	16.2	5.2	100.0	
	合計	度数	709	129	58	896	
		地域の%	79.1	14.4	6.5	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	207	59	36	302
			地域の%	68.5	19.5	11.9	100.0
		関東	度数	112	39	14	165
		地域の%	67.9	23.6	8.5	100.0	
		九州	度数	284	110	54	448
		地域の%	63.4	24.6	12.1	100.0	
	合計	度数	603	208	104	915	
		地域の%	65.9	22.7	11.4	100.0	

表13-1-3. 不可逆性：生き返る（眠る）と学年・性別

学年区分				死ぬことは眠ることと同じで、目がさめればまた生き返ることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	365	41	23	429
			性別の%	85.1	9.6	5.4	100.0
		女	度数	321	68	18	407
		性別の%	78.9	16.7	4.4	100.0	
		合計	度数	686	109	41	836
			性別の%	82.1	13.0	4.9	100.0
高学年	性別	男	度数	392	59	33	484
			性別の%	81.0	12.2	6.8	100.0
		女	度数	317	70	25	412
		性別の%	76.9	17.0	6.1	100.0	
		合計	度数	709	129	58	896
			性別の%	79.1	14.4	6.5	100.0
中学生	性別	男	度数	314	103	59	476
			性別の%	66.0	21.6	12.4	100.0
		女	度数	284	105	45	434
		性別の%	65.4	24.2	10.4	100.0	
		合計	度数	598	208	104	910
			性別の%	65.7	22.9	11.4	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表13-2-1. 不可逆性：ひとりぼっちと学年

			死ぬことは、ひとりぼっちになってしまうことですか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	399	184	250	833
		学年区分の%	47.9	22.1	30.0	100.0
	高学年	度数	490	242	163	895
		学年区分の%	54.7	27.0	18.2	100.0
	中学生	度数	480	276	157	913
		学年区分の%	52.6	30.2	17.2	100.0
合計		度数	1369	702	570	2641
		学年区分の%	51.8	26.6	21.6	100.0

**

表13-2-2. 不可逆性：ひとりぼっちと学年・地域

学年区分				死ぬことは、ひとりぼっちになってしまうことですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	161	64	94	319
			地域の%	50.5	20.1	29.5	100.0
		関東	度数	177	80	104	361
			地域の%	49.0	22.2	28.8	100.0
	九州	度数	61	40	52	153	
地域の%		39.9	26.1	34.0	100.0		
	合計	度数	399	184	250	833	
		地域の%	47.9	22.1	30.0	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	192	102	60	354
			地域の%	54.2	28.8	16.9	100.0
		関東	度数	220	96	72	388
			地域の%	56.7	24.7	18.6	100.0
	九州	度数	78	44	31	153	
地域の%		51.0	28.8	20.3	100.0		
	合計	度数	490	242	163	895	
		地域の%	54.7	27.0	18.2	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	141	97	64	302
			地域の%	46.7	32.1	21.2	100.0
		関東	度数	82	59	24	165
			地域の%	49.7	35.8	14.5	100.0
	九州	度数	257	120	69	446	
地域の%		57.6	26.9	15.5	100.0		
	合計	度数	480	276	157	913	
		地域の%	52.6	30.2	17.2	100.0	

*

表13-2-3. 不可逆性：ひとりぼっちと学年・性別

学年区分				死ぬことは、ひとりぼっちになってしまうことですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	190	88	148	426
			性別の%	44.6	20.7	34.7	100.0
		女	度数	205	96	95	396
			性別の%	51.8	24.2	24.0	100.0
	合計	度数	395	184	243	822	
		性別の%	48.1	22.4	29.6	100.0	
高学年	性別	男	度数	250	125	108	483
			性別の%	51.8	25.9	22.4	100.0
		女	度数	240	117	55	412
			性別の%	58.3	28.4	13.3	100.0
	合計	度数	490	242	163	895	
		性別の%	54.7	27.0	18.2	100.0	
中学生	性別	男	度数	222	161	89	472
			性別の%	47.0	34.1	18.9	100.0
		女	度数	256	112	68	436
			性別の%	58.7	25.7	15.6	100.0
	合計	度数	478	273	157	908	
		性別の%	52.6	30.1	17.3	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表13-3-1. 不可逆性：生き返る（病院）と学年

			死んだ人は、病院でお医者さんにみても らうと、また生き返ることができますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	705	94	43	842
		学年区分の%	83.7	11.2	5.1	100.0
	高学年	度数	751	118	28	897
		学年区分の%	83.7	13.2	3.1	100.0
	中学生	度数	707	166	41	914
		学年区分の%	77.4	18.2	4.5	100.0
合計	度数	2163	378	112	2653	
	学年区分の%	81.5	14.2	4.2	100.0	

**

表13-3-2. 不可逆性：生き返る（病院）と学年・地域

学年区分				死んだ人は、病院でお医者さんにみても らうと、また生き返ることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	277	29	18	324
			地域の%	85.5	9.0	5.6	100.0
		関東	度数	307	40	17	364
		地域の%	84.3	11.0	4.7	100.0	
	九州	度数	121	25	8	154	
	地域の%	78.6	16.2	5.2	100.0		
	合計	度数	705	94	43	842	
		地域の%	83.7	11.2	5.1	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	299	43	14	356
			地域の%	84.0	12.1	3.9	100.0
		関東	度数	322	52	13	387
		地域の%	83.2	13.4	3.4	100.0	
	九州	度数	130	23	1	154	
	地域の%	84.4	14.9	0.6	100.0		
	合計	度数	751	118	28	897	
		地域の%	83.7	13.2	3.1	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	240	48	15	303
			地域の%	79.2	15.8	5.0	100.0
		関東	度数	131	34	1	166
		地域の%	78.9	20.5	0.6	100.0	
	九州	度数	336	84	25	445	
	地域の%	75.5	18.9	5.6	100.0		
	合計	度数	707	166	41	914	
		地域の%	77.4	18.2	4.5	100.0	

表13-3-3. 不可逆性：生き返る（病院）と学年・性別

学年区分				死んだ人は、病院でお医者さんにみても らうと、また生き返ることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	350	48	30	428
			性別の%	81.8	11.2	7.0	100.0
	女	度数	346	45	12	403	
		性別の%	85.9	11.2	3.0	100.0	
	合計	度数	696	93	42	831	
		性別の%	83.8	11.2	5.1	100.0	
高学年	性別	男	度数	412	56	17	485
			性別の%	84.9	11.5	3.5	100.0
	女	度数	339	62	11	412	
		性別の%	82.3	15.0	2.7	100.0	
	合計	度数	751	118	28	897	
		性別の%	83.7	13.2	3.1	100.0	
中学生	性別	男	度数	349	94	29	472
			性別の%	73.9	19.9	6.1	100.0
	女	度数	354	71	12	437	
		性別の%	81.0	16.2	2.7	100.0	
	合計	度数	703	165	41	909	
		性別の%	77.3	18.2	4.5	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表13-4-1. 不可逆性：生き返る（方法）と学年

			死んだ人を生き返らせることはできますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	691	106	47	844
		学年区分の%	81.9	12.6	5.6	100.0
	高学年	度数	698	154	44	896
		学年区分の%	77.9	17.2	4.9	100.0
	中学生	度数	612	184	117	913
		学年区分の%	67.0	20.2	12.8	100.0
合計		度数	2001	444	208	2653
		学年区分の%	75.4	16.7	7.8	100.0

**

表13-4-2. 不可逆性：生き返る（方法）と学年・地域

学年区分				死んだ人を生き返らせることはできますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	263	42	18	323
			地域の%	81.4	13.0	5.6	100.0
		関東	度数	312	38	19	369
		地域の%	84.6	10.3	5.1	100.0	
	九州	度数	116	26	10	152	
	地域の%	76.3	17.1	6.6	100.0		
	合計		度数	691	106	47	844
			地域の%	81.9	12.6	5.6	100.0
高学年	地域	北海道	度数	276	58	21	355
			地域の%	77.7	16.3	5.9	100.0
		関東	度数	306	68	14	388
		地域の%	78.9	17.5	3.6	100.0	
	九州	度数	116	28	9	153	
	地域の%	75.8	18.3	5.9	100.0		
	合計		度数	698	154	44	896
			地域の%	77.9	17.2	4.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	205	50	47	302
			地域の%	67.9	16.6	15.6	100.0
		関東	度数	107	41	16	164
		地域の%	65.2	25.0	9.8	100.0	
	九州	度数	300	93	54	447	
	地域の%	67.1	20.8	12.1	100.0		
	合計		度数	612	184	117	913
			地域の%	67.0	20.2	12.8	100.0

表13-4-3. 不可逆性：生き返る（方法）と学年・性別

学年区分				死んだ人を生き返らせることはできますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	355	40	30	425
			性別の%	83.5	9.4	7.1	100.0
	女	度数	328	64	16	408	
		性別の%	80.4	15.7	3.9	100.0	
	合計		度数	683	104	46	833
			性別の%	82.0	12.5	5.5	100.0
高学年	性別	男	度数	384	70	31	485
			性別の%	79.2	14.4	6.4	100.0
	女	度数	314	84	13	411	
		性別の%	76.4	20.4	3.2	100.0	
	合計		度数	698	154	44	896
			性別の%	77.9	17.2	4.9	100.0
中学生	性別	男	度数	309	92	72	473
			性別の%	65.3	19.5	15.2	100.0
	女	度数	299	91	45	435	
		性別の%	68.7	20.9	10.3	100.0	
	合計		度数	608	183	117	908
			性別の%	67.0	20.2	12.9	100.0

*: p<0.05 ** : p<0.01

表13-5-1. 不可逆性：生き返る（不可能）と学年

			死んだ人は決して生き返らないですか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	211	139	488	838
		学年区分の%	25.2	16.6	58.2	100.0
	高学年	度数	163	258	468	889
		学年区分の%	18.3	29.0	52.6	100.0
	中学生	度数	202	270	436	908
		学年区分の%	22.2	29.7	48.0	100.0
合計		度数	576	667	1392	2635
		学年区分の%	21.9	25.3	52.8	100.0

**

表13-5-2. 不可逆性：生き返る（不可能）と学年・地域

学年区分				死んだ人は決して生き返らないですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	77	59	186	322
			地域の%	23.9	18.3	57.8	100.0
		関東	度数	93	51	221	365
		地域の%	25.5	14.0	60.5	100.0	
		九州	度数	41	29	81	151
		地域の%	27.2	19.2	53.6	100.0	
	合計		度数	211	139	488	838
			地域の%	25.2	16.6	58.2	100.0
高学年	地域	北海道	度数	72	99	182	353
			地域の%	20.4	28.0	51.6	100.0
		関東	度数	60	117	208	385
		地域の%	15.6	30.4	54.0	100.0	
		九州	度数	31	42	78	151
		地域の%	20.5	27.8	51.7	100.0	
	合計		度数	163	258	468	889
			地域の%	18.3	29.0	52.6	100.0
中学生	地域	北海道	度数	71	81	149	301
			地域の%	23.6	26.9	49.5	100.0
		関東	度数	32	52	78	162
		地域の%	19.8	32.1	48.1	100.0	
		九州	度数	99	137	209	445
		地域の%	22.2	30.8	47.0	100.0	
	合計		度数	202	270	436	908
			地域の%	22.2	29.7	48.0	100.0

表13-5-3. 不可逆性：生き返る（不可能）と学年・性別

学年区分				死んだ人は決して生き返らないですか			合計	
				いいえ	わからない	はい		
低学年	性別	男	度数	108	54	261	423	
			性別の%	25.5	12.8	61.7	100.0	
		女	度数	99	82	223	404	
		性別の%	24.5	20.3	55.2	100.0		
		合計		度数	207	136	484	827
				性別の%	25.0	16.4	58.5	100.0
高学年	性別	男	度数	90	113	277	480	
			性別の%	18.8	23.5	57.7	100.0	
		女	度数	73	145	191	409	
		性別の%	17.8	35.5	46.7	100.0		
		合計		度数	163	258	468	889
				性別の%	18.3	29.0	52.6	100.0
中学生	性別	男	度数	97	136	236	469	
			性別の%	20.7	29.0	50.3	100.0	
		女	度数	105	132	198	435	
		性別の%	24.1	30.3	45.5	100.0		
		合計		度数	202	268	434	904
				性別の%	22.3	29.6	48.0	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表14-1-1. 普遍性：死ぬ人と死なない人と学年

			人間には、死ぬ人と死なない人がいますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	599	139	103	841
		学年区分の%	71.2	16.5	12.2	100.0
	高学年	度数	767	83	43	893
		学年区分の%	85.9	9.3	4.8	100.0
	中学生	度数	721	110	77	908
		学年区分の%	79.4	12.1	8.5	100.0
合計		度数	2087	332	223	2642
		学年区分の%	79.0	12.6	8.4	100.0

**

表14-1-2. 普遍性：死ぬ人と死なない人と学年・地域

学年区分				人間には、死ぬ人と死なない人がいますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	225	51	48	324
			地域の%	69.4	15.7	14.8	100.0
		関東	度数	275	54	37	366
		地域の%	75.1	14.8	10.1	100.0	
	九州	度数	99	34	18	151	
		地域の%	65.6	22.5	11.9	100.0	
	合計		度数	599	139	103	841
			地域の%	71.2	16.5	12.2	100.0
高学年	地域	北海道	度数	301	33	22	356
			地域の%	84.6	9.3	6.2	100.0
		関東	度数	337	33	13	383
		地域の%	88.0	8.6	3.4	100.0	
	九州	度数	129	17	8	154	
		地域の%	83.8	11.0	5.2	100.0	
	合計		度数	767	83	43	893
			地域の%	85.9	9.3	4.8	100.0
中学生	地域	北海道	度数	233	40	25	298
			地域の%	78.2	13.4	8.4	100.0
		関東	度数	136	20	9	165
		地域の%	82.4	12.1	5.5	100.0	
	九州	度数	352	50	43	445	
		地域の%	79.1	11.2	9.7	100.0	
	合計		度数	721	110	77	908
			地域の%	79.4	12.1	8.5	100.0

表14-1-3. 普遍性：死ぬ人と死なない人と学年・性別

学年区分				人間には、死ぬ人と死なない人がいますか			合計	
				いいえ	わからない	はい		
低学年	性別	男	度数	315	65	48	428	
			性別の%	73.6	15.2	11.2	100.0	
		女	度数	274	73	55	402	
		性別の%	68.2	18.2	13.7	100.0		
		合計		度数	589	138	103	830
				性別の%	71.0	16.6	12.4	100.0
高学年	性別	男	度数	422	33	27	482	
			性別の%	87.6	6.8	5.6	100.0	
		女	度数	345	50	16	411	
		性別の%	83.9	12.2	3.9	100.0		
		合計		度数	767	83	43	893
				性別の%	85.9	9.3	4.8	100.0
中学生	性別	男	度数	356	60	54	470	
			性別の%	75.7	12.8	11.5	100.0	
		女	度数	361	49	23	433	
		性別の%	83.4	11.3	5.3	100.0		
		合計		度数	717	109	77	903
				性別の%	79.4	12.1	8.5	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表14-2-1. 普遍性：父母・病氣・事故と学年

			お父さんお母さんは、病氣や事故にあわなければ、ずっと生きていきますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	398	248	200	846
		学年区分の%	47.0	29.3	23.6	100.0
	高学年	度数	609	176	104	889
		学年区分の%	68.5	19.8	11.7	100.0
	中学生	度数	677	133	104	914
		学年区分の%	74.1	14.6	11.4	100.0
合計		1684	557	408	2649	
		学年区分の%	63.6	21.0	15.4	100.0

**

表14-2-2. 普遍性：父母・病氣・事故と学年・地域

学年区分				お父さんお母さんは、病氣や事故にあわなければ、ずっと生きていきますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	142	107	73	322
			地域の%	44.1	33.2	22.7	100.0
		関東	度数	188	89	91	368
		地域の%	51.1	24.2	24.7	100.0	
		九州	度数	68	52	36	156
		地域の%	43.6	33.3	23.1	100.0	
	合計		度数	398	248	200	846
			地域の%	47.0	29.3	23.6	100.0
高学年	地域	北海道	度数	243	68	43	354
			地域の%	68.6	19.2	12.1	100.0
		関東	度数	262	77	45	384
		地域の%	68.2	20.1	11.7	100.0	
		九州	度数	104	31	16	151
		地域の%	68.9	20.5	10.6	100.0	
	合計		度数	609	176	104	889
			地域の%	68.5	19.8	11.7	100.0
中学生	地域	北海道	度数	218	58	26	302
			地域の%	72.2	19.2	8.6	100.0
		関東	度数	130	24	12	166
		地域の%	78.3	14.5	7.2	100.0	
		九州	度数	329	51	66	446
		地域の%	73.8	11.4	14.8	100.0	
	合計		度数	677	133	104	914
			地域の%	74.1	14.6	11.4	100.0

**

表14-2-3. 普遍性：父母・病氣・事故と学年・性別

学年区分				お父さんお母さんは、病氣や事故にあわなければ、ずっと生きていきますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	217	108	106	431
			性別の%	50.3	25.1	24.6	100.0
		女	度数	174	138	92	404
		性別の%	43.1	34.2	22.8	100.0	
		合計		度数	391	246	198
			性別の%	46.8	29.5	23.7	100.0
高学年	性別	男	度数	338	84	59	481
			性別の%	70.3	17.5	12.3	100.0
		女	度数	271	92	45	408
		性別の%	66.4	22.5	11.0	100.0	
		合計		度数	609	176	104
			性別の%	68.5	19.8	11.7	100.0
中学生	性別	男	度数	342	67	63	472
			性別の%	72.5	14.2	13.3	100.0
		女	度数	331	65	41	437
		性別の%	75.7	14.9	9.4	100.0	
		合計		度数	673	132	104
			性別の%	74.0	14.5	11.4	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表14-3-1. 普遍性：自分自身・病気・事故と学年

			あなた自身はどうでしょうか。いつまでも ずっと生きていられると思いますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	553	188	101	842
		学年区分の%	65.7	22.3	12.0	100.0
	高学年	度数	697	142	57	896
		学年区分の%	77.8	15.8	6.4	100.0
	中学生	度数	736	116	63	915
		学年区分の%	80.4	12.7	6.9	100.0**
合計	度数	1986	446	221	2653	
	学年区分の%	74.9	16.8	8.3	100.0	

表14-3-2. 普遍性：自分自身・病気・事故と学年・地域

学年区分				あなた自身はどうでしょうか。いつまでも ずっと生きていられると思いますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	203	81	40	324
			地域の%	62.7	25.0	12.3	100.0
		関東	度数	249	73	43	365
	地域の%		68.2	20.0	11.8	100.0	
	九州	度数	101	34	18	153	
		地域の%	66.0	22.2	11.8	100.0	
合計	度数	553	188	101	842		
	地域の%	65.7	22.3	12.0	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	280	51	25	356
			地域の%	78.7	14.3	7.0	100.0
		関東	度数	297	66	24	387
	地域の%		76.7	17.1	6.2	100.0	
	九州	度数	120	25	8	153	
		地域の%	78.4	16.3	5.2	100.0	
合計	度数	697	142	57	896		
	地域の%	77.8	15.8	6.4	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	232	47	24	303
			地域の%	76.6	15.5	7.9	100.0
		関東	度数	140	18	6	164
	地域の%		85.4	11.0	3.7	100.0	
	九州	度数	364	51	33	448	
		地域の%	81.3	11.4	7.4	100.0	
合計	度数	736	116	63	915		
	地域の%	80.4	12.7	6.9	100.0		

表14-3-3. 普遍性：自分自身・病気・事故と学年・性別

学年区分				あなた自身はどうでしょうか。いつまでも ずっと生きていられると思いますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	294	83	52	429
			性別の%	68.5	19.3	12.1	100.0
		女	度数	252	103	47	402
	性別の%		62.7	25.6	11.7	100.0	
	合計	度数	546	186	99	831	
		性別の%	65.7	22.4	11.9	100.0	
高学年	性別	男	度数	396	58	30	484
			性別の%	81.8	12.0	6.2	100.0
		女	度数	301	84	27	412
	性別の%		73.1	20.4	6.6	100.0**	
	合計	度数	697	142	57	896	
		性別の%	77.8	15.8	6.4	100.0	
中学生	性別	男	度数	370	52	50	472
			性別の%	78.4	11.0	10.6	100.0
		女	度数	362	63	13	438
	性別の%		82.6	14.4	3.0	100.0**	
	合計	度数	732	115	63	910	
		性別の%	80.4	12.6	6.9	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表15-1-1. 時間の概念：父母・過去と学年

			あなたのお父さんお母さんは、赤ちゃん だったことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	24	33	774	831
		学年区分の%	2.9	4.0	93.1	100.0
	高学年	度数	8	10	880	898
		学年区分の%	0.9	1.1	98.0	100.0
	中学生	度数	17	11	886	914
		学年区分の%	1.9	1.2	96.9	100.0
合計	度数	49	54	2540	2643	
	学年区分の%	1.9	2.0	96.1	100.0	

**

表15-1-2. 時間の概念：父母・過去と学年・地域

学年区分				あなたのお父さんお母さんは、赤ちゃん だったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	8	12	295	315
			地域の%	2.5	3.8	93.7	100.0
		関東	度数	7	12	344	363
		地域の%	1.9	3.3	94.8	100.0	
		九州	度数	9	9	135	153
		地域の%	5.9	5.9	88.2	100.0	
	合計	度数	24	33	774	831	
		地域の%	2.9	4.0	93.1	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	2	7	346	355
			地域の%	0.6	2.0	97.5	100.0
		関東	度数	3	2	383	388
		地域の%	0.8	0.5	98.7	100.0	
		九州	度数	3	1	151	155
		地域の%	1.9	0.6	97.4	100.0	
	合計	度数	8	10	880	898	
		地域の%	0.9	1.1	98.0	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	8	7	288	303
			地域の%	2.6	2.3	95.0	100.0
		関東	度数	2		164	166
		地域の%	1.2		98.8	100.0	
		九州	度数	7	4	434	445
		地域の%	1.6	0.9	97.5	100.0	
	合計	度数	17	11	886	914	
		地域の%	1.9	1.2	96.9	100.0	

表15-1-3. 時間の概念：父母・過去と学年・性別

学年区分				あなたのお父さんお母さんは、赤ちゃん だったことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	14	19	386	419
			性別の%	3.3	4.5	92.1	100.0
		女	度数	9	12	380	401
		性別の%	2.2	3.0	94.8	100.0	
		合計	度数	23	31	766	820
			性別の%	2.8	3.8	93.4	100.0
高学年	性別	男	度数	6	7	471	484
			性別の%	1.2	1.4	97.3	100.0
		女	度数	2	3	409	414
		性別の%	0.5	0.7	98.8	100.0	
		合計	度数	8	10	880	898
			性別の%	0.9	1.1	98.0	100.0
中学生	性別	男	度数	15	8	449	472
			性別の%	3.2	1.7	95.1	100.0
		女	度数	2	3	432	437
		性別の%	0.5	0.7	98.9	100.0	
		合計	度数	17	11	881	909
			性別の%	1.9	1.2	96.9	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表15-2-1. 時間の概念：父母・未来と学年

			お父さんお母さんは、いつの日にかおじ いちゃんおばあちゃんになりますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	21	94	720	835
		学年区分の%	2.5	11.3	86.2	100.0
	高学年	度数	12	78	806	896
		学年区分の%	1.3	8.7	90.0	100.0
	中学生	度数	26	84	809	919
		学年区分の%	2.8	9.1	88.0	100.0
合計		度数	59	256	2335	2650
		学年区分の%	2.2	9.7	88.1	100.0

表15-2-2. 時間の概念：父母・未来と学年・地域

学年区分				お父さんお母さんは、いつの日にかおじ いちゃんおばあちゃんになりますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	11	21	292	324
			地域の%	3.4	6.5	90.1	100.0
		関東	度数	6	46	307	359
			地域の%	1.7	12.8	85.5	100.0
	九州	度数	4	27	121	152	
地域の%		2.6	17.8	79.6	100.0		
合計		度数	21	94	720	835	
		地域の%	2.5	11.3	86.2	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	1	30	324	355
			地域の%	0.3	8.5	91.3	100.0
		関東	度数	9	33	346	388
			地域の%	2.3	8.5	89.2	100.0
	九州	度数	2	15	136	153	
地域の%		1.3	9.8	88.9	100.0		
合計		度数	12	78	806	896	
		地域の%	1.3	8.7	90.0	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	8	24	273	305
			地域の%	2.6	7.9	89.5	100.0
		関東	度数	5	17	143	165
			地域の%	3.0	10.3	86.7	100.0
	九州	度数	13	43	393	449	
地域の%		2.9	9.6	87.5	100.0		
合計		度数	26	84	809	919	
		地域の%	2.8	9.1	88.0	100.0	

表15-2-3. 時間の概念：父母・未来と学年・性別

学年区分				お父さんお母さんは、いつの日にかおじ いちゃんおばあちゃんになりますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	13	52	358	423
			性別の%	3.1	12.3	84.6	100.0
	女	度数	8	40	354	402	
		性別の%	2.0	10.0	88.1	100.0	
合計		度数	21	92	712	825	
		性別の%	2.5	11.2	86.3	100.0	
高学年	性別	男	度数	10	41	433	484
			性別の%	2.1	8.5	89.5	100.0
	女	度数	2	37	373	412	
		性別の%	0.5	9.0	90.5	100.0	
合計		度数	12	78	806	896	
		性別の%	1.3	8.7	90.0	100.0	
中学生	性別	男	度数	22	56	398	476
			性別の%	4.6	11.8	83.6	100.0
	女	度数	4	28	406	438	
		性別の%	0.9	6.4	92.7	100.0	
合計		度数	26	84	804	914	
		性別の%	2.8	9.2	88.0	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表15-3-1. 時間の概念：自分・未来と学年

			あなた自身は、いつの日かおじいちゃん おばあちゃんになりますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	31	115	693	839
		学年区分の%	3.7	13.7	82.6	100.0
	高学年	度数	12	102	784	898
		学年区分の%	1.3	11.4	87.3	100.0
	中学生	度数	33	91	794	918
		学年区分の%	3.6	9.9	86.5	100.0**
合計	度数	76	308	2271	2655	
	学年区分の%	2.9	11.6	85.5	100.0	

表15-3-2. 時間の概念：自分・未来と学年・地域

学年区分				あなた自身は、いつの日かおじいちゃん おばあちゃんになりますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	13	26	283	322
			地域の%	4.0	8.1	87.9	100.0
		関東	度数	11	55	300	366
	地域の%		3.0	15.0	82.0	100.0	
	九州	度数	7	34	110	151	
		地域の%	4.6	22.5	72.8	100.0**	
合計	度数	31	115	693	839		
	地域の%	3.7	13.7	82.6	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	4	36	316	356
			地域の%	1.1	10.1	88.8	100.0
		関東	度数	6	44	338	388
	地域の%		1.5	11.3	87.1	100.0	
	九州	度数	2	22	130	154	
		地域の%	1.3	14.3	84.4	100.0	
合計	度数	12	102	784	898		
	地域の%	1.3	11.4	87.3	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	13	27	265	305
			地域の%	4.3	8.9	86.9	100.0
		関東	度数	5	18	142	165
	地域の%		3.0	10.9	86.1	100.0	
	九州	度数	15	46	387	448	
		地域の%	3.3	10.3	86.4	100.0**	
合計	度数	33	91	794	918		
	地域の%	3.6	9.9	86.5	100.0		

表15-3-3. 時間の概念：自分・未来と学年・性別

学年区分				あなた自身は、いつの日かおじいちゃん おばあちゃんになりますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	18	61	345	424
			性別の%	4.2	14.4	81.4	100.0
		女	度数	12	51	342	405
	性別の%		3.0	12.6	84.4	100.0	
	合計	度数	30	112	687	829	
		性別の%	3.6	13.5	82.9	100.0	
高学年	性別	男	度数	10	55	420	485
			性別の%	2.1	11.3	86.6	100.0
		女	度数	2	47	364	413
	性別の%		0.5	11.4	88.1	100.0	
	合計	度数	12	102	784	898	
		性別の%	1.3	11.4	87.3	100.0	
中学生	性別	男	度数	27	56	393	476
			性別の%	5.7	11.8	82.6	100.0
		女	度数	6	35	396	437
	性別の%		1.4	8.0	90.6	100.0	
	合計	度数	33	91	789	913	
		性別の%	3.6	10.0	86.4	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表15-4-1. 時間の概念：自分・過去と学年

			あなたは小学生に入学した、その日にも どることができますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	717	88	38	843
		学年区分の%	85.1	10.4	4.5	100.0
	高学年	度数	787	82	29	898
		学年区分の%	87.6	9.1	3.2	100.0
	中学生	度数	784	78	54	916
		学年区分の%	85.6	8.5	5.9	100.0
合計		度数	2288	248	121	2657
		学年区分の%	86.1	9.3	4.6	100.0

表15-4-2. 時間の概念：自分・過去と学年・地域

学年区分				あなたは小学生に入学した、その日にも どることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	281	30	12	323
			地域の%	87.0	9.3	3.7	100.0
		関東	度数	325	28	16	369
		地域の%	88.1	7.6	4.3	100.0	
	九州	度数	111	30	10	151	
	地域の%	73.5	19.9	6.6	100.0		
	合計	度数	717	88	38	843	
		地域の%	85.1	10.4	4.5	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	309	33	13	355
			地域の%	87.0	9.3	3.7	100.0
		関東	度数	340	35	13	388
		地域の%	87.6	9.0	3.4	100.0	
	九州	度数	138	14	3	155	
	地域の%	89.0	9.0	1.9	100.0		
	合計	度数	787	82	29	898	
		地域の%	87.6	9.1	3.2	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	259	24	22	305
			地域の%	84.9	7.9	7.2	100.0
		関東	度数	142	18	6	166
		地域の%	85.5	10.8	3.6	100.0	
	九州	度数	383	36	26	445	
	地域の%	86.1	8.1	5.8	100.0		
	合計	度数	784	78	54	916	
		地域の%	85.6	8.5	5.9	100.0	

表15-4-3. 時間の概念：自分・過去と学年・性別

学年区分				あなたは小学生に入学した、その日にも どることができますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	368	40	22	430
			性別の%	85.6	9.3	5.1	100.0
	女	度数	342	45	15	402	
		性別の%	85.1	11.2	3.7	100.0	
	合計	度数	710	85	37	832	
		性別の%	85.3	10.2	4.4	100.0	
高学年	性別	男	度数	423	40	21	484
			性別の%	87.4	8.3	4.3	100.0
	女	度数	364	42	8	414	
		性別の%	87.9	10.1	1.9	100.0	
	合計	度数	787	82	29	898	
		性別の%	87.6	9.1	3.2	100.0	
中学生	性別	男	度数	393	40	42	475
			性別の%	82.7	8.4	8.8	100.0
	女	度数	386	38	12	436	
		性別の%	88.5	8.7	2.8	100.0	
	合計	度数	779	78	54	911	
		性別の%	85.5	8.6	5.9	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表16-1. 死後の世界の有無と学年

			死後の世界は、あると思いますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	136	203	507	846
		学年区分の%	16.1	24.0	59.9	100.0
	高学年	度数	116	245	535	896
		学年区分の%	12.9	27.3	59.7	100.0
	中学生	度数	155	251	508	914
		学年区分の%	17.0	27.5	55.6	100.0*
合計	度数	407	699	1550	2656	
	学年区分の%	15.3	26.3	58.4	100.0	

表16-2. 死後の世界の有無と学年・地域

学年区分				死後の世界は、あると思いますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	48	65	210	323
			地域の%	14.9	20.1	65.0	100.0
		関東	度数	63	98	210	371
	地域の%		17.0	26.4	56.6	100.0	
	九州	度数	25	40	87	152	
		地域の%	16.4	26.3	57.2	100.0	
合計	度数	136	203	507	846		
	地域の%	16.1	24.0	59.9	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	43	99	213	355
			地域の%	12.1	27.9	60.0	100.0
		関東	度数	47	97	244	388
	地域の%		12.1	25.0	62.9	100.0	
	九州	度数	26	49	78	153	
		地域の%	17.0	32.0	51.0	100.0	
合計	度数	116	245	535	896		
	地域の%	12.9	27.3	59.7	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	51	90	162	303
			地域の%	16.8	29.7	53.5	100.0
		関東	度数	27	46	91	164
	地域の%		16.5	28.0	55.5	100.0	
	九州	度数	77	115	255	447	
		地域の%	17.2	25.7	57.0	100.0	
合計	度数	155	251	508	914		
	地域の%	17.0	27.5	55.6	100.0		

表16-3. 死後の世界の有無と学年・性別

学年区分				死後の世界は、あると思いますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	72	91	266	429
			性別の%	16.8	21.2	62.0	100.0
	女	度数	63	109	234	406	
		性別の%	15.5	26.8	57.6	100.0	
	合計	度数	135	200	500	835	
		性別の%	16.2	24.0	59.9	100.0	
高学年	性別	男	度数	74	128	282	484
			性別の%	15.3	26.4	58.3	100.0
	女	度数	42	117	253	412	
		性別の%	10.2	28.4	61.4	100.0	
	合計	度数	116	245	535	896	
		性別の%	12.9	27.3	59.7	100.0	
中学生	性別	男	度数	90	139	245	474
			性別の%	19.0	29.3	51.7	100.0
	女	度数	64	109	262	435	
		性別の%	14.7	25.1	60.2	100.0*	
	合計	度数	154	248	507	909	
		性別の%	16.9	27.3	55.8	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表17-1. 神様の有無と学年

			神様はいると思いますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	57	82	702	841
		学年区分の%	6.8	9.8	83.5	100.0
	高学年	度数	121	232	542	895
		学年区分の%	13.5	25.9	60.6	100.0
	中学生	度数	206	278	433	917
		学年区分の%	22.5	30.3	47.2	100.0
合計	度数	384	592	1677	2653	
	学年区分の%	14.5	22.3	63.2	100.0	

**

表17-2. 神様の有無と学年・地域

学年区分				神様はいると思いますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	21	28	273	322
			地域の%	6.5	8.7	84.8	100.0
		関東	度数	30	39	299	368
	地域の%		8.2	10.6	81.3	100.0	
	九州	度数	6	15	130	151	
		地域の%	4.0	9.9	86.1	100.0	
	合計	度数	57	82	702	841	
地域の%		6.8	9.8	83.5	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	44	95	216	355
			地域の%	12.4	26.8	60.8	100.0
		関東	度数	54	90	243	387
	地域の%		14.0	23.3	62.8	100.0	
	九州	度数	23	47	83	153	
		地域の%	15.0	30.7	54.2	100.0	
	合計	度数	121	232	542	895	
地域の%		13.5	25.9	60.6	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	75	104	124	303
			地域の%	24.8	34.3	40.9	100.0
		関東	度数	32	55	78	165
	地域の%		19.4	33.3	47.3	100.0	
	九州	度数	99	119	231	449	
		地域の%	22.0	26.5	51.4	100.0	
	合計	度数	206	278	433	917	
地域の%		22.5	30.3	47.2	100.0		

*

表17-3. 神様の有無と学年・性別

学年区分				神様はいると思いますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	33	43	354	430
			性別の%	7.7	10.0	82.3	100.0
	女	度数	24	39	337	400	
		性別の%	6.0	9.8	84.3	100.0	
	合計	度数	57	82	691	830	
		性別の%	6.9	9.9	83.3	100.0	
高学年	性別	男	度数	81	123	281	485
			性別の%	16.7	25.4	57.9	100.0
	女	度数	40	109	261	410	
		性別の%	9.8	26.6	63.7	100.0	
	合計	度数	121	232	542	895	
		性別の%	13.5	25.9	60.6	100.0	
中学生	性別	男	度数	124	134	217	475
			性別の%	26.1	28.2	45.7	100.0
	女	度数	80	141	216	437	
		性別の%	18.3	32.3	49.4	100.0	
	合計	度数	204	275	433	912	
		性別の%	22.4	30.2	47.5	100.0	

*: p<0.05 ** : p<0.01

表18-1. 家族との会話と学年

			死について、今までに家族の人と話した ことがありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	303	195	329	827
		学年区分の%	36.6	23.6	39.8	100.0
	高学年	度数	387	151	356	894
		学年区分の%	43.3	16.9	39.8	100.0
	中学生	度数	458	156	300	914
		学年区分の%	50.1	17.1	32.8	100.0
合計		度数	1148	502	985	2635
		学年区分の%	43.6	19.1	37.4	100.0

**

表18-2. 家族との会話と学年・地域

学年区分				死について、今までに家族の人と話した ことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	100	68	148	316
			地域の%	31.6	21.5	46.8	100.0
		関東	度数	150	87	126	363
		地域の%	41.3	24.0	34.7	100.0	
	九州	度数	53	40	55	148	
	地域の%	35.8	27.0	37.2	100.0		
	合計		度数	303	195	329	827
			地域の%	36.6	23.6	39.8	100.0
高学年	地域	北海道	度数	156	49	151	356
			地域の%	43.8	13.8	42.4	100.0
		関東	度数	173	76	136	385
		地域の%	44.9	19.7	35.3	100.0	
	九州	度数	58	26	69	153	
	地域の%	37.9	17.0	45.1	100.0		
	合計		度数	387	151	356	894
			地域の%	43.3	16.9	39.8	100.0
中学生	地域	北海道	度数	172	54	77	303
			地域の%	56.8	17.8	25.4	100.0
		関東	度数	81	27	57	165
		地域の%	49.1	16.4	34.5	100.0	
	九州	度数	205	75	166	446	
	地域の%	46.0	16.8	37.2	100.0		
	合計		度数	458	156	300	914
			地域の%	50.1	17.1	32.8	100.0

*

*

表18-3. 家族との会話と学年・性別

学年区分				死について、今までに家族の人と話した ことがありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	169	88	164	421
			性別の%	40.1	20.9	39.0	100.0
	女	度数	128	105	163	396	
		性別の%	32.3	26.5	41.2	100.0	
	合計		度数	297	193	327	817
			性別の%	36.4	23.6	40.0	100.0
高学年	性別	男	度数	227	75	181	483
			性別の%	47.0	15.5	37.5	100.0
	女	度数	160	76	175	411	
		性別の%	38.9	18.5	42.6	100.0	
	合計		度数	387	151	356	894
			性別の%	43.3	16.9	39.8	100.0
中学生	性別	男	度数	274	69	129	472
			性別の%	58.1	14.6	27.3	100.0
	女	度数	182	85	170	437	
		性別の%	41.6	19.5	38.9	100.0	
	合計		度数	456	154	299	909
			性別の%	50.2	16.9	32.9	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表19-1. 友達との会話と学年

			死について、今までに友達と話したことが ありますか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	448	170	214	832
		学年区分の%	53.8	20.4	25.7	100.0
	高学年	度数	479	162	255	896
		学年区分の%	53.5	18.1	28.5	100.0
	中学生	度数	400	173	339	912
		学年区分の%	43.9	19.0	37.2	100.0
合計		度数	1327	505	808	2640
		学年区分の%	50.3	19.1	30.6	100.0

**

表19-2. 友達との会話と学年・地域

学年区分				死について、今までに友達と話したことが ありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	160	62	98	320
			地域の%	50.0	19.4	30.6	100.0
		関東	度数	211	73	81	365
			地域の%	57.8	20.0	22.2	100.0
	九州	度数	77	35	35	147	
地域の%		52.4	23.8	23.8	100.0		
合計		度数	448	170	214	832	
		地域の%	53.8	20.4	25.7	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	197	49	110	356
			地域の%	55.3	13.8	30.9	100.0
		関東	度数	209	78	100	387
			地域の%	54.0	20.2	25.8	100.0
	九州	度数	73	35	45	153	
地域の%		47.7	22.9	29.4	100.0		
合計		度数	479	162	255	896	
		地域の%	53.5	18.1	28.5	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	151	55	93	299
			地域の%	50.5	18.4	31.1	100.0
		関東	度数	74	37	54	165
			地域の%	44.8	22.4	32.7	100.0
	九州	度数	175	81	192	448	
地域の%		39.1	18.1	42.9	100.0		
合計		度数	400	173	339	912	
		地域の%	43.9	19.0	37.2	100.0	

**

表19-3. 友達との会話と学年・性別

学年区分				死について、今までに友達と話したことが ありますか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	243	68	111	422
			性別の%	57.6	16.1	26.3	100.0
	合計	女	度数	200	98	101	399
			性別の%	50.1	24.6	25.3	100.0
		度数	443	166	212	821	
		性別の%	54.0	20.2	25.8	100.0	
高学年	性別	男	度数	270	83	132	485
			性別の%	55.7	17.1	27.2	100.0
	合計	女	度数	209	79	123	411
			性別の%	50.9	19.2	29.9	100.0
		度数	479	162	255	896	
		性別の%	53.5	18.1	28.5	100.0	
中学生	性別	男	度数	232	92	148	472
			性別の%	49.2	19.5	31.4	100.0
	合計	女	度数	165	79	191	435
			性別の%	37.9	18.2	43.9	100.0
		度数	397	171	339	907	
		性別の%	43.8	18.9	37.4	100.0	

**

*: p<0.05 **: p<0.01

表20-1. 死への関心と学年

			死について知りたいですか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	487	114	238	839
		学年区分の%	58.0	13.6	28.4	100.0
	高学年	度数	534	141	216	891
		学年区分の%	59.9	15.8	24.2	100.0
	中学生	度数	430	164	318	912
		学年区分の%	47.1	18.0	34.9	100.0
合計		度数	1451	419	772	2642
		学年区分の%	54.9	15.9	29.2	100.0

**

表20-2. 死への関心と学年・地域

学年区分				死について知りたいですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	188	39	94	321
			地域の%	58.6	12.1	29.3	100.0
		関東	度数	215	53	99	367
		地域の%	58.6	14.4	27.0	100.0	
	九州	度数	84	22	45	151	
	地域の%	55.6	14.6	29.8	100.0		
	合計		度数	487	114	238	839
			地域の%	58.0	13.6	28.4	100.0
高学年	地域	北海道	度数	220	38	95	353
			地域の%	62.3	10.8	26.9	100.0
		関東	度数	235	59	91	385
		地域の%	61.0	15.3	23.6	100.0	
	九州	度数	79	44	30	153	
	地域の%	51.6	28.8	19.6	100.0		
	合計		度数	534	141	216	891
			地域の%	59.9	15.8	24.2	100.0
中学生	地域	北海道	度数	175	44	81	300
			地域の%	58.3	14.7	27.0	100.0
		関東	度数	67	41	57	165
		地域の%	40.6	24.8	34.5	100.0	
	九州	度数	188	79	180	447	
	地域の%	42.1	17.7	40.3	100.0		
	合計		度数	430	164	318	912
			地域の%	47.1	18.0	34.9	100.0

**

**

表20-3. 死への関心と学年・性別

学年区分				死について知りたいですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	256	35	136	427
			性別の%	60.0	8.2	31.9	100.0
		女	度数	227	77	98	402
	性別の%		56.5	19.2	24.4	100.0	
		合計		度数	483	112	234
			性別の%	58.3	13.5	28.2	100.0
高学年	性別	男	度数	295	54	133	482
			性別の%	61.2	11.2	27.6	100.0
		女	度数	239	87	83	409
	性別の%		58.4	21.3	20.3	100.0	
		合計		度数	534	141	216
			性別の%	59.9	15.8	24.2	100.0
中学生	性別	男	度数	226	68	179	473
			性別の%	47.8	14.4	37.8	100.0
		女	度数	201	94	139	434
	性別の%		46.3	21.7	32.0	100.0	
		合計		度数	427	162	318
			性別の%	47.1	17.9	35.1	100.0

**

**

*

*: p<0.05 ** : p<0.01

表21-1. 死の話題の回避と学年

			死についてなるべく話したくないですか			合計
			いいえ	わからない	はい	
学年区分	低学年	度数	158	137	546	841
		学年区分の%	18.8	16.3	64.9	100.0
	高学年	度数	159	138	599	896
		学年区分の%	17.7	15.4	66.9	100.0
	中学生	度数	248	213	454	915
		学年区分の%	27.1	23.3	49.6	100.0
合計		度数	565	488	1599	2652
		学年区分の%	21.3	18.4	60.3	100.0

**

表21-2. 死の話題の回避と学年・地域

学年区分				死についてなるべく話したくないですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	地域	北海道	度数	50	58	214	322
			地域の%	15.5	18.0	66.5	100.0
		関東	度数	75	56	239	370
			地域の%	20.3	15.1	64.6	100.0
	九州	度数	33	23	93	149	
		地域の%	22.1	15.4	62.4	100.0	
	合計		度数	158	137	546	841
			地域の%	18.8	16.3	64.9	100.0
高学年	地域	北海道	度数	72	51	233	356
			地域の%	20.2	14.3	65.4	100.0
		関東	度数	61	56	269	386
			地域の%	15.8	14.5	69.7	100.0
	九州	度数	26	31	97	154	
		地域の%	16.9	20.1	63.0	100.0	
	合計		度数	159	138	599	896
			地域の%	17.7	15.4	66.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	79	71	151	301
			地域の%	26.2	23.6	50.2	100.0
		関東	度数	42	38	86	166
			地域の%	25.3	22.9	51.8	100.0
	九州	度数	127	104	217	448	
		地域の%	28.3	23.2	48.4	100.0	
	合計		度数	248	213	454	915
			地域の%	27.1	23.3	49.6	100.0

表21-3. 死の話題の回避と学年・性別

学年区分				死についてなるべく話したくないですか			合計
				いいえ	わからない	はい	
低学年	性別	男	度数	94	57	277	428
			性別の%	22.0	13.3	64.7	100.0
	女	度数	63	76	264	403	
		性別の%	15.6	18.9	65.5	100.0	
	合計		度数	157	133	541	831
			性別の%	18.9	16.0	65.1	100.0
高学年	性別	男	度数	94	64	327	485
			性別の%	19.4	13.2	67.4	100.0
	女	度数	65	74	272	411	
		性別の%	15.8	18.0	66.2	100.0	
	合計		度数	159	138	599	896
			性別の%	17.7	15.4	66.9	100.0
中学生	性別	男	度数	125	103	245	473
			性別の%	26.4	21.8	51.8	100.0
	女	度数	123	107	207	437	
		性別の%	28.1	24.5	47.4	100.0	
	合計		度数	248	210	452	910
			性別の%	27.3	23.1	49.7	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表22-1-1. 多かった死後のイメージ：天使と学年

			天使		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	271	542	813
		学年区分の%	33.3	66.7	100.0
	高学年	度数	514	356	870
		学年区分の%	59.1	40.9	100.0
	中学生	度数	553	299	852
		学年区分の%	64.9	35.1	100.0
合計		1338	1197	2535	
		学年区分の%	52.8	47.2	100.0

**

表22-1-2. 多かった死後のイメージ：天使と学年・地域

学年区分				天使		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	97	212	309
			地域の%	31.4	68.6	100.0
		関東	度数	113	248	361
		地域の%	31.3	68.7	100.0	
	九州	度数	61	82	143	
	地域の%	42.7	57.3	100.0		
	合計		度数	271	542	813
			地域の%	33.3	66.7	100.0
高学年	地域	北海道	度数	220	130	350
			地域の%	62.9	37.1	100.0
		関東	度数	214	160	374
		地域の%	57.2	42.8	100.0	
	九州	度数	80	66	146	
	地域の%	54.8	45.2	100.0		
	合計		度数	514	356	870
			地域の%	59.1	40.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	182	95	277
			地域の%	65.7	34.3	100.0
		関東	度数	96	49	145
		地域の%	66.2	33.8	100.0	
	九州	度数	275	155	430	
	地域の%	64.0	36.0	100.0		
	合計		度数	553	299	852
			地域の%	64.9	35.1	100.0

*

表22-1-3. 多かった死後のイメージ：天使と学年・性別

学年区分				天使		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	160	255	415
			性別の%	38.6	61.4	100.0
	女	度数	107	281	388	
		性別の%	27.6	72.4	100.0	
	合計		度数	267	536	803
			性別の%	33.3	66.7	100.0
高学年	性別	男	度数	316	155	471
			性別の%	67.1	32.9	100.0
	女	度数	198	201	399	
		性別の%	49.6	50.4	100.0	
	合計		度数	514	356	870
			性別の%	59.1	40.9	100.0
中学生	性別	男	度数	305	136	441
			性別の%	69.2	30.8	100.0
	女	度数	243	163	406	
		性別の%	59.9	40.1	100.0	
	合計		度数	548	299	847
			性別の%	64.7	35.3	100.0

**

**

**

*: p<0.05 ** : p<0.01

表22-2-1. 多かった死後のイメージ：魂と学年

			魂		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	315	499	814
		学年区分の%	38.7	61.3	100.0
	高学年	度数	224	649	873
		学年区分の%	25.7	74.3	100.0
	中学生	度数	296	567	863
		学年区分の%	34.3	65.7	100.0
合計		835	1715	2550	
		学年区分の%	32.7	67.3	100.0

**

表22-2-2. 多かった死後のイメージ：魂と学年・地域

学年区分				魂		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	124	189	313
			地域の%	39.6	60.4	100.0
		関東	度数	147	215	362
		地域の%	40.6	59.4	100.0	
		九州	度数	44	95	139
		地域の%	31.7	68.3	100.0	
	合計		度数	315	499	814
			地域の%	38.7	61.3	100.0
高学年	地域	北海道	度数	104	247	351
			地域の%	29.6	70.4	100.0
		関東	度数	85	294	379
		地域の%	22.4	77.6	100.0	
		九州	度数	35	108	143
		地域の%	24.5	75.5	100.0	
	合計		度数	224	649	873
			地域の%	25.7	74.3	100.0
中学生	地域	北海道	度数	91	190	281
			地域の%	32.4	67.6	100.0
		関東	度数	52	97	149
		地域の%	34.9	65.1	100.0	
		九州	度数	153	280	433
		地域の%	35.3	64.7	100.0	
	合計		度数	296	567	863
			地域の%	34.3	65.7	100.0

表22-2-3. 多かった死後のイメージ：魂と学年・性別

学年区分				魂		合計	
				×	○		
低学年	性別	男	度数	163	255	418	
			性別の%	39.0	61.0	100.0	
		女	度数	147	239	386	
			性別の%	38.1	61.9	100.0	
		合計		度数	310	494	804
				性別の%	38.6	61.4	100.0
高学年	性別	男	度数	121	351	472	
			性別の%	25.6	74.4	100.0	
		女	度数	103	298	401	
			性別の%	25.7	74.3	100.0	
		合計		度数	224	649	873
				性別の%	25.7	74.3	100.0
中学生	性別	男	度数	164	282	446	
			性別の%	36.8	63.2	100.0	
		女	度数	128	284	412	
			性別の%	31.1	68.9	100.0	
		合計		度数	292	566	858
				性別の%	34.0	66.0	100.0

**

*: p<0.05 **: p<0.01

表22-3-1. 多かった死後のイメージ：お骨と学年

			お骨		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	474	330	804
		学年区分の%	59.0	41.0	100.0
	高学年	度数	227	652	879
		学年区分の%	25.8	74.2	100.0
	中学生	度数	244	630	874
		学年区分の%	27.9	72.1	100.0
合計		945	1612	2557	
		学年区分の%	37.0	63.0	100.0

**

表22-3-2. 多かった死後のイメージ：お骨と学年・地域

学年区分				お骨		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	172	136	308
			地域の%	55.8	44.2	100.0
		関東	度数	234	123	357
		地域の%	65.5	34.5	100.0	
		九州	度数	68	71	139
		地域の%	48.9	51.1	100.0	
	合計		度数	474	330	804
			地域の%	59.0	41.0	100.0
高学年	地域	北海道	度数	84	268	352
			地域の%	23.9	76.1	100.0
		関東	度数	105	274	379
		地域の%	27.7	72.3	100.0	
		九州	度数	38	110	148
		地域の%	25.7	74.3	100.0	
	合計		度数	227	652	879
			地域の%	25.8	74.2	100.0
中学生	地域	北海道	度数	80	203	283
			地域の%	28.3	71.7	100.0
		関東	度数	47	105	152
		地域の%	30.9	69.1	100.0	
		九州	度数	117	322	439
		地域の%	26.7	73.3	100.0	
	合計		度数	244	630	874
			地域の%	27.9	72.1	100.0

**

表22-3-3. 多かった死後のイメージ：お骨と学年・性別

学年区分				お骨		合計	
				×	○		
低学年	性別	男	度数	243	168	411	
			性別の%	59.1	40.9	100.0	
		女	度数	224	159	383	
		性別の%	58.5	41.5	100.0		
		合計		度数	467	327	794
				性別の%	58.8	41.2	100.0
高学年	性別	男	度数	142	336	478	
			性別の%	29.7	70.3	100.0	
		女	度数	85	316	401	
		性別の%	21.2	78.8	100.0		
		合計		度数	227	652	879
				性別の%	25.8	74.2	100.0
中学生	性別	男	度数	137	308	445	
			性別の%	30.8	69.2	100.0	
		女	度数	105	319	424	
		性別の%	24.8	75.2	100.0		
		合計		度数	242	627	869
				性別の%	27.8	72.2	100.0

**

*

*: p<0.05 **: p<0.01

表23-1-1. 少なかった死後のイメージ：怪獣と学年

			怪獣		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	788	26	814
		学年区分の%	96.8	3.2	100.0
	高学年	度数	847	26	873
		学年区分の%	97.0	3.0	100.0
	中学生	度数	806	48	854
		学年区分の%	94.4	5.6	100.0
合計		度数	2441	100	2541
		学年区分の%	96.1	3.9	100.0

**

表23-1-2. 少なかった死後のイメージ：怪獣と学年・地域

学年区分				怪獣		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	300	8	308
			地域の%	97.4	2.6	100.0
		関東	度数	347	12	359
			地域の%	96.7	3.3	100.0
	九州	度数	141	6	147	
地域の%		95.9	4.1	100.0		
合計		度数	788	26	814	
		地域の%	96.8	3.2	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	336	14	350
			地域の%	96.0	4.0	100.0
		関東	度数	367	9	376
			地域の%	97.6	2.4	100.0
	九州	度数	144	3	147	
地域の%		98.0	2.0	100.0		
合計		度数	847	26	873	
		地域の%	97.0	3.0	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	260	17	277
			地域の%	93.9	6.1	100.0
		関東	度数	136	8	144
			地域の%	94.4	5.6	100.0
	九州	度数	410	23	433	
地域の%		94.7	5.3	100.0		
合計		度数	806	48	854	
		地域の%	94.4	5.6	100.0	

表23-1-3. 少なかった死後のイメージ：怪獣と学年・性別

学年区分				怪獣		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	396	21	417
			性別の%	95.0	5.0	100.0
	女	度数	382	5	387	
		性別の%	98.7	1.3	100.0	
合計		度数	778	26	804	
		性別の%	96.8	3.2	100.0	
高学年	性別	男	度数	449	24	473
			性別の%	94.9	5.1	100.0
	女	度数	398	2	400	
		性別の%	99.5	0.5	100.0	
合計		度数	847	26	873	
		性別の%	97.0	3.0	100.0	
中学生	性別	男	度数	401	38	439
			性別の%	91.3	8.7	100.0
	女	度数	400	10	410	
		性別の%	97.6	2.4	100.0	
合計		度数	801	48	849	
		性別の%	94.3	5.7	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表23-2-1. 少なかった死後のイメージ：お姫様と学年

			お姫様		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	757	58	815
		学年区分の%	92.9	7.1	100.0
	高学年	度数	840	34	874
		学年区分の%	96.1	3.9	100.0
	中学生	度数	797	56	853
		学年区分の%	93.4	6.6	100.0
合計		2394	148	2542	
		94.2	5.8	100.0	

**

表23-2-2. 少なかった死後のイメージ：お姫様と学年・地域

学年区分				お姫様		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	290	19	309
			地域の%	93.9	6.1	100.0
		関東	度数	327	32	359
			地域の%	91.1	8.9	100.0
	九州	度数	140	7	147	
		地域の%	95.2	4.8	100.0	
	合計		度数	757	58	815
			地域の%	92.9	7.1	100.0
高学年	地域	北海道	度数	338	13	351
			地域の%	96.3	3.7	100.0
		関東	度数	366	11	377
			地域の%	97.1	2.9	100.0
	九州	度数	136	10	146	
		地域の%	93.2	6.8	100.0	
	合計		度数	840	34	874
			地域の%	96.1	3.9	100.0
中学生	地域	北海道	度数	259	17	276
			地域の%	93.8	6.2	100.0
		関東	度数	135	9	144
			地域の%	93.8	6.3	100.0
	九州	度数	403	30	433	
		地域の%	93.1	6.9	100.0	
	合計		度数	797	56	853
			地域の%	93.4	6.6	100.0

表23-2-3. 少なかった死後のイメージ：お姫様と学年・性別

学年区分				お姫様		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	393	24	417
			性別の%	94.2	5.8	100.0
		女	度数	354	34	388
			性別の%	91.2	8.8	100.0
		合計		度数	747	58
			性別の%	92.8	7.2	100.0
高学年	性別	男	度数	457	17	474
			性別の%	96.4	3.6	100.0
		女	度数	383	17	400
			性別の%	95.8	4.3	100.0
		合計		度数	840	34
			性別の%	96.1	3.9	100.0
中学生	性別	男	度数	401	37	438
			性別の%	91.6	8.4	100.0
		女	度数	391	19	410
			性別の%	95.4	4.6	100.0
		合計		度数	792	56
			性別の%	93.4	6.6	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表23-3-1. 少なかった死後のイメージ：ひとさらいと学年

			ひとさらい		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	779	31	810
		学年区分の%	96.2	3.8	100.0
	高学年	度数	841	31	872
		学年区分の%	96.4	3.6	100.0
	中学生	度数	796	57	853
		学年区分の%	93.3	6.7	100.0
合計		度数	2416	119	2535
		学年区分の%	95.3	4.7	100.0

**

表23-3-2. 少なかった死後のイメージ：ひとさらいと学年・地域

学年区分				ひとさらい		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	304	6	310
			地域の%	98.1	1.9	100.0
		関東	度数	339	20	359
		地域の%	94.4	5.6	100.0	
	九州	度数	136	5	141	
		地域の%	96.5	3.5	100.0	
	合計		度数	779	31	810
			地域の%	96.2	3.8	100.0
高学年	地域	北海道	度数	331	19	350
			地域の%	94.6	5.4	100.0
		関東	度数	368	7	375
		地域の%	98.1	1.9	100.0	
	九州	度数	142	5	147	
		地域の%	96.6	3.4	100.0	
	合計		度数	841	31	872
			地域の%	96.4	3.6	100.0
中学生	地域	北海道	度数	256	19	275
			地域の%	93.1	6.9	100.0
		関東	度数	134	12	146
		地域の%	91.8	8.2	100.0	
	九州	度数	406	26	432	
		地域の%	94.0	6.0	100.0	
	合計		度数	796	57	853
			地域の%	93.3	6.7	100.0

*

*

表23-3-3. 少なかった死後のイメージ：ひとさらいと学年・性別

学年区分				ひとさらい		合計	
				×	○		
低学年	性別	男	度数	392	22	414	
			性別の%	94.7	5.3	100.0	
		女	度数	377	9	386	
			性別の%	97.7	2.3	100.0	
		合計		度数	769	31	800
				性別の%	96.1	3.9	100.0
高学年	性別	男	度数	446	27	473	
			性別の%	94.3	5.7	100.0	
		女	度数	395	4	399	
			性別の%	99.0	1.0	100.0	
		合計		度数	841	31	872
				性別の%	96.4	3.6	100.0
中学生	性別	男	度数	392	48	440	
			性別の%	89.1	10.9	100.0	
		女	度数	399	9	408	
			性別の%	97.8	2.2	100.0	
		合計		度数	791	57	848
				性別の%	93.3	6.7	100.0

*: p<0.05 ** : p<0.01

表24-1-1. その他：おばけと学年

			おばけ		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	536	278	814
		学年区分の%	65.8	34.2	100.0
	高学年	度数	559	315	874
		学年区分の%	64.0	36.0	100.0
	中学生	度数	554	303	857
		学年区分の%	64.6	35.4	100.0
合計		度数	1649	896	2545
		学年区分の%	64.8	35.2	100.0

表24-1-2. その他：おばけと学年・地域

学年区分				おばけ		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	191	120	311
			地域の%	61.4	38.6	100.0
		関東	度数	248	110	358
	地域の%		69.3	30.7	100.0	
	九州	度数	97	48	145	
		地域の%	66.9	33.1	100.0	
合計		度数	536	278	814	
		地域の%	65.8	34.2	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	235	116	351
			地域の%	67.0	33.0	100.0
		関東	度数	235	143	378
	地域の%		62.2	37.8	100.0	
	九州	度数	89	56	145	
		地域の%	61.4	38.6	100.0	
合計		度数	559	315	874	
		地域の%	64.0	36.0	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	170	106	276
			地域の%	61.6	38.4	100.0
		関東	度数	95	52	147
	地域の%		64.6	35.4	100.0	
	九州	度数	289	145	434	
		地域の%	66.6	33.4	100.0	
合計		度数	554	303	857	
		地域の%	64.6	35.4	100.0	

表24-1-3. その他：おばけと学年・性別

学年区分				おばけ		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	270	148	418
			性別の%	64.6	35.4	100.0
		女	度数	257	129	386
			性別の%	66.6	33.4	100.0
	合計		度数	527	277	804
			性別の%	65.5	34.5	100.0
高学年	性別	男	度数	287	185	472
			性別の%	60.8	39.2	100.0
		女	度数	272	130	402
			性別の%	67.7	32.3	100.0
	合計		度数	559	315	874
			性別の%	64.0	36.0	100.0
中学生	性別	男	度数	283	158	441
			性別の%	64.2	35.8	100.0
		女	度数	266	145	411
			性別の%	64.7	35.3	100.0
	合計		度数	549	303	852
			性別の%	64.4	35.6	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表24-2-1. その他：お星様と学年

			お星様		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	475	344	819
		学年区分の%	58.0	42.0	100.0
	高学年	度数	529	343	872
		学年区分の%	60.7	39.3	100.0
	中学生	度数	580	272	852
		学年区分の%	68.1	31.9	100.0
合計		1584	959	2543	
		62.3	37.7	100.0	

**

表24-2-2. その他：お星様と学年・地域

学年区分				お星様		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	169	143	312
			地域の%	54.2	45.8	100.0
		関東	度数	222	139	361
			地域の%	61.5	38.5	100.0
		九州	度数	84	62	146
			地域の%	57.5	42.5	100.0
	合計		475	344	819	
		58.0	42.0	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	225	126	351
			地域の%	64.1	35.9	100.0
		関東	度数	227	150	377
			地域の%	60.2	39.8	100.0
		九州	度数	77	67	144
			地域の%	53.5	46.5	100.0
	合計		529	343	872	
		60.7	39.3	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	195	79	274
			地域の%	71.2	28.8	100.0
		関東	度数	110	36	146
			地域の%	75.3	24.7	100.0
		九州	度数	275	157	432
			地域の%	63.7	36.3	100.0
	合計		580	272	852	
		68.1	31.9	100.0		

*

表24-2-3. その他：お星様と学年・性別

学年区分				お星様		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	261	153	414
			性別の%	63.0	37.0	100.0
		女	度数	207	188	395
			性別の%	52.4	47.6	100.0
	合計		468	341	809	
			57.8	42.2	100.0	
高学年	性別	男	度数	321	150	471
			性別の%	68.2	31.8	100.0
		女	度数	208	193	401
			性別の%	51.9	48.1	100.0
	合計		529	343	872	
			60.7	39.3	100.0	
中学生	性別	男	度数	331	107	438
			性別の%	75.6	24.4	100.0
		女	度数	244	165	409
			性別の%	59.7	40.3	100.0
	合計		575	272	847	
			67.9	32.1	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表24-3-1. その他：がい骨と学年

			がい骨		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	497	319	816
		学年区分の%	60.9	39.1	100.0
	高学年	度数	473	400	873
		学年区分の%	54.2	45.8	100.0
	中学生	度数	470	387	857
		学年区分の%	54.8	45.2	100.0
合計		度数	1440	1106	2546
		学年区分の%	56.6	43.4	100.0

**

表24-3-2. その他：がい骨と学年・地域

学年区分				がい骨		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	199	116	315
			地域の%	63.2	36.8	100.0
		関東	度数	228	131	359
	地域の%		63.5	36.5	100.0	
	九州	度数	70	72	142	
		地域の%	49.3	50.7	100.0	
合計		度数	497	319	816	
		地域の%	60.9	39.1	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	181	170	351
			地域の%	51.6	48.4	100.0
		関東	度数	213	165	378
	地域の%		56.3	43.7	100.0	
	九州	度数	79	65	144	
		地域の%	54.9	45.1	100.0	
合計		度数	473	400	873	
		地域の%	54.2	45.8	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	152	128	280
			地域の%	54.3	45.7	100.0
		関東	度数	73	72	145
	地域の%		50.3	49.7	100.0	
	九州	度数	245	187	432	
		地域の%	56.7	43.3	100.0	
合計		度数	470	387	857	
		地域の%	54.8	45.2	100.0	

**

表24-3-3. その他：がい骨と学年・性別

学年区分				がい骨		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	240	183	423
			性別の%	56.7	43.3	100.0
		女	度数	252	130	382
	性別の%		66.0	34.0	100.0	
	合計		度数	492	313	805
			性別の%	61.1	38.9	100.0
高学年	性別	男	度数	231	241	472
			性別の%	48.9	51.1	100.0
		女	度数	242	159	401
	性別の%		60.3	39.7	100.0	
	合計		度数	473	400	873
			性別の%	54.2	45.8	100.0
中学生	性別	男	度数	233	206	439
			性別の%	53.1	46.9	100.0
		女	度数	235	178	413
	性別の%		56.9	43.1	100.0	
	合計		度数	468	384	852
			性別の%	54.9	45.1	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表24-4-1. その他：空と学年

			空		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	608	203	811
		学年区分の%	75.0	25.0	100.0
	高学年	度数	626	245	871
		学年区分の%	71.9	28.1	100.0
	中学生	度数	621	232	853
		学年区分の%	72.8	27.2	100.0
合計		度数	1855	680	2535
		学年区分の%	73.2	26.8	100.0

表24-4-2. その他：空と学年・地域

学年区分				空		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	233	73	306
			地域の%	76.1	23.9	100.0
		関東	度数	268	93	361
			地域の%	74.2	25.8	100.0
	九州	度数	107	37	144	
地域の%		74.3	25.7	100.0		
合計		度数	608	203	811	
		地域の%	75.0	25.0	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	268	83	351
			地域の%	76.4	23.6	100.0
		関東	度数	268	108	376
			地域の%	71.3	28.7	100.0
	九州	度数	90	54	144	
地域の%		62.5	37.5	100.0		
合計		度数	626	245	871	
		地域の%	71.9	28.1	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	201	75	276
			地域の%	72.8	27.2	100.0
		関東	度数	121	24	145
			地域の%	83.4	16.6	100.0
	九州	度数	299	133	432	
地域の%		69.2	30.8	100.0		
合計		度数	621	232	853	
		地域の%	72.8	27.2	100.0	

表24-4-3. その他：空と学年・性別

学年区分				空		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	319	93	412
			性別の%	77.4	22.6	100.0
	女	度数	282	106	388	
		性別の%	72.7	27.3	100.0	
合計		度数	601	199	800	
		性別の%	75.1	24.9	100.0	
高学年	性別	男	度数	360	111	471
			性別の%	76.4	23.6	100.0
	女	度数	266	134	400	
		性別の%	66.5	33.5	100.0	
合計		度数	626	245	871	
		性別の%	71.9	28.1	100.0	
中学生	性別	男	度数	343	95	438
			性別の%	78.3	21.7	100.0
	女	度数	273	137	410	
		性別の%	66.6	33.4	100.0	
合計		度数	616	232	848	
		性別の%	72.6	27.4	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表25-1-1. 多かった死後の世界のイメージ：神様と学年

			神様のそば		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	318	486	804
		学年区分の%	39.6	60.4	100.0
	高学年	度数	446	419	865
		学年区分の%	51.6	48.4	100.0
	中学生	度数	547	299	846
		学年区分の%	64.7	35.3	100.0
合計		度数	1311	1204	2515
		学年区分の%	52.1	47.9	100.0

表25-1-2. 多かった死後の世界のイメージ：神様と学年・地域

学年区分				神様のそば		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	133	177	310
			地域の%	42.9	57.1	100.0
		関東	度数	132	227	359
	地域の%		36.8	63.2	100.0	
	九州	度数	53	82	135	
		地域の%	39.3	60.7	100.0	
	合計	度数	318	486	804	
		地域の%	39.6	60.4	100.0	
	高学年	地域	北海道	度数	198	152
地域の%				56.6	43.4	100.0
関東			度数	176	196	372
		地域の%	47.3	52.7	100.0	
九州		度数	72	71	143	
		地域の%	50.3	49.7	100.0	
合計		度数	446	419	865	
		地域の%	51.6	48.4	100.0	
中学生		地域	北海道	度数	186	83
	地域の%			69.1	30.9	100.0
	関東		度数	95	50	145
		地域の%	65.5	34.5	100.0	
	九州	度数	266	166	432	
		地域の%	61.6	38.4	100.0	
	合計	度数	547	299	846	
		地域の%	64.7	35.3	100.0	

表25-1-3. 多かった死後の世界のイメージ：神様と学年・性別

学年区分				神様のそば		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	174	235	409
			性別の%	42.5	57.5	100.0
	女	度数	140	245	385	
		性別の%	36.4	63.6	100.0	
	合計	度数	314	480	794	
		性別の%	39.5	60.5	100.0	
高学年	性別	男	度数	268	203	471
			性別の%	56.9	43.1	100.0
	女	度数	178	216	394	
		性別の%	45.2	54.8	100.0	
	合計	度数	446	419	865	
		性別の%	51.6	48.4	100.0	
中学生	性別	男	度数	311	129	440
			性別の%	70.7	29.3	100.0
	女	度数	231	170	401	
		性別の%	57.6	42.4	100.0	
	合計	度数	542	299	841	
		性別の%	64.4	35.6	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表25-2-1. 多かった死後の世界のイメージ：天国と学年

			天国		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	104	726	830
		学年区分の%	12.5	87.5	100.0
	高学年	度数	222	646	868
		学年区分の%	25.6	74.4	100.0
	中学生	度数	329	534	863
		学年区分の%	38.1	61.9	100.0
合計		度数	655	1906	2561
		学年区分の%	25.6	74.4	100.0

**

表25-2-2. 多かった死後の世界のイメージ：天国と学年・地域

学年区分				天国		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	42	276	318
			地域の%	13.2	86.8	100.0
		関東	度数	45	318	363
	地域の%		12.4	87.6	100.0	
	九州	度数	17	132	149	
		地域の%	11.4	88.6	100.0	
合計		度数	104	726	830	
		地域の%	12.5	87.5	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	116	234	350
			地域の%	33.1	66.9	100.0
		関東	度数	71	304	375
	地域の%		18.9	81.1	100.0	
	九州	度数	35	108	143	
		地域の%	24.5	75.5	100.0	
合計		度数	222	646	868	
		地域の%	25.6	74.4	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	111	166	277
			地域の%	40.1	59.9	100.0
		関東	度数	66	85	151
	地域の%		43.7	56.3	100.0	
	九州	度数	152	283	435	
		地域の%	34.9	65.1	100.0	
合計		度数	329	534	863	
		地域の%	38.1	61.9	100.0	

**

表25-2-3. 多かった死後の世界のイメージ：天国と学年・性別

学年区分				天国		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	59	363	422
			性別の%	14.0	86.0	100.0
	女	度数	42	355	397	
		性別の%	10.6	89.4	100.0	
	合計		度数	101	718	819
			性別の%	12.3	87.7	100.0
高学年	性別	男	度数	138	330	468
			性別の%	29.5	70.5	100.0
	女	度数	84	316	400	
		性別の%	21.0	79.0	100.0	
	合計		度数	222	646	868
			性別の%	25.6	74.4	100.0
中学生	性別	男	度数	194	257	451
			性別の%	43.0	57.0	100.0
	女	度数	130	277	407	
		性別の%	31.9	68.1	100.0	
	合計		度数	324	534	858
			性別の%	37.8	62.2	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表25-3-1. 多かった死後の世界のイメージ：お墓と学年

			お墓		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	225	597	822
		学年区分の%	27.4	72.6	100.0
	高学年	度数	196	681	877
		学年区分の%	22.3	77.7	100.0
	中学生	度数	228	641	869
		学年区分の%	26.2	73.8	100.0*
合計	度数	649	1919	2568	
	学年区分の%	25.3	74.7	100.0	

表25-3-2. 多かった死後の世界のイメージ：お墓と学年・地域

学年区分				お墓		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	81	234	315
			地域の%	25.7	74.3	100.0
		関東	度数	114	250	364
	地域の%		31.3	68.7	100.0	
	九州	度数	30	113	143	
		地域の%	21.0	79.0	100.0*	
合計	度数	225	597	822		
	地域の%	27.4	72.6	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	73	279	352
			地域の%	20.7	79.3	100.0
		関東	度数	92	287	379
	地域の%		24.3	75.7	100.0	
	九州	度数	31	115	146	
		地域の%	21.2	78.8	100.0	
合計	度数	196	681	877		
	地域の%	22.3	77.7	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	70	205	275
			地域の%	25.5	74.5	100.0
		関東	度数	46	109	155
	地域の%		29.7	70.3	100.0	
	九州	度数	112	327	439	
		地域の%	25.5	74.5	100.0	
合計	度数	228	641	869		
	地域の%	26.2	73.8	100.0		

表25-3-3. 多かった死後の世界のイメージ：お墓と学年・性別

学年区分				お墓		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	123	297	420
			性別の%	29.3	70.7	100.0
		女	度数	102	289	391
	性別の%		26.1	73.9	100.0	
	合計	度数	225	586	811	
		性別の%	27.7	72.3	100.0	
高学年	性別	男	度数	116	359	475
			性別の%	24.4	75.6	100.0
		女	度数	80	322	402
	性別の%		19.9	80.1	100.0	
	合計	度数	196	681	877	
		性別の%	22.3	77.7	100.0	
中学生	性別	男	度数	132	316	448
			性別の%	29.5	70.5	100.0
		女	度数	95	321	416
	性別の%		22.8	77.2	100.0*	
	合計	度数	227	637	864	
		性別の%	26.3	73.7	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表26-1-1. 少なかった死後の世界のイメージ：宇宙と学年

			宇宙		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	757	55	812
		学年区分の%	93.2	6.8	100.0
	高学年	度数	800	68	868
		学年区分の%	92.2	7.8	100.0
	中学生	度数	731	114	845
		学年区分の%	86.5	13.5	100.0
合計		2288	237	2525	
		90.6	9.4	100.0	

**

表26-1-2. 少なかった死後の世界のイメージ：宇宙と学年・地域

学年区分				宇宙		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	293	17	310
			地域の%	94.5	5.5	100.0
		関東	度数	332	24	356
	地域の%		93.3	6.7	100.0	
	九州	度数	132	14	146	
		地域の%	90.4	9.6	100.0	
合計		度数	757	55	812	
		地域の%	93.2	6.8	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	322	28	350
			地域の%	92.0	8.0	100.0
		関東	度数	345	27	372
	地域の%		92.7	7.3	100.0	
	九州	度数	133	13	146	
		地域の%	91.1	8.9	100.0	
合計		度数	800	68	868	
		地域の%	92.2	7.8	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	233	36	269
			地域の%	86.6	13.4	100.0
		関東	度数	126	20	146
	地域の%		86.3	13.7	100.0	
	九州	度数	372	58	430	
		地域の%	86.5	13.5	100.0	
合計		度数	731	114	845	
		地域の%	86.5	13.5	100.0	

表26-1-3. 少なかった死後の世界のイメージ：宇宙と学年・性別

学年区分				宇宙		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	383	28	411
			性別の%	93.2	6.8	100.0
		女	度数	365	26	391
	性別の%		93.4	6.6	100.0	
	合計		度数	748	54	802
			性別の%	93.3	6.7	100.0
高学年	性別	男	度数	425	44	469
			性別の%	90.6	9.4	100.0
		女	度数	375	24	399
	性別の%		94.0	6.0	100.0	
	合計		度数	800	68	868
			性別の%	92.2	7.8	100.0
中学生	性別	男	度数	372	64	436
			性別の%	85.3	14.7	100.0
		女	度数	354	50	404
	性別の%		87.6	12.4	100.0	
	合計		度数	726	114	840
			性別の%	86.4	13.6	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表27-1-1. その他：地獄と学年

			地獄		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	478	330	808
		学年区分の%	59.2	40.8	100.0
	高学年	度数	562	299	861
		学年区分の%	65.3	34.7	100.0
	中学生	度数	576	266	842
		学年区分の%	68.4	31.6	100.0
合計		1616	895	2511	
		学年区分の%	64.4	35.6	100.0

**

表27-1-2. その他：地獄と学年・地域

学年区分				地獄		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	188	123	311
			地域の%	60.5	39.5	100.0
		関東	度数	211	143	354
			地域の%	59.6	40.4	100.0
	九州	度数	79	64	143	
		地域の%	55.2	44.8	100.0	
	合計		度数	478	330	808
			地域の%	59.2	40.8	100.0
高学年	地域	北海道	度数	238	110	348
			地域の%	68.4	31.6	100.0
		関東	度数	216	151	367
			地域の%	58.9	41.1	100.0
	九州	度数	108	38	146	
		地域の%	74.0	26.0	100.0	
	合計		度数	562	299	861
			地域の%	65.3	34.7	100.0
中学生	地域	北海道	度数	170	97	267
			地域の%	63.7	36.3	100.0
		関東	度数	96	49	145
			地域の%	66.2	33.8	100.0
	九州	度数	310	120	430	
		地域の%	72.1	27.9	100.0	
	合計		度数	576	266	842
			地域の%	68.4	31.6	100.0

**

表27-1-3. その他：地獄と学年・性別

学年区分				地獄		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	223	184	407
			性別の%	54.8	45.2	100.0
		女	度数	248	142	390
			性別の%	63.6	36.4	100.0
		合計		度数	471	326
			性別の%	59.1	40.9	100.0
高学年	性別	男	度数	289	177	466
			性別の%	62.0	38.0	100.0
		女	度数	273	122	395
			性別の%	69.1	30.9	100.0
		合計		度数	562	299
			性別の%	65.3	34.7	100.0
中学生	性別	男	度数	298	139	437
			性別の%	68.2	31.8	100.0
		女	度数	274	126	400
			性別の%	68.5	31.5	100.0
		合計		度数	572	265
			性別の%	68.3	31.7	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表27-2-1. その他：お寺と学年

			お寺		合計
			×	○	
学年区分	低学年	度数	605	198	803
		学年区分の%	75.3	24.7	100.0
	高学年	度数	557	309	866
		学年区分の%	64.3	35.7	100.0
	中学生	度数	538	306	844
		学年区分の%	63.7	36.3	100.0
合計		度数	1700	813	2513
		学年区分の%	67.6	32.4	100.0

**

表27-2-2. その他：お寺と学年・地域

学年区分				お寺		合計
				×	○	
低学年	地域	北海道	度数	231	80	311
			地域の%	74.3	25.7	100.0
		関東	度数	280	72	352
	地域の%		79.5	20.5	100.0	
	九州	度数	94	46	140	
		地域の%	67.1	32.9	100.0	
合計		度数	605	198	803	
		地域の%	75.3	24.7	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	220	130	350
			地域の%	62.9	37.1	100.0
		関東	度数	246	126	372
	地域の%		66.1	33.9	100.0	
	九州	度数	91	53	144	
		地域の%	63.2	36.8	100.0	
合計		度数	557	309	866	
		地域の%	64.3	35.7	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	167	99	266
			地域の%	62.8	37.2	100.0
		関東	度数	97	50	147
	地域の%		66.0	34.0	100.0	
	九州	度数	274	157	431	
		地域の%	63.6	36.4	100.0	
合計		度数	538	306	844	
		地域の%	63.7	36.3	100.0	

*

表27-2-3. その他：お寺と学年・性別

学年区分				お寺		合計
				×	○	
低学年	性別	男	度数	299	109	408
			性別の%	73.3	26.7	100.0
		女	度数	299	85	384
	性別の%		77.9	22.1	100.0	
	合計		度数	598	194	792
			性別の%	75.5	24.5	100.0
高学年	性別	男	度数	309	160	469
			性別の%	65.9	34.1	100.0
		女	度数	248	149	397
	性別の%		62.5	37.5	100.0	
	合計		度数	557	309	866
			性別の%	64.3	35.7	100.0
中学生	性別	男	度数	279	157	436
			性別の%	64.0	36.0	100.0
		女	度数	255	148	403
	性別の%		63.3	36.7	100.0	
	合計		度数	534	305	839
			性別の%	63.6	36.4	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表28-1-1. 死のイメージ：美しいと学年

			死について美しい			合計
			醜い	どちらでもない	美しい	
学年区分	低学年	度数	217	462	55	734
		学年区分の%	29.6	62.9	7.5	100.0
	高学年	度数	231	572	39	842
		学年区分の%	27.4	67.9	4.6	100.0
	中学生	度数	119	684	63	866
		学年区分の%	13.7	79.0	7.3	100.0
合計	度数	567	1718	157	2442	
	学年区分の%	23.2	70.4	6.4	100.0	

表28-1-2. 死のイメージ：美しいと学年・地域

学年区分				死について美しい			合計
				醜い	どちらでもない	美しい	
低学年	地域	北海道	度数	83	187	15	285
			地域の%	29.1	65.6	5.3	100.0
		関東	度数	98	197	27	322
	地域の%		30.4	61.2	8.4	100.0	
	九州	度数	36	78	13	127	
		地域の%	28.3	61.4	10.2	100.0	
合計	度数	217	462	55	734		
	地域の%	29.6	62.9	7.5	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	101	225	18	344
			地域の%	29.4	65.4	5.2	100.0
		関東	度数	93	252	12	357
	地域の%		26.1	70.6	3.4	100.0	
	九州	度数	37	95	9	141	
		地域の%	26.2	67.4	6.4	100.0	
合計	度数	231	572	39	842		
	地域の%	27.4	67.9	4.6	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	56	209	21	286
			地域の%	19.6	73.1	7.3	100.0
		関東	度数	25	119	9	153
	地域の%		16.3	77.8	5.9	100.0	
	九州	度数	38	356	33	427	
		地域の%	8.9	83.4	7.7	100.0	
合計	度数	119	684	63	866		
	地域の%	13.7	79.0	7.3	100.0		

表28-1-3. 死のイメージ：美しいと学年・性別

学年区分				死について美しい			合計
				醜い	どちらでもない	美しい	
低学年	性別	男	度数	112	234	26	372
			性別の%	30.1	62.9	7.0	100.0
	女	度数	102	224	28	354	
		性別の%	28.8	63.3	7.9	100.0	
	合計	度数	214	458	54	726	
		性別の%	29.5	63.1	7.4	100.0	
高学年	性別	男	度数	145	286	24	455
			性別の%	31.9	62.9	5.3	100.0
	女	度数	86	286	15	387	
		性別の%	22.2	73.9	3.9	100.0	
	合計	度数	231	572	39	842	
		性別の%	27.4	67.9	4.6	100.0	
中学生	性別	男	度数	80	334	35	449
			性別の%	17.8	74.4	7.8	100.0
	女	度数	39	346	27	412	
		性別の%	9.5	84.0	6.6	100.0	
	合計	度数	119	680	62	861	
		性別の%	13.8	79.0	7.2	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表28-2-1. 死のイメージ：嫌だと学年

			死について嫌だ			合計
			嫌でない	どちらでもない	嫌だ	
学年区分	低学年	度数	64	142	558	764
		学年区分の%	8.4	18.6	73.0	100.0
	高学年	度数	72	156	636	864
		学年区分の%	8.3	18.1	73.6	100.0
	中学生	度数	113	212	561	886
		学年区分の%	12.8	23.9	63.3	100.0
合計		度数	249	510	1755	2514
		学年区分の%	9.9	20.3	69.8	100.0

**

表28-2-2. 死のイメージ：嫌だと学年・地域

学年区分				死について嫌だ			合計
				嫌でない	どちらでもない	嫌だ	
低学年	地域	北海道	度数	16	60	220	296
			地域の%	5.4	20.3	74.3	100.0
		関東	度数	34	61	245	340
			地域の%	10.0	17.9	72.1	100.0
	九州	度数	14	21	93	128	
地域の%		10.9	16.4	72.7	100.0		
合計		度数	64	142	558	764	
		地域の%	8.4	18.6	73.0	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	29	66	253	348
			地域の%	8.3	19.0	72.7	100.0
		関東	度数	35	62	274	371
			地域の%	9.4	16.7	73.9	100.0
	九州	度数	8	28	109	145	
地域の%		5.5	19.3	75.2	100.0		
合計		度数	72	156	636	864	
		地域の%	8.3	18.1	73.6	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	30	70	189	289
			地域の%	10.4	24.2	65.4	100.0
		関東	度数	22	39	98	159
			地域の%	13.8	24.5	61.6	100.0
	九州	度数	61	103	274	438	
地域の%		13.9	23.5	62.6	100.0		
合計		度数	113	212	561	886	
		地域の%	12.8	23.9	63.3	100.0	

表28-2-3. 死のイメージ：嫌だと学年・性別

学年区分				死について嫌だ			合計
				嫌でない	どちらでもない	嫌だ	
低学年	性別	男	度数	35	80	277	392
			性別の%	8.9	20.4	70.7	100.0
	合計	女	度数	28	60	275	363
			性別の%	7.7	16.5	75.8	100.0
		度数	63	140	552	755	
		性別の%	8.3	18.5	73.1	100.0	
高学年	性別	男	度数	41	85	343	469
			性別の%	8.7	18.1	73.1	100.0
	合計	女	度数	31	71	293	395
			性別の%	7.8	18.0	74.2	100.0
		度数	72	156	636	864	
		性別の%	8.3	18.1	73.6	100.0	
中学生	性別	男	度数	62	110	284	456
			性別の%	13.6	24.1	62.3	100.0
	合計	女	度数	51	101	273	425
			性別の%	12.0	23.8	64.2	100.0
		度数	113	211	557	881	
		性別の%	12.8	24.0	63.2	100.0	

*: p<0.05 **: p<0.01

表28-3-1. 死のイメージ：怖いと学年

			死について怖い			合計
			こわくない	どちらでもない	こわい	
学年区分	低学年	度数	99	176	499	774
		学年区分の%	12.8	22.7	64.5	100.0
	高学年	度数	122	173	566	861
		学年区分の%	14.2	20.1	65.7	100.0
	中学生	度数	104	240	540	884
		学年区分の%	11.8	27.1	61.1	100.0*
合計	度数	325	589	1605	2519	
	学年区分の%	12.9	23.4	63.7	100.0	

表28-3-2. 死のイメージ：怖いと学年・地域

学年区分				死について怖い			合計
				こわくない	どちらでもない	こわい	
低学年	地域	北海道	度数	31	73	195	299
			地域の%	10.4	24.4	65.2	100.0
		関東	度数	44	76	220	340
	地域の%		12.9	22.4	64.7	100.0	
	九州	度数	24	27	84	135	
		地域の%	17.8	20.0	62.2	100.0	
合計	度数	99	176	499	774		
	地域の%	12.8	22.7	64.5	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	48	75	223	346
			地域の%	13.9	21.7	64.5	100.0
		関東	度数	56	72	244	372
	地域の%		15.1	19.4	65.6	100.0	
	九州	度数	18	26	99	143	
		地域の%	12.6	18.2	69.2	100.0	
合計	度数	122	173	566	861		
	地域の%	14.2	20.1	65.7	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	28	90	169	287
			地域の%	9.8	31.4	58.9	100.0
		関東	度数	21	53	84	158
	地域の%		13.3	33.5	53.2	100.0	
	九州	度数	55	97	287	439	
		地域の%	12.5	22.1	65.4	100.0*	
合計	度数	104	240	540	884		
	地域の%	11.8	27.1	61.1	100.0		

表28-3-3. 死のイメージ：怖いと学年・性別

学年区分				死について怖い			合計
				こわくない	どちらでもない	こわい	
低学年	性別	男	度数	60	101	235	396
			性別の%	15.2	25.5	59.3	100.0
	女	度数	38	74	258	370	
		性別の%	10.3	20.0	69.7	100.0**	
	合計	度数	98	175	493	766	
		性別の%	12.8	22.8	64.4	100.0	
高学年	性別	男	度数	71	99	293	463
			性別の%	15.3	21.4	63.3	100.0
	女	度数	51	74	273	398	
		性別の%	12.8	18.6	68.6	100.0	
	合計	度数	122	173	566	861	
		性別の%	14.2	20.1	65.7	100.0	
中学生	性別	男	度数	52	135	272	459
			性別の%	11.3	29.4	59.3	100.0
	女	度数	52	103	265	420	
		性別の%	12.4	24.5	63.1	100.0	
	合計	度数	104	238	537	879	
		性別の%	11.8	27.1	61.1	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01

表28-4-1. 死のイメージ：痛いと学年

			死について痛い			合計
			痛くない	どちらでもない	痛い	
学年区分	低学年	度数	158	307	274	739
		学年区分の%	21.4	41.5	37.1	100.0
	高学年	度数	185	413	246	844
		学年区分の%	21.9	48.9	29.1	100.0
	中学生	度数	132	489	240	861
		学年区分の%	15.3	56.8	27.9	100.0
合計		度数	475	1209	760	2444
		学年区分の%	19.4	49.5	31.1	100.0

**

表28-4-2. 死のイメージ：痛いと学年・地域

学年区分				死について痛い			合計
				痛くない	どちらでもない	痛い	
低学年	地域	北海道	度数	48	120	122	290
			地域の%	16.6	41.4	42.1	100.0
		関東	度数	84	136	106	326
		地域の%	25.8	41.7	32.5	100.0	
	九州	度数	26	51	46	123	
	地域の%	21.1	41.5	37.4	100.0		
	合計		度数	158	307	274	739
			地域の%	21.4	41.5	37.1	100.0
高学年	地域	北海道	度数	85	157	101	343
			地域の%	24.8	45.8	29.4	100.0
		関東	度数	72	182	109	363
		地域の%	19.8	50.1	30.0	100.0	
	九州	度数	28	74	36	138	
	地域の%	20.3	53.6	26.1	100.0		
	合計		度数	185	413	246	844
			地域の%	21.9	48.9	29.1	100.0
中学生	地域	北海道	度数	36	153	92	281
			地域の%	12.8	54.4	32.7	100.0
		関東	度数	22	96	36	154
		地域の%	14.3	62.3	23.4	100.0	
	九州	度数	74	240	112	426	
	地域の%	17.4	56.3	26.3	100.0		
	合計		度数	132	489	240	861
			地域の%	15.3	56.8	27.9	100.0

*

表28-4-3. 死のイメージ：痛いと学年・性別

学年区分				死について痛い			合計
				痛くない	どちらでもない	痛い	
低学年	性別	男	度数	88	146	141	375
			性別の%	23.5	38.9	37.6	100.0
	女	度数	66	157	132	355	
		性別の%	18.6	44.2	37.2	100.0	
	合計		度数	154	303	273	730
			性別の%	21.1	41.5	37.4	100.0
高学年	性別	男	度数	110	209	143	462
			性別の%	23.8	45.2	31.0	100.0
	女	度数	75	204	103	382	
		性別の%	19.6	53.4	27.0	100.0	
	合計		度数	185	413	246	844
			性別の%	21.9	48.9	29.1	100.0
中学生	性別	男	度数	73	248	127	448
			性別の%	16.3	55.4	28.3	100.0
	女	度数	59	238	111	408	
		性別の%	14.5	58.3	27.2	100.0	
	合計		度数	132	486	238	856
			性別の%	15.4	56.8	27.8	100.0

*: p<0.05 **: p<0.01

表28-5-1. 死のイメージ：さみしいと学年

			死についてさみしい			合計
			さみしくない	どちらでもない	さみしい	
学年区分	低学年	度数	57	125	594	776
		学年区分の%	7.3	16.1	76.5	100.0
	高学年	度数	79	162	629	870
		学年区分の%	9.1	18.6	72.3	100.0
	中学生	度数	75	259	548	882
		学年区分の%	8.5	29.4	62.1	100.0
合計		度数	211	546	1771	2528
		学年区分の%	8.3	21.6	70.1	100.0

**

表28-5-2. 死のイメージ：さみしいと学年・地域

学年区分				死についてさみしい			合計
				さみしくない	どちらでもない	さみしい	
低学年	地域	北海道	度数	15	55	228	298
			地域の%	5.0	18.5	76.5	100.0
		関東	度数	30	59	253	342
	地域の%		8.8	17.3	74.0	100.0	
	九州	度数	12	11	113	136	
		地域の%	8.8	8.1	83.1	100.0	
	合計	度数	57	125	594	776	
地域の%		7.3	16.1	76.5	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	32	81	237	350
			地域の%	9.1	23.1	67.7	100.0
		関東	度数	42	56	276	374
	地域の%		11.2	15.0	73.8	100.0	
	九州	度数	5	25	116	146	
		地域の%	3.4	17.1	79.5	100.0	
	合計	度数	79	162	629	870	
地域の%		9.1	18.6	72.3	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	25	102	158	285
			地域の%	8.8	35.8	55.4	100.0
		関東	度数	13	48	98	159
	地域の%		8.2	30.2	61.6	100.0	
	九州	度数	37	109	292	438	
		地域の%	8.4	24.9	66.7	100.0	
	合計	度数	75	259	548	882	
地域の%		8.5	29.4	62.1	100.0		

*

**

*

表28-5-3. 死のイメージ：さみしいと学年・性別

学年区分				死についてさみしい			合計
				さみしくない	どちらでもない	さみしい	
低学年	性別	男	度数	35	72	286	393
			性別の%	8.9	18.3	72.8	100.0
	女	度数	22	52	299	373	
		性別の%	5.9	13.9	80.2	100.0	
	合計	度数	57	124	585	766	
性別の%	7.4	16.2	76.4	100.0			
高学年	性別	男	度数	44	92	334	470
			性別の%	9.4	19.6	71.1	100.0
	女	度数	35	70	295	400	
		性別の%	8.8	17.5	73.8	100.0	
	合計	度数	79	162	629	870	
性別の%	9.1	18.6	72.3	100.0			
中学生	性別	男	度数	40	150	264	454
			性別の%	8.8	33.0	58.1	100.0
	女	度数	35	107	281	423	
		性別の%	8.3	25.3	66.4	100.0	
	合計	度数	75	257	545	877	
性別の%	8.6	29.3	62.1	100.0			

*:p<0.05 **:p<0.01

表28-6-1. 死のイメージ：良いと学年

			死について良い			合計
			悪い	どちらでもない	良い	
学年区分	低学年	度数	331	333	83	747
		学年区分の%	44.3	44.6	11.1	100.0
	高学年	度数	445	357	47	849
		学年区分の%	52.4	42.0	5.5	100.0
	中学生	度数	324	484	51	859
		学年区分の%	37.7	56.3	5.9	100.0
合計		度数	1100	1174	181	2455
		学年区分の%	44.8	47.8	7.4	100.0

**

表28-6-2. 死のイメージ：良いと学年・地域

学年区分				死について良い			合計
				悪い	どちらでもない	良い	
低学年	地域	北海道	度数	120	143	26	289
			地域の%	41.5	49.5	9.0	100.0
		関東	度数	154	136	40	330
	地域の%		46.7	41.2	12.1	100.0	
	九州	度数	57	54	17	128	
		地域の%	44.5	42.2	13.3	100.0	
合計		度数	331	333	83	747	
		地域の%	44.3	44.6	11.1	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	186	143	18	347
			地域の%	53.6	41.2	5.2	100.0
		関東	度数	196	147	17	360
	地域の%		54.4	40.8	4.7	100.0	
	九州	度数	63	67	12	142	
		地域の%	44.4	47.2	8.5	100.0	
合計		度数	445	357	47	849	
		地域の%	52.4	42.0	5.5	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	107	157	15	279
			地域の%	38.4	56.3	5.4	100.0
		関東	度数	50	94	10	154
	地域の%		32.5	61.0	6.5	100.0	
	九州	度数	167	233	26	426	
		地域の%	39.2	54.7	6.1	100.0	
合計		度数	324	484	51	859	
		地域の%	37.7	56.3	5.9	100.0	

表28-6-3. 死のイメージ：良いと学年・性別

学年区分				死について良い			合計
				悪い	どちらでもない	良い	
低学年	性別	男	度数	178	156	45	379
			性別の%	47.0	41.2	11.9	100.0
	女	度数	150	173	37	360	
		性別の%	41.7	48.1	10.3	100.0	
	合計		度数	328	329	82	739
			性別の%	44.4	44.5	11.1	100.0
高学年	性別	男	度数	256	170	32	458
			性別の%	55.9	37.1	7.0	100.0
	女	度数	189	187	15	391	
		性別の%	48.3	47.8	3.8	100.0	
	合計		度数	445	357	47	849
			性別の%	52.4	42.0	5.5	100.0
中学生	性別	男	度数	175	241	31	447
			性別の%	39.1	53.9	6.9	100.0
	女	度数	147	241	19	407	
		性別の%	36.1	59.2	4.7	100.0	
	合計		度数	322	482	50	854
			性別の%	37.7	56.4	5.9	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表28-7-1. 死のイメージ：悲しいと学年

			死について悲しい			合計
			悲しくない	どちらでもない	悲しい	
学年区分	低学年	度数	47	100	641	788
		学年区分の%	6.0	12.7	81.3	100.0
	高学年	度数	47	110	716	873
		学年区分の%	5.4	12.6	82.0	100.0
	中学生	度数	42	192	655	889
		学年区分の%	4.7	21.6	73.7	100.0
合計		度数	136	402	2012	2550
		学年区分の%	5.3	15.8	78.9	100.0

**

表28-7-2. 死のイメージ：悲しいと学年・地域

学年区分				死について悲しい			合計
				悲しくない	どちらでもない	悲しい	
低学年	地域	北海道	度数	14	34	257	305
			地域の%	4.6	11.1	84.3	100.0
		関東	度数	25	53	268	346
	地域の%		7.2	15.3	77.5	100.0	
	九州	度数	8	13	116	137	
		地域の%	5.8	9.5	84.7	100.0	
合計		度数	47	100	641	788	
		地域の%	6.0	12.7	81.3	100.0	
高学年	地域	北海道	度数	20	55	275	350
			地域の%	5.7	15.7	78.6	100.0
		関東	度数	20	45	309	374
	地域の%		5.3	12.0	82.6	100.0	
	九州	度数	7	10	132	149	
		地域の%	4.7	6.7	88.6	100.0	
合計		度数	47	110	716	873	
		地域の%	5.4	12.6	82.0	100.0	
中学生	地域	北海道	度数	16	74	199	289
			地域の%	5.5	25.6	68.9	100.0
		関東	度数	6	39	113	158
	地域の%		3.8	24.7	71.5	100.0	
	九州	度数	20	79	343	442	
		地域の%	4.5	17.9	77.6	100.0	
合計		度数	42	192	655	889	
		地域の%	4.7	21.6	73.7	100.0	

表28-7-3. 死のイメージ：悲しいと学年・性別

学年区分				死について悲しい			合計
				悲しくない	どちらでもない	悲しい	
低学年	性別	男	度数	30	62	306	398
			性別の%	7.5	15.6	76.9	100.0
	女	度数	16	37	327	380	
		性別の%	4.2	9.7	86.1	100.0	
	合計		度数	46	99	633	778
			性別の%	5.9	12.7	81.4	100.0
高学年	性別	男	度数	33	63	376	472
			性別の%	7.0	13.3	79.7	100.0
	女	度数	14	47	340	401	
		性別の%	3.5	11.7	84.8	100.0	
	合計		度数	47	110	716	873
			性別の%	5.4	12.6	82.0	100.0
中学生	性別	男	度数	25	115	320	460
			性別の%	5.4	25.0	69.6	100.0
	女	度数	17	74	333	424	
		性別の%	4.0	17.5	78.5	100.0	
	合計		度数	42	189	653	884
			性別の%	4.8	21.4	73.9	100.0

*:p<0.05 **:p<0.01

表28-8-1. 死のイメージ：遠いと学年

			死について遠い			合計
			近い	どちらでもない	遠い	
学年区分	低学年	度数	88	319	337	744
		学年区分の%	11.8	42.9	45.3	100.0
	高学年	度数	88	380	385	853
		学年区分の%	10.3	44.5	45.1	100.0
	中学生	度数	117	397	352	866
		学年区分の%	13.5	45.8	40.6	100.0
合計	度数	293	1096	1074	2463	
	学年区分の%	11.9	44.5	43.6	100.0	

表28-8-2. 死のイメージ：遠いと学年・地域

学年区分				死について遠い			合計
				近い	どちらでもない	遠い	
低学年	地域	北海道	度数	26	121	141	288
			地域の%	9.0	42.0	49.0	100.0
		関東	度数	42	146	138	326
	地域の%		12.9	44.8	42.3	100.0	
	九州	度数	20	52	58	130	
		地域の%	15.4	40.0	44.6	100.0	
合計	度数	88	319	337	744		
	地域の%	11.8	42.9	45.3	100.0		
高学年	地域	北海道	度数	42	134	170	346
			地域の%	12.1	38.7	49.1	100.0
		関東	度数	34	177	157	368
	地域の%		9.2	48.1	42.7	100.0	
	九州	度数	12	69	58	139	
		地域の%	8.6	49.6	41.7	100.0	
合計	度数	88	380	385	853		
	地域の%	10.3	44.5	45.1	100.0		
中学生	地域	北海道	度数	39	131	112	282
			地域の%	13.8	46.5	39.7	100.0
		関東	度数	16	79	60	155
	地域の%		10.3	51.0	38.7	100.0	
	九州	度数	62	187	180	429	
		地域の%	14.5	43.6	42.0	100.0	
合計	度数	117	397	352	866		
	地域の%	13.5	45.8	40.6	100.0		

表28-8-3. 死のイメージ：遠いと学年・性別

学年区分				死について遠い			合計
				近い	どちらでもない	遠い	
低学年	性別	男	度数	46	166	170	382
			性別の%	12.0	43.5	44.5	100.0
		女	度数	42	149	163	354
	性別の%		11.9	42.1	46.0	100.0	
	合計	度数	88	315	333	736	
		性別の%	12.0	42.8	45.2	100.0	
高学年	性別	男	度数	54	200	210	464
			性別の%	11.6	43.1	45.3	100.0
		女	度数	34	180	175	389
	性別の%		8.7	46.3	45.0	100.0	
	合計	度数	88	380	385	853	
		性別の%	10.3	44.5	45.1	100.0	
中学生	性別	男	度数	65	210	174	449
			性別の%	14.5	46.8	38.8	100.0
		女	度数	52	184	176	412
	性別の%		12.6	44.7	42.7	100.0	
	合計	度数	117	394	350	861	
		性別の%	13.6	45.8	40.7	100.0	

*:p<0.05 **:p<0.01